十一月八日發行

陸軍當局の抱懷する內政根本的改革骨子

行政、金融機構の改革、土地政策　重要產業、保險國營、恩給制廢止

【東京特電八日發】陸軍の抱懷する對內國策は大體左の如くであるが、これは未だ內政國策會議に提出されて居ない

一、行政機構の改革
文官任用令を改正し官吏の動脈硬化狀態を改善し官吏と企業家教育者その他民間との疏通をはかり清新の空氣を注入し得るやうすること、外務省のごときは廣く門戶を開放し民間の適任者を適所に用ふること、これと共に地方行政との聯絡をはかること

一、金融機構
金融機關に對する國家統制の強化を圖ること、卽ち產業をすべて國營化しなければ、金融機關の國營は出來ないから、まづ爲替管理、貿易管理によつて統制を加へ、金融機關に對しては會計檢查院制度の運用によつて監督を加へること

一、土地政策
土地の完全なる利用を期するため、土地の全面的社會化をはかり耕作地においては地主の不生產的土地を除くため耕作權の確立、自作農創定をはかること

一、生絲及び米の國家統制
米の本質に鑑み米穀統制法より以上の統制を加へ、自由取引を禁止して價格維持をなし農民をして安堵せしむること、生絲は世界生產の七十三パーセントを占むるが故にこの點に關して日本が獨占權を確保する方針を以て臨むこと

一、保險國營
國民保險として養老年金制を布き年齡六十五歲以上のものに支給する、また戰爭保險、勞働災害保險、教育保險等をすべて國營として行ふこと

一、恩給制の廢止
國家及び公共團體の恩給制を廢止し既得權として各種の社會事業に無給にて働かしめ或はわが國に必要なる各種のセンサス事業に使用すること

一、主要產業の國營
國防に關係あるもの及び基本的產業はこれを國營とすること、これと共に企業經營の能力發揮に意を用ひ、まづ活動によりその弊害を除くこと

一、農漁山村救濟策
木材の濫伐を禁ずること、農林水產物の加工利用をはかること、生產物の配給圓滑を期すること、農家の生計を安定ならしめ、特に畜產の發達をはかること、大工業はなるべく小都市に發達せしめ、農村との工業はなるべく小都市に發達せしめ、地方に對し以て人口の都市集中を防止すること、共同組合の發達をはかること

わが對滿政策は不變

投資關係國の疑惑を解くため　外務省、滿鐵問題聲明

【東京特電八日發】滿鐵改革問題に對し、滿鐵投資關係の各國は從來わが國が標榜し來れる滿洲國の機會均等、門戶開放の原則に何等かの變化を來すものではないかとの懸念や疑惑を抱く向きがあるので、外務省はこの際事態の眞相を聽取して滿洲國と列國との關係の調整に善處する必要を感じ廣田外相は谷參事官に歸朝を求め今後の對策を講究するとともに、わが對滿政策の不變を聲明する準備をなす筈である

大藏省案と社員會の意見

滿鐵改造問題に關して株の半數を有する大藏省筋より何らかの意思表示あるべしと期待されてゐたところ、八日朝刊の我社東京特電は果して同省が山本總裁當時の改革案を提げて起たんとする兆あるを傳ふるに至り、滿鐵部內もその成行に注目し、同日朝來社內には山本總裁案の回顧や批判が活潑に行はれてゐる、この案は机上の空論でなく經濟問題に關する練達せる實務家たる山本總裁が滿鐵の缺陷たる「あまりに尨大に過ぎて能率の上らぬ點」を矯正すべく立案せるものだけに、實地に卽し實現の可能性大なるものあり、滿鐵內部にも贊成者多く、目下立案中の社員會特別委員會の獨自案にも重大なるものと見られてゐる

贊成論者

滿鐵よ！何處へ行く

（1）解體論の理論的根據

蘇聯の挑戰的態度に　わが當局の態度漸く硬化

"勅令"による改組　果して可能か　滿鐵社員會の見解

四川省赤化

黃郛政權の基礎漸く鞏固となる　有吉公使天津で語る

熱河財政工作進捗

反ソ傳單寫眞を配布　白系が赤衞軍に

矢田公使動靜

改造研究會第二日

うらる丸の船客

人事

學良顧問ド氏

女の部屋（3）　林芙美子作　一木弴畫

韓氏東北へ

天津民團理事候補

通り魔のやうに出沒する"電報强盜"

水上署保安主任宅にも現はる 白晝、夫人を脅迫未遂

闇から闇へ行く隱されたる强盜として市中に脅威の種を蒔いた「電報强盜」に關しては市内各署これが捜査に大童であるが奈良屋旅館を襲つたと同樣「電報々々」の聲で家人を呼び出し金錢の無心をした事件が今一つ明るみに出された、しかも被害者は市内大和町三十番地水上署保安係主任小林慶三氏宅で數日前の白晝、一名の日本人ルンペン風の男が扉をノックして鍵の掛つて居るのを知るや「電報々々」と連呼、折柄夫君の留守をあづかる夫人が戸口に現れるやいきなりヅカ〳〵と入り込み「金を出せ」と强要したもので別に兇器は閃かさなかつたが折柄隣家のものの來訪によつて目的を果さずコソ〳〵逃げ出したが、同樣手段で各方面を荒して居るらしく小林氏は今日迄内々署員と共に捜査に當つてゐたものである

兇器は出さぬが同じ手口だ

小林保安主任語る

右につき小林保安主任は語る

短刀なぞは別に出さなかつた樣だが、何分出動後で家内丈だつたのでかなり吃驚したらしい、何も被害が無かつたので何よりだが、うちの司法係にも直に話をして内々捜査を續けて貰つてゐた、新聞で同樣「電報々々」の强盜が出たと知つて同じ手口だなあと思ひ當つたものである

賀表捧呈は御遠慮申上げる

明春正月中は宮中喪

【東京特電八日發】畏き邊りでは朝香宮妃殿下薨去のため九年一月三十一日まで九十日の宮中喪を仰せ出され三陛下には歳末年始の宮中の御儀一切を御取止め相成ること〻なり從つて各有資格者が諸官廳及び地方廳を通じての賀表捧呈はその儀に及ばずとなつてゐる、たゞ國民一般の年賀狀交換については宮内當局は別に御遠慮するには及ばないと解釋してゐる

意外、犯人は寺崎の實弟

奈良屋旅館の强盜

深夜電報配達を裝うて押入り短刀を突きつけて脅迫、主人から十圓を奪つて逃走した「電報强盜」事件は本紙既報の如く被害者が屆出を怠つてゐた爲め事件發生後十日目に大連署の知るところとなり事件を重大視し犯人に就き捜査中、八日朝に至り犯人は意外にも繩張り爭ひから血の雨を降らし殺人未遂で目下大連署に留置中の酒井久一郎の子分寺崎濤一郎（二七）の實弟で同じ酒井の子分である原籍福岡縣久留米市東町三二當時市内惠比須町一一五寺崎守（二三）と判明、指名犯人として手配捜査中である、なほか〻る重大事件の屆出を怠つた市内信濃町一九奈良屋旅館主人大石金作は八日午前十時大連署に呼出され始末書を取られた

新京强盜團首魁逮捕

四平街城内で

【新京電話】七日早朝强盜團一味の檢擧に向つた新京署河本警部補以下四刑事は四平街着後直に同警察署を訪れ檢擧に關し種々打合せを爲し鈴木外二刑事の應援を得て午後二時城内東五馬路の平屋に潜伏中の犯人を襲撃したが早くもその樣子を察知した頭目以下二名の賊は逃走を企てたが一齊に躍りかゝつて大格鬪の末これを逮捕、モーゼル、ブローニング拳銃各一挺彈丸六十發及び贓品多數を押收午後六時五十五分意氣揚々新京署に歸還した

なほ頭目姜子禮（二七）は病氣にも拘らず逮捕の際頑强に抵抗した爲か新京着と同時に重態となり直に同仁病院に擔ぎ込んだが同十一時四十分遂に絶命した更に馮如濤（四〇）白老五（三三）の兩名に對しては八日早朝より嚴重取調べを開始した

三六年目指し力强い發明

塵芥から酸化カリウム抽出 八幡製鐵所で成功

【門司特電七日發】目指す一九三六年の危險線を突破するためには國民のあらゆる努力が必要であるがこの非常時にまたしても八幡製鐵所から力强い成功が發表された製鐵所熔鑛爐の塵を電氣收塵法や水洗法で淸淨にすると廢棄される塵芥は一日三噸乃至四噸に達する

その中には多種の有用な物質が含まれてゐるので銑鐵部で利用法を研究の結果この塵芥中十四乃至十五パーセント含まれてゐる酸化カリウムを獨特な方法で廉價に抽出することになつた、この酸化カリウムは平時は肥料に用ひられるが有時の際は火藥の原料として硝酸の代用品となるものである、なほ同利用法について研究所枝本技手は同塵芥中の鐵、酸化亞鉛、酸化カリウムが硫化水素と化合する性質をもつことに着眼し同塵芥をもつて石炭瓦斯中の硫化水素を除去し瓦斯の臭氣をのける方法を發見このほど特許を得た

滿鐵全線の線路改修

保線狀況視察

滿鐵々道部工務課では九年度に實施するスピードアップの實現を前にして全線各鐵道の線路を總費四百萬圓を以て根本的に改修増設すること〻なり、その前提として昨年および一昨年事變關係で中止してゐた滿鐵全線の總括的保線狀況視察をなすべく去る五日鐵道部工務課長は課員五名を伴ひ沿線に出張したが本年は以上の意味から設備、補强の不完全個所について徹底的調査を遂げる筈で期間は二週間十九日歸連の豫定である

閑院宮殿下の令旨を賜ふ

光榮の坂本凱旋將軍

【東京七日發國通】閑院參謀總長宮殿下には七日午後二時半參謀本部において軍狀を御報告申上げた坂本第六師團長に對し左の令旨を賜つた

滿洲派遣の大任を完うし軍狀伏奏の機において貴官の壯容に接するは余の欣快とする所なり、貴官曩に大命を奉じて滿洲に派遣せられ熱河作戰に從事するや酷寒不毛の地を强行、敵を驅逐し至短時日に北部熱河戡定に成功し、次いで長城南側に及ぶや關東の敵を潰亂に陥れ遂によく北支政權をして和平を乞ふに至らしめ偉功を收めよく皇軍の威武を中外に發揚したり、深く其の勞を多とす、時局愈々重大にして皇軍の使命益々重きを加へるの秋益々部下を統率し其の重責を完うせんことを望む

あす斷罪の日

海軍側最後の公判 高須裁判長から判決

【東京八日發國通】五・一五事件海軍被告を斷罪する第三十回公判は九日午前九時横須賀海軍々法會議法廷で高須裁判長係で開廷することになつた事件發生以來一年六月去る七月二十四日第一回公判開廷以來審理を重ねること二十九回に及んだ歷史的大公判の幕を閉ずる日である死刑を求刑された三上黑岩、志賀を始め無期禁錮並に禁錮の各被告將校に對し如何なる斷罪が下されるか凡ゆる階層の全神經はこの一點に集中されてゐる

高須裁判長以下各判士は既に諸般の準備成つて靜かに大役の日を待つてゐる、各被告は大津刑務所の別房で讀書に專念してゐるが斷罪の日着する黑縮紗の制服と黑靴の軍裝は林中尉が新調した外全部家庭から差入れられ出廷の準備が悉く整つてゐる

改悛の情なき勝美

處分決定後も自由を拘束して靜かに反省を促がす

邪戀の夢も今は覺め果て〻世間の嘲笑と罵聲を一身に浴び嚴前屯刑務支所の女囚未決監房に冷え切つた魂を抱いて斷罪の日を待つてゐる前兒玉博士夫人勝美は今は舊姓藤森勝美に還り八日夕刻までに決定されるであらう司法處分を控へ果して囚はれの身より自由の天地に放たれるか？無軌道戀愛のヒロインとして天下を騷がせた彼女の身の成行きは世間の多大なる關心を惹いてゐるが彼女は七日午後博士との離婚用件にて刑務支所を訪れた大内辯護士に對しお互の幸福のために別れた方がいゝでせうと放言し自分の過去の罪、世界的學者だつた夫を一瞬にして暗の深淵に突き落した妻としての大罪に對しては一言半句の悔後の言葉すら洩らさず、恬として恥ざる彼女の言動に流石の大内辯護士も唖然としたといふことである、更に彼女の檢察局に於ける態度及び陳述にしても檢察官の心證良からぬものあり、起訴は免れぬ有様にありなり、今暫く自由を拘束し孤獨のうちに靜かに反省を促すべきであるといふ大體の意見一致を見、遂に彼女は處分決定後といへども自由を解かれることはあるまいと見られるに至つてゐる

日滿兩國都間を徒歩旅行で踏破

けさ本社訪問の井上亨氏

日滿兩國都東京新京間徒歩旅行を計畫し去る七月十日麻布三聯隊衞戍兵をもつて組織する在軍公論大學後援の下に東京を出發した井上亨氏は無事第一次計畫を踏破して探檢家らしい頑强な軀、元氣に滿ちた顏で八日本社を訪れて

第一次は無事終りました、内地朝鮮は主として海岸線に沿つて歩き滿洲に入つてからは安東憲兵隊の注意に依り新京まで主として線路傳ひに歩きました、茲數日中に第二次の滿蒙探檢乘馬縱走旅行を試みます、各方面に照會致しました結果錦州を出發地として熱河、ゴビの沙漠を横斷しエベレストの北部を突破しアフガニスタンに出る豫定で約一ケ年を要する見込みです、途中地理風俗を研究し總ての物は物々交換に依つて得る積りであり醫療器藥等も携行し言語等も研究をなしつゝ進む積りですと朗かに如何にも探檢家らしい豪膽な口振で語つた

上原元帥絶望

【東京八日發國通】上原元帥は七日夕刻より著るしく衰弱狀態を示し八日午前九時意識不明に陷つたので十時カンフル注射を爲したが午前十一時全く絶望に陷つた

【東京八日發國通】天皇皇后兩陛下には上原元帥病中御見舞として葡萄酒一打御下賜の御沙汰あり、八日午前十一時十五分元帥邸に御下賜あつた

早起から踏み出す緊張の第一步

今曉、忠靈塔下に約一萬五千名 精神作興週間第二日

國民精神作興大詔渙發十周年記念「精神作興週間」第二日目たる八日は早起會の日である、長夜の夢未だ解けざるに戶每に床を蹴つて起出で眠たいだいて護國の英靈を凝として眠る忠靈塔として續々と詰めかくるもの跡を絶たず、集まりしもの中等學校男女學生五千名、小學生、各團體、一般市民などを合算すれば優に一萬五千名と註せられ豫想外の盛會に先づ主催者を感激せしめる、午前五時三十分國歌齊唱神に國旗を撤揚し嚴然と宮城を遙拜したるのち岩井少將は開會の辭の中より

早起はその日における緊張の第一步である、獨逸國民は皐つて戰前二、三十年間に亘り他國民より一時間早く起きて精勤したそしてそれは列强を一手に引受けて戰ふエネルギーとなつた、今や我等は非常時に直面してゐる、今後早起に努めて心身を强健にして以てそれ〴〵の任務を果したい

と早起の德をたゝへ感銘せしめたかくて天も割れよとばかり萬歳を三唱、二十分にして散會したが、未明に一萬五千人も集結し而も攪擾の設備なかつたに拘らず會衆一同肅々として規則的で多大の效果をおさめ大成功であつた（寫眞はけさ忠靈塔下で）

兒玉事件の處分愈よ大詰へ

檢察官長の決裁だけ

殆ど不眠不休で中園を始め勝美の取調べを行つてゐた高井檢察官は七日唯一の物的證據たる兇器の發見によつて七日午後二時半より兒玉博士を呼び出して訊問、午後五時過ぎには刑務支所に川上書記を帶同して起き勝美の取調べを行ひ更に八日午前八時過ぎ再び刑務支所にて勝美、中園に對し最後の取調べを行つて正午前檢察局に登廳して起草中の起訴狀に最後の訂正を加へたが、これを以て關係者一同の取調べ全く終了し、同時に司法處分決定書の完成を見ること〻なり、餘す處唯檢察官長の決裁を待つのみとなつたが、八日下田檢察官長はバスに依つて旅順より來連、高井檢察官と協議の上決裁を與へ、八日夕刻までには兒玉博士勝美、中園秀雄及び横山きみに對する司法處分の決定を見ること〻なつた、右につき事件發覺以來四十餘日に亘り不眠不休、漸く一段落にまでこぎつけた高井檢察官はホツとした樣子で次の如く語る

僕の方はもう總べて手筈が整ひ何時でも處分の決定が出來るやうになつてゐるが、檢察官長の決裁を得るまでは如何に處分をなすかについては發表することが出來ない、博士を起訴するか起訴猶豫にするかについて大分噂が飛んでゐるやうだが、何れにしろ、早ければ今夕まで、遲くとも明日中には萬事がわかる

網にかゝるか桃色のかも

豐橋藝妓と逃避行 若妻の家出にも桃色の嫌疑

神戸五日出帆のしあとる丸で岡田一雄（二〇）（豐橋市居住）と言ふ男が五千圓を懷中に駒音（一九）といふ藝妓を連れ大連に逃走した故取押へ手配頼むと豐橋署より當地水上署に電報が屆いたが、同船はけふ午後二時着豫定につき水上署では直にこの桃色逃避行のかもに網を張つて待ちうけてゐる

◇

桃色の道行か、風寒き十一月の巷に又若妻の家出一つ――市内信濃町六九後藤又一氏方清水吉太郎内縁の妻原籍福岡縣鞍手郡北竹學勝間、藤井末子（二〇）は六日午後二時頃飄然と表へ出たきり夜に入るも歸宅せず、そのまゝ消息を絶つてしまつたので夫の清水は大いに驚き捜査したが見當らず遂に大連署へ捜査願を提出した

清水の語る處によれば豫て知り合ひの原籍岐阜縣惠那郡大井町士屋敏夫（二六）と末子の間に疑へる節が多いとのことで、或ひは當時流行の邪戀舞曲に身をあやまつた二人がしめし合せて何れか逃避したものではないかと見られてゐる

支那人船員が遊廓で大喧嘩

八日午前零時四十分市内平和街四十一番地料理店第四十一號で支那人船員十數名入り亂れ血の雨を降らし大喧嘩を始めてゐるのを巡行中の小崗子刑事が發見總檢擧した、取調べたところ目下來泊中の英貨物船ベンネビス號乘組員九名と、同貨物船ベンクラッカン號乘組員七名とが相互に飮酒中些細のことから口論となり各乘組員二派に分れ毆り合つたものと判明、同日午前十一時兩船長小崗子署に出頭料理店の器具破損價格二十圓を支拂ふこと〻し、留置船員をそれぞれ貰ひ下げて行つた

明治町消防出張所事務開始

工費四萬五千圓を投じて起工中の市内明治町三番地消防出張所はこの程工事完成し八日から事務を開始した

同所管内には火藥、石油タンク、油房等危險建造物が密集してをり、全市第一番の危險區域であるので殊に人員の充實を期し消防署長以下二十名の所員を常置し更に精鋭なる消火ポンプ二臺を備へ東部大連の防火に努めること〻なつた

なほ消防署では來る二十日前同所の開廳式を盛大に擧行する

お名殘に三驅逐艦大連入港

旅順要港部所屬第十六驅逐隊芙蓉、朝顏の三驅逐艦は駐外の完了と共に近く懷しの故國に歸旋するがそれにさきだち九日頃旅順より廻航、おなじみの大連に十三日まで碇泊の豫定である

警備隊と交戰

【奉天電話】五日午前十時頃綏遠北海倫間新場家西方五キロの部落に百數十名の匪賊來襲し警備隊十數名と衝突し警備隊は戰死二名を出したので海倫より甲車出動目下追擊中

電氣學會講演會

電氣學會滿洲支部では來る十一日午後四時半より大連ヤマトホテルに於て「撫順古城子採炭所の電氣に就いて」と題して會員岡雄氏の第十三回學術講演會を開く由

赤司鷹一郎氏

【東京八日發國通】元文部次官赤司鷹一郎氏は先月中旬以來腸狹窄症にて大青山外科に入院療養中のところ七日午後四時遂に逝去した享年五十七

南西の風晴後ち曇

滿潮（午前二時〇五分 午後二時二〇分）

干潮（午前九時一五分 午後八時一五分）

各地溫度（八日午前十一時）

大連	一四	奉天	
旅順	一五	新京	
營口	一三	新義州	

今日の小洋相場（十）

金百圓につき一二二圓二五

田上齒科

齒科・口腔外科 田上齒科 播磨町五五（幼稚園前）

善鬼惡鬼 (252)

平山蘆江作　刈谷深隍繪

鬼火（二）

押しのける五郎兵衛、付きまとふおはま、夜中の向島堤に、二人はいつまでも揉み合つた。

劍をとつては何ものにも引けをとらぬ五郎兵衛だが、女にはいつも弱かつた。相手が強ければ強いほど、無敵の力を出す五郎兵衛だが、お濱だけは苦手だつた。其間にも火はどん／＼燃えさかる。

五郎兵衛は氣が氣でなかつた。

「離さぬか」

「離しませぬ」

「頼む」

「頼んでゐるのは私です」

到頭面倒くさくなつて、五郎兵衛は鐵扇をさげなほした。

「エイ」

滿の氣合である。聲ばかり強く腕の力を宙に浮かして、女の脇腹に輕い一あて、這は手練の早わざであつた。急所をよけた輕い一打、美事にきまつて、女は土手の草むらに斃れた。

ふりむいて、女の斃れざまをしらべた上、思ふつぼに行つた事を見さだけると、五郎兵衛は一散に走りだした。

すぐに我家の門の中、丁度其時樂齋の家を大半焼きつくした火先が、五郎兵衛の家の裏手をなめはじめてゐるところだつた。

エレキのさそひか、火のまはりが非常に早かつた。

「おぎん——おぎん」

五郎兵衛は聲の限りに呼んだ。併しそれはムダであつた。燃えさかる火の勢ひに消されて、何の答へも聞かれさうになかつた。

「長吉は居らぬか。——おぎん、おぎん」

右へ、左へと火先をくぐりながら、五郎兵衛は、家の中へ入らうとしたが、もうどうする事も出來ない。

半時か、一時も、火の中をさまよつて、眞黑にくすぶつた五郎兵衛が、やがて、網の風に吹きとばされるやうにして、門外へおし出された時、腑ぬけのやうになつてゐた。

「おつさあぶれえ。何だまご／＼してやあんでえ」

口汚く罵る火消人足の爲めに、二三遍つきとばされても、かへす言葉のないほど五郎兵衛はぼんやりしてゐた。

火消人足と、彌次馬とがむらがり立つてゐる中を、宛然氣ぬけのしたまゝにおしやられ／＼て、堤の上へ上つたのは、薄明りに東の白む頃であつた。

人だかりの鬱い土手の上を、ふら／＼と、足も地につかぬやうにして、あるいた五郎兵衛が、目に見えぬ糸に引かれるやうにして、あゆみ寄つたのは、丁度、おはまと爭つた草むらのあたりであつた。

而も、まだそこに斃れたままのおはまへ、足先がさはると共に、どつさばかり押しかぶさるやうにして斃れたのだ。

「因果と云はうか、因縁といひませうか。お前には迷惑でございませうが、私にとつて、こんな嬉しい事はありません」

おはまは意地の悪い笑顔を見せながら、夜の明け切つた頃、白ひげのあたりの百姓家で、五郎兵衛の枕もとにすわつてゐた。

正氣にかへつた五郎兵衛は、百姓家のせんべい蒲團に寢かされた儘、觀念の眼を閉ぢてゐた。

◇◇鼠小僧次郎吉◇◇

大河内傳次郎の一人二役（次郎吉と長澤屋勘右衛門）で奇才山中貞雄監督作品として期待される日活時代劇特作品、前篇「江戸の巻」の好評により中篇「道中の巻」の完成を急ぎ目下内地で封切中、カメラは吉田清太郎、寫眞は中篇のスナップで大河内と山中監督【日活館で次週前篇上映】

ハーモニカ演奏會 十日夜の番組

大連ハーモニカ・ソサイテイ主催大連滿鐵社員倶樂部並に本社後援の佐藤時太郎氏ハーモニカ獨奏會は既報の如く來る十日午後七時から協和會館にて開催するが當夜のプログラムは左の如くである

▲第一部　一、合奏A「双頭の鷲」B「愉快な鍛冶屋」大連ハーモニカ・ソサイテイ　二、獨奏「登校」井上尚志　三、二重奏「コロネーションマーチ」原田武次、井上尚武　四、獨奏A「春雨」B「ホームスヰートホーム」佐藤時太郎　五、獨奏「落葉の唄」佐藤時太郎

▲第二部　一、獨奏「朔北の春」原田武次　二、獨奏A「セレナーデ」B「北洋の夏」佐藤時太郎　三、二重奏「小曲集」佐藤時太郎、原田武次　四、獨奏「天國と地獄」佐藤時太郎　五、合奏「春のほゝゑみ」大連ハーモニカ・ソサイテイ

うわさ話

ワーナーの本社東洋課長と極東支配人の來連により一九三四年度から新作品が本格的に大連に上映されることになつた▲卽ち常盤座がパ社の作品と併映して洋畫陣を愈々固めることになつたもので來年の正月から上映することに確定▲中央映畫館で目下上映中の「さすらひの乙女」で岡田嘉子が下を向くときまるで勝美夫人そつくりだと妙なところで興味をよんでゐる▲また「刺青判官」ではガボチャ（小泉嘉輔）がカボチヤ畑に現れるのが面白いと、この所ファンは少々變態的である▲故根岸耕一氏の遺骨は令弟と小松氏が來る十日出帆のしあとる丸で内地に持つて歸る▲西條香代子も亦姉のK子さんと共に同船して内地まで遺骨を送つて大連を引揚げることになつた

赤ちゃんからお母さんへの抗議
恐ろしい感冒季を迎へて

私の名は赤ちやんです。

私は身體が未熟で非常に弱いから一寸の事で調子が狂ふのです。

だから此頃のやうに薄寒くなると朝晩の冷わや風呂冷めて、すぐに風邪を引いて了ひます。

風邪を引くと頭がピン／＼痛く咽喉が火の様に燃ゑ、其の上咳が出る度にお腹に響いて痛いので、私は大きな聲を出して泣きます。

するとお母ちやんは輕く背中を叩いてあやして下さいますが、私は一寸も嬉しい事はなく、却つてよけいに咳が出て苦しいので、一層泣聲を大きくします。

大人でも感冒や咳は一寸の油斷から、喘息や肺炎に悪化する事が非常に多いのですが、私達は身體の抵抗力が弱いので一層危險率が多いのです。完全に治して置かない爲に、そんな恐しい病氣に罹つて亡くなつた、お友達も隨分あるさうで私は風邪氣味の時に、何時も恐しさに身顫ひするのです。

こんな時に早く最近評判の「咳用イマヅミン」を服まして貰つたら、咳や頭痛や咽喉の痛みなんかよくなつて、私も樂になれるんだこの事です。お母ちやんはあの良い藥を知らないのか知らん？

感冒で熱がある時に下熱劑を飲むと體質を悪くし、殊に肺尖の恐れがある時には生命に係りますから避けた方がよいのです。其の點「咳用イマヅミン」は絶對に副作用がないから私達にも安全です。

此の新良藥を服用すると、咳を鎭め、痰を祛り、ヒユー／＼、クシヤミ、咽喉の痛みを良くして呼吸を樂にし、聲の嗄れを良くし、自然に熱を去る良効を十分に發揮しますから、お母ちやんが常備藥として一壜を用意して置いて下されば、私も安心して遊べます。

尚藥價は二〇錠入五十錢で全國有名藥店に販賣してるますが品切の節は大阪市大仁本町三今津化學研究所へ申込んだらよいさうです。喘息、肺、肋膜、氣管支には良効ある「イマヅミン」があります

日印間の接近から 代表交換說擡頭
外務省では愼重考慮

【東京八日發國通】日本及び印度兩國政府は通商條約廢棄問題を一轉機として、兩國經濟上の實際的緊密關係に鑑み、これが整調方法につき愼重協議を續けてゐたが、既に通商問題については我が澤田代表と印度側のボーア商務長官との間に交渉一段落となり物々交換の大原則を包含せるバーター制により、劃期的通商條約が締結されんとしてゐるが、斯くの如き經濟の上部構造たる日印兩國政治上も調整を行ふ必要が切實に發生し來つた爲め、今日迄の兩國の通商協議の際にこれと關聯し、日印間に公使級の代表を交換し、以つて兩國が政治上の利害調整を行ふべしとの意見に一致を見た、依つて澤田代表は最近右の主旨を詳細に廣田外相宛報告して來たが、右の

復命 に接した我が外務省では、英帝國の自治領としてカナダ、濠洲、ニュージーランド、南阿聯邦、アイルランド自由國の諸地は夫々自治領たる資格を有し、現にカナダとの間には公使を交換しつゝあるも印度帝國のみは英本國の直轄領にして同國の外交大權は英帝國の掌中に確實に掌握されてゐる現狀に鑑み、これが實現は頗る愼重なる講究を要し、若し一朝これが措置を誤る時は、我が國と英帝國との間に重大なる外交上の衝突を惹起すべき形勢にあるため廣田外相は愼重に考慮中である

兩代表私的折衝
日印會商解決に近づく

【デリー七日發國通】六日の日印第十次本會議で日印協定の大綱に就いて略意見の一致を見たので、これを機として一氣呵成に協定成立に漕ぎつけるため、澤田代表は七日午前十時半ボア長官を訪問三時間に亘り細目に就いて私的交渉を重ねた、澤田代表が昨日の本會議に就いて突然私的交渉を行つたのは、本會議に於ける問題の紛糾及びボア長官の立場を考慮した結果であつて、澤田、ボア兩氏間に既に了解出來てゐる事も本會議にかける時は議論の種となり、折角の了解も打壞される事があり、局面がデリケートとなつてをり、旁々圓滿解決を計らんとしてボア長官の立場を困難に陷らしめる虞があるため、特に澤田代表がボア長官を訪問昨日の本會議に引續き話を進めたものである、協定の大綱は昨日の本會議で殆ど決定してをり、後は政治的折衝による解決が殘されてゐるのみであるから、日本の要求した綿布割當に關する前提條件さへ認められれば、印度の要求する四億平方ヤードを承認する處まで進んで居り、これに對し印度も餘程接近してゐるので最早最後的解決近しと見てよい

郵貯激增
十月末狀況

關東廳遞信局管下の十月末現在における郵便貯金は人員三十六萬四千八百九十二名、金額三千二百二萬八千七百二十九圓でこれを前月末現在と比較すると人員三千三百七十三名、金額四十九萬四千五百四十六圓の共に増加を示し、更にこれを昨年十月末に比較すると人員五萬二千六百二十三名、金額三百三十二萬二千四百六十三圓の激增を示し同局開設以來の新記錄を作つた

日滿實業協會 出席者決定

近く東京に開かれる日滿實業協會創立準備委員會並に同總會に出席する滿洲側代表者は八日までに左の如く決定したがなほ多少增加する模樣である

▲大連商議會頭高田友吉氏、同常議員山田三平氏、同書記長長永義正氏▲奉天商議會頭庵谷忱氏▲滿洲國實業部工商司長孫澂氏▲熱河省公署總務廳長中野琥逸氏▲大連市商會代表代理王錫廷氏▲大連西崗商會代表代理劉倓彥氏▲奉天全省商會聯合會々長方煜恩氏▲奉天市商會代表陳楚材氏▲吉林省總商會々長范象魁氏▲新京市商會代表王莉山氏▲ハルビン道裡商會代表李明遠氏▲黑龍江省齊々哈爾商會長王玉堂氏▲熱河省各縣商會代表灤平縣商會長王文輔氏▲同圍場縣商會長林文魁氏

對日方針轉向しても 支那貿易は不振
財界は依然沈衰に推移

【東京特電八日發】支那の對日感情好轉と、もに我が對支貿易は活況を呈し漸く好望視せられんとしてゐるが、七日某所着の情報に依ると奥地經濟狀態のバロメーターたる上海の在銀は最近漸增の傾向で奥地の商取引不振を思はしむるものあり政府の收入不足は毎月二千萬元に上り、支那財界は依然沈衰の域を脫せず、一月以降九月までの上海貿易も左記の如くで、大正三年以來の最低記錄を示してゐた畢竟五月以來實施された禁止的高率關稅の影響であらうと觀測されてゐる（單位千弗）

八年輸出	二三九、四六四
輸入	五七九、七八五
計	八一九、二四九
七年輸出	一六一、五八四
輸入	六一二、一四五
計	七七三、七二九

創立當初の事實に立脚 滿鐵改造案を討議
大連商議八日役員會を開催

滿鐵改組問題は急速度に進展して今や日本朝野の耳目を聳つるに至つたが、大連商議に於ても滿鐵の改造が一般經濟界に及ぼす影響頗る甚大なるに鑑み、豫て寄々協議を重ねるところあり、その結果、滿鐵は設立の當初に於て日本朝野の權威に聽き、輿論に問ふて設立せられた歷史的事實がある以上今これを改造するに當つては單に現地案を基礎とするが如きことなく廣く財界有力者の意見を徵し以て人心を不安に導くが如きは極力これを避け、愼重に協議決定せらるべきであるとの見解を持するに至つた、從つて目下東上中の高田會頭に對して來る十四日より東京に開催する日本商工會議所總會に提

日本商議總會に提案

案されたき旨電報を發したが、七日午後高田會頭より先づ大連商議としての決議案を至急決定されたしとの返電があつたので大連商議は八日午後一時より役員會を開き日本商議に提出すべき滿鐵改造に對する提案について協議した

財界への不安 一掃が緊切
大連商議副會頭 瓜谷長造氏談

右に關し瓜谷大連商議副會頭は左の如き所見を吐露した

滿鐵を改組して各獨立會社となすが如きは實に國家的重大問題であり、同時に財界に及ぼす影響は頗る深甚である、從つてこれが改組案を決定するに當つては一般經濟界に及ぼす衝擊を避け、改組による不安を一掃することが緊要だと信ずる、滿蒙の新情勢に順應して滿鐵を改造することは勿論必要なことゝ思ふが、それにしても人心を不安に導くが如き急轉直下的の改造は極力これを避くるが至當であらう、殊に滿鐵はその創立の當初に於て、兒玉將軍を委員長とし廣く朝野の權威を集め、一般の輿論に聽き、愼重協議の結果成立したる歷史的事實がある、從つて今これを改造するに當つては、この歷史的事實に基き、廣く朝野の權威に聽き、輿論に問ひ、愼重に熟議したる後に決定すべきではあるまいか、單に特務部案とか、滿鐵案といつた局地的案によつて決定するが如きは徒らに人心を不安に導くのみである、殊に現在の滿鐵は八億の資本を擁し、財界との關係は更に大を加へて居るに鑑みるときは、財界有力者の意見を徵することはこの際最も必要ではあるまいか、要は青天の霹靂の如き案でなく白日の下に愼重協議決定せらるべき案であつて欲しい

廣東地方 排日熱漸く緩和
川越總領事より報告

廣東政府が去る九月一日より滿洲國產豆類の輸入禁止を解き、特許制を採用し、各方面にセンセーションを起した矢先、八日日本商議より大連商議に入つた情報によれば廣東駐在川越總領事は去る一日外務省通商局に對し排日緩和の報告を寄せ、廣東方面の排日が著しく緩和され、久しく杜絕の慘狀にあつた日本諸雜貨の引合も小口乍ら弗々開始され救國會の解散說が流布される等南支の對日貿易も漸く好轉の兆が覗はるゝに至つたと

滿洲國商標法實施に當つて 中根囑託の謬論を糺す（上）
中村如峰

滿洲國商標局囑託中根齊氏、滿洲日報紙上に「滿洲國商標法と國際條約」大連新聞紙上に「滿洲國商標法の解釋私見」なるものを發表した、その內容は何れも同一である、而してこのプリントは關東廳始め各所に配付されたが、滿洲國商標法と最も利害關係を有する大連商工會議所にはナゼか配付されなかつた。

說いてこれを見るに、事理錯然支離滅裂、再讀して判斷に苦しみ三讀なほ要領を得ない所が多い、而も明白異同の點は牽强附會を極め、所々に妙な臭も感じる、夫れを以て大方の參考に資し、少しく辨明する處あるべしといふ。

この所說が單なる無名氏の一私見であつたならば、吾等また何をか論ぜん、一笑に附してもよい、笑殺しても濟む、併し夫れが苟くも滿洲國囑託の肩書を有つ以上はこれを看過することは出來ない、默視する譯にも行かない、何故ならば中根囑託は滿洲國商標法制定に干與した功勞者であり、實業部內の支那商標法通として自他共に許されるだけに、其の迷說は世を誤らしめ、我が商工業者を困惑せしむ、遂に或は之が因を爲して日滿經濟に累を及ぼし、其の經濟統制を害するに至るかも知れないを恐るゝからである。

尙且つ中根老は北京時代に於て農商部諮議として代理人を禁業し商標登錄其他の事務實際に當つたに拘らず、當時と法理、取扱の見解を二三にして、恬平たるに至つては、其の眞意、良心果して那邊にあるかを知るに苦しむと共に、若し萬が一にも斯る方針の下に滿洲國商標法が取扱はるゝものとしたならば、我が商工業者の苦痛、不利、不便、不幸や大なりといふべきである。

今、之等の誤謬を悉く指摘してその謬を糺し、誤を訂さんは、其の煩に耐へざるものあるのみならず、行數また許さゞるものあるべく、茲には其の重なる二三を擧げることゝした。

一、我登錄濟商標

中根囑託は、追加日清通商航海條約第五條の「日本臣民の有する登錄濟商標」を指示して

日本臣民の有する登錄濟商標とは、日本臣民が支那の法規に依り、支那に於て登錄されたる日本臣民の有する商標權

と解するが正當な解釋と云ひ、故意に斯く理否を轉倒してコヂつけんと努めて居るが、之を條文に見れば「滿國政府は滿國臣民が日本國民の有する登錄濟商標を侵害するを禁遏する爲め」に商標法を制定し、商標局を設けて保護しやうと約束して居るではないか。

◇

支那の商標法に依つて登錄した商標權を、支那が其の商標法に依つて保護することは、當然の義務であり、我が商標權者からすれば當然な權利の要求である、敢て條約に規定する必要はない。

而も之が解釋に至つては、毫も六ケ敷い法理論はいらぬ、當時の事情を顧みれば直に判然する、即ち當時不德な支那人が我が商標權を頻に侵害し、非常な不利と損害と困惑から免れんとして、この條約が出來たものである、故に清國政府もこの事情を承知して居ればこそ、滿國臣民が日本國民の有する登錄濟商標を侵害するを禁遏する爲め云々というて居るではないか。

斯かる常識を以てしても直に判ることさへ、何が故に故意に曲解して、我が商標權を不利に陷れんとするのであらうか、怪訝に堪へない。次いで

若しこれを日本國において登錄されたる商標權なりとすれば、日本は支那と條約を締結するに當り、同盟條約の規約を無視し違反行爲を敢て爲したるものといふべく

と論じて居るが、本文の所謂「滿洲國商標法と國際條約」を幾度讀んで見てもそれらしい說明がない故に、條約無視と違反行爲のワケが判らない、之れこそ所謂錯覺だらうが、錯覺としては念が入り過ぎて居る、吾等は敢ていふ、條約の相手が、特に支那である、支那は萬國工業所有權保護同盟條約に加入して居ない、その支那に對して支那人が登錄濟商標の侵害を禁遏せしむる爲に、法を定め、官を設けしめて、相互的に保護を條約することは、毫も同盟條約を無視したものでもなければ、絕對に違反行爲でもない、萬國工業所有權保護同盟條約を更に一讀するならば、更にその蒙を悟り、荒唐無稽な言說なるを知り得るであらう、また

日本と同年に締結せる米支條約及びその前年に締結せる英支條約にもこの規定なきを以て見るも亦た知る事が出來るのである

とは、何を知ることが出來るのだらうか、愈々出て愈々陋、日本は英米の屬國でもなければ、保護國でもない、金甌無缺の嚴然たる獨立國である、何も苦んで英米に隨從する必要はない、獨自の立場に於て條約を締結するは當然である、英米の條約に書いてないからとて、日本の條約には何等の影響はない、英米の對支條約は英米の條約であり、日本の對支條約は日本の條約である、須らく日本の對支條約は日本の對支條約として、之を正義に解釋し、以て條約に依る吾等の正當なる權利を高唱强調すべきではあるまいか。（未完）

對米爲替前途は 豫測不可能
外國市場見透し不能で

【東京七日發國通】二十九弗臺を續けてゐる最近の對米爲替の前途につき爲替銀行筋の意見を綜合するに大體左の如き觀測を下してゐる

一、過般米大統領のなせる金買上げ、弗價引下げ政策は所期の目的たる物價釣上げに効なく、今後更に如何なる新政策を弄するか全く不明で、何れにするも弗爲替はその場合常に急變動を餘儀なくされる

一、從來弗の米英比は四弗八十六仙六六迄を一つのエポックとして考へられてゐたが、こゝ一兩日の如くそれを上廻つて昂騰するに至つてはもはや前途豫測の根據を失つてしまつた觀がある

一、實に最近の英米クロス急騰は主として弗の將來に對する見透しが困難してしまつた關係から米國の內外に於ける弗の思惑賣りが盛んとなつた爲めで、かゝる海外市場の混亂から內地貿易業者並びに爲替業者も全然氣迷ひ形勢觀望する外致方ない

一、現下の貿易事情からみても輸入期にありとはいへ、米國棉花相場は別に昂騰の兆なく、日印會商の結果待ちから依然米棉輸入は東洋買ひのみに止つて急がず、一方輸出ビルの出廻りも爲替の前途不明からあせらず、輸出入ビルとも極めて少量の取極めあるのみで、氣乘薄の形にある、要するに今次の弗價變動は全くル大統領の國內物價引上策の犧牲としての無軌道的なものであり、然もこれに對する英佛兩國の情勢並に態度も極めて急迫せるものを感ぜしめるものあり、海外市場の動搖は全く見透しを許されぬものある爲め我爲替相場の前途は如何とも豫測し難いとされてゐる

朝鮮總督府が 滿洲向原木禁輸
安東當業者には致命的

【安東】朝鮮總督府は今回原木の滿洲輸出を禁止すべく、今冬の伐採期より滿洲輸出目的の伐採を許可しない方針で既にこの旨を林業者に示達したと傳へられてゐる、目的は朝鮮內木材需給の調節を圖らんとするに在り、製材はその限りに非ずとするものらしいが、若し事實とすれば現在でさへ原木不足に惱み操業休止に瀕してゐる安東の製材業者に取つて致命的の打擊であるのみならず、新義州側の伐採業者の蒙る打擊も甚大であるから安東木材商組合は新義州の國境林業組合と提携して反對運動を起す模樣である、なほ安東に輸入する朝鮮原木は年額二十四五萬石である

紀州蜜柑が 第一位

和歌山縣大連駐在員として紀州蜜柑の滿洲への大量販路を圖つてゐる高橋粂一氏は先般內地に赴き今冬における蜜柑の輸入に關し種々打合せをなして七日入港ばいかる丸で歸連したが同氏の語るところによれば

滿洲へ輸入さる蜜柑は紀州蜜柑が八、九割を占めて斷然押へ愛媛、靜岡蜜柑がこれに次いで僅かを占めてゐるに過ぎないが紀州蜜柑はこれに滿足せず滿洲國の出現によつてより一層その販路、購買力を增大してゐる點に注目して今冬よりなほ一層積極的に輸入を開始することになつた、昨年は種々の關係上六十萬梱しか輸入出來なかつたが、今年は銀高、林檎の不作等の影響を受け蜜柑が大歡迎さるゝので大いに力を得て阪神積込み八十萬梱、關門積込二十萬梱總計百萬梱を滿洲に向け發送する段取となつて既にその一部分は七日入港ばいかる丸で大連に到着した、これによつて邦人は勿論冬における果物として最も支那人の嗜好を喜ばす蜜柑に不自由はしなくなつたわけである、然し紀州蜜柑側ではこの大量輸出にほくほくの態であるが茲に苦慮してゐるのは昨年に比し蜜柑の出來が少くなかつたゝめ勢ひ一梱に對して三圓程の値上りとなつたことである

甘塵

◇…朝鮮總督府が滿洲向け原木の輸出を禁止する意圖ありと傳へられ安東の當業者等は大恐慌を來してゐる、いかにもさうありさうなことだ、さなきだに木材の大拂底を來して新京の建築業者等は國有林伐採の請願さへしてる矢先、お隣の朝鮮からこんないぢわるをされては全くやり切れまい、理由は何にしても建築非常時の滿洲を見て貰つて、左樣な方針は一切取り止めて貰ふことだ。

◇…滿鐵改造問題に對して民間株主側の意見を聞いて見るが、どうも尻込みして兎角口を緘したがる、斯樣な空氣は明朗なるべき滿洲の天地に一抹の暗影を投げるもの、よしや當局の忌諱に觸るゝことがあつても、思ふこと憚りなく披瀝してこそ眞に滿洲を愛し滿鐵を思ふ所以ではないか。

金州管內 落花生收穫
前年對一割增

民政署殖產係の調査による金州管內十四會における本年度落花生收穫豫想は左記の通りで昨年度に比し約一割增收の豐作であるが、これは發芽期の適度降雨と爾後の氣候が落花生發育に順調であつたためである（石數は支那桝）

金州會六二五石、南山會一一九石、馬家屯會六二八石、小孤山會一三二三石、大孤山會三〇二石、董家溝會一三一七五石、黃咀子廟會四五八〇石、玉皇頂會三六四〇石、劉家店會二三〇八七石、徐山會二九四五六石、老虎山會七五九〇石、大魏家屯會一四七五〇石、二十里堡會九五三〇石、閻家樓會一四五九〇石、計一五六二二五石、昨年度合計一四一八九六石

黑山縣下の 棉作有望

【新京電話】黑山縣下に於ける棉花適作地は四萬六千五百二十畝とされてゐたが、實際の作地面積は五萬一千八十二畝に增加し、一畝の收穫平均八十八斤で總額約四百五十萬斤の收穫を見たが、尙ほこれ以外に十萬畝以上の棉作可耕地が有望視されてゐる

特產出廻激增
貨車繰に困惑

【奉天電話】滿鐵線による特產の輸送は最近異常の激增を示し、現在奉天管內のみの在貨にても新穀一萬九百噸、其他二萬二千四百噸合計三萬三千三百噸に達してゐるが、一方貨車の運用は既報の通り埠頭より奥地行の生活必需品、建築材料等に妨げられて車輛に不足を告げ、現在奉天管內で二百十車新京管內で四百五十二車の發送を抑制し其他各鐵道事務所に於ても貨車の狩り出しに腐心してゐる狀態である

日滿實業協會 會長に鄉男

【東京特電八日發】來る十八日創立總會を開催する日滿實業協會の會長には鄉誠之助男を推すことに內定した

市況（八日）

特產 賣物多く 大豆低落

今朝の定期は大豆は邦商及南支筋賣りに低落を辿り豆粕は油坊筋賣りに軟調、豆油も買氣薄に軟調を示し高粱は閑散保合を呈した

◇定期前場（銀建）

▲大豆（低落）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 百九十七車

▲普通大豆 出來不申

▲豆粕（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 四萬一千枚

▲豆油（軟調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 一千箱

▲高粱（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 十三車

▲包米 出來不申

豆

けさ大豆は邦商及南支筋の賣りに奥地筋の買も利かず五錢乃至六錢方の低落を辿つた▲豆粕も大豆安と油房筋の賣りに軟調を呈し、豆油は買氣薄に軟調、高粱も人氣なく閑散保合を辿つた▲大豆の到着は頃來毎日四百車近くに上り漸次增加の傾向で、前年に比し埠頭在荷も六百車見當多い▲それに歐洲筋の買氣が一服したので自然相場は軟弱氣配を免れない、材料待ちの體だ▲現物大豆は三井二〇、三菱二〇、油房六〇で百廿車の手合

銀

紐育市場休日にて爲替銀塊共情報なく倫敦銀塊凝り▲上海市場も漲水標金共平凡を入れたが當市は人氣稍强張り四、五十錢高と引締つた▲何等確信の持てる强材料も見當らないが十圓ト臺の安値をみせたので市場人氣の浮動性から買ひついてみたといふ程度であらう▲結局目先十一圓中心の小巾往來の相場らしいから押目買ひの吹値賣りで小掬ひ主義に出る外あるまい

株

大阪は大株大新安、鐘紡、鐘新凝りで大したこともなく東新も二百一圓中心の保合を入れ▲當市も氣配變らず諸株共閑散裡の釘付商狀であつたが滿鐵新は改造問題の惡氣から賣物殺到し六十二圓臺の新値に崩れ▲滿鐵改造も株主の總意を求めず外部的な力によつて動かされるとすれば株主として不安を感ずるの當然である▲從來準公債並に取扱はれ從つて他の主力株の如く相場の敏感性がないだけたちの惡いヂリ安商狀を辿る事にならう

錢鈔 人氣見直し 鈔票引締る

海外情報は倫敦銀塊現物先物共八分一高、孟買銀塊十六分一高、紐育市場休業、神戸日米四分一高、滙水百八圓六角、滙申九七元五五、滙票九七元二〇〇、大洋九七元一〇〇、上海標金四、五元高と材料平凡乍ら當市は稍買氣勝ちで四、五十錢高と引締つた

◇定期前場（單位錢）

商品 麻袋引締る 綿糸弱保合

●麻袋●產地鐵八分一安、青四分一安、爲替四分一安と不引立を入れたが當市は安値には買氣潛在の模樣にて相場も二三厘方見直した引際氣配は現物三十八錢七厘、當限三十八錢六厘、一月三十七錢七厘、十二月三十七錢見當

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	十一月限	三八七	二〇〇
同	同	三八六	二〇〇
同	十二月限	三七五	七〇〇
同	同	三七七	四〇〇

出來高 十五萬枚

株式 滿鐵低落 內地變らず

◇定期前場

◇延取引

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

滿鐵株（保合）　▲東短前場 滿鐵新株 六十三圓四十錢　▲大阪短期 滿鐵舊株 六十三圓二十錢

◇躍取引　代行 二五八　電話 一四五

○爲替及受渡日歩

上海爲替情報

【上海八日發】材料薄なるも英米クロス小高きため標金寄鼻安くアト押目には依然買埋めありて下漉る、弗は支那人よく賣り日外銀行に買氣多く結局保合、圓は北方筋の先物賣にて稍强し且銀行唱へ百八丁度

●綿糸●米棉休會、神戸日米四分一高、大阪三品は期近物保合、先限一圓方高を入れ當市は氣乘薄閑散

爲替相場

鮮銀　倫敦向電賣（一圓）一志二片[illegible]　紐育向電賣（金百圓）[illegible]　同上海電賣（百弗）[illegible]　日本向電賣（同）[illegible]　同手日拂賣（同）[illegible]

上海標金　寄値 七四七兩八〇　高値 七五〇兩五〇　安値 七四六兩〇〇　止値 七四七兩六〇

奥地相場

錢鈔　金票對國幣（奉天）現物・先物　國幣對金票（奉天）現物　開原國幣對金票 現物　新京國幣對金票 現物　安東鎭平銀 當限・先限　哈爾濱國幣對金票 現物　（各値 [illegible]）

特產

▲大豆　哈爾濱 十一月限・十二月限・一月限　▲小麥　哈爾濱 十一月限・十二月限・一月限　（寄付・大引 [illegible]）

各地特產發送高

▲開原 大豆一三車 高粱一一車 豆粕 雜穀一四車　▲公主嶺 大豆一六車 高粱四車 豆粕 雜穀五車　▲四平街 大豆六車 高粱四車 豆粕四車 雜穀四車　▲新京 大豆一九〇車 高粱一三車 豆粕 雜穀三〇車

大連埠頭到着高

大豆四四二車　高粱一二車　豆粕二四車　雜穀三一車

市場電報（八日）

銀塊及爲替　倫敦銀塊 十八片八分五　同先物 十八片十六分十三　紐育銀塊 [illegible]　孟買銀塊 [illegible]　スチール [illegible]　アナコンダ [illegible]　英米爲替 [illegible]　米日爲替 [illegible]　米支爲替 [illegible]

神戸日米　第一回 [illegible]　第二回 [illegible]　第三回 [illegible]

棉花 米棉　現物・十二月・一月・三月・五月・七月・十月 [illegible]

大阪株式　東京株式　大阪期米　神戸期米　東京期米　大阪綿糸　大阪棉花　橫濱生糸　印度麻袋（各相場 [illegible]）

(明治四十年八月十五日 第三種郵便物認可)

満洲日報

朝夕刊共十二頁

定價 一部 金五錢 一ヶ月 金一圓二十錢 郵税 金十五錢
廣告料 普通 一行 金一圓三十錢 特別 一行 金二圓六十錢 場所指定 二割以上加算
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛

發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社 満洲日報社 振替口座大連六〇番

米蘇復交

上陸即日のリトヴイノフ氏・ル大統領と初會見

赤宣傳禁止、債權確保等 交渉案外すら〳〵

【ワシントン七日發國通】七日早朝米國に到着するやニューヨーク市にも上陸せずジャーシーより直に急行列車で首都ワシントンに向つたソウエート外務人民委員長リトヴイノフ氏は午後三時四十五分早くもワシントンに到着し驛頭にはハル國務長官以下米國々務省高官の出迎へを受けたが少憩の間も無く直ぐさまホワイトハウスにル大統領を訪問し、茲に着米後數時間にして早くも第一次會見が行はれた、尤も本日の會見は挨拶を主としたもので一切四角張らずハル國務長官以下米國政府首腦部をも交へル大統領とリトヴイノフ氏との間に前後約二十分間に亘つて會談が行はれた、從つて米蘇國交復活の全體的折衝には入らなかつたがルーズヴエルト、リトヴイノフ會談の幸先きは頗るよく復交交渉の前途が樂觀されてゐる、かく萬事スピードアップで事が運ばれるので明八日から直ちに復交の具體的交渉をはじめるものと見られるがこの折衝で米國側が最も力點を置くのは

一、米國に於ける共産主義宣傳の禁止並に取締問題
一、米國のロシアに對する公私債權問題

等である、而して右對蘇債權の内容は

一、ケレンスキー債元利三億二千七百五十四萬弗
一、私的債權四億四千百萬弗

以上合計七億六千八百五十四萬弗である、之に對しソウエート側は少くも當初は先づ兩國の國交を正常狀態に回復し、然る後懸案解決の折衝に入るべきことを主張すべく之は過般カリーニン氏がル大統領に送つた回答においても明示してゐるところであり且つモロトフ氏も六日の革命十六周年記念式の演説中で蘇聯邦が特に力點をおく點だと述べてゐる點でも明かである併し宣傳問題と云ひ救濟問題といひ共に他の外國等の復交々渉における先例もあることであり米蘇兩國ともその國内的國際的考慮から熱心に復交を希望してゐるもので今回の交渉は案外すら〳〵と運ぶだらうといふのが一般の豫測である

(寫眞上ル氏下リ氏)

上原元帥薨去

八日午後七時四十五分

【東京八日發國通至急報】危篤狀態にあつた上原元帥は八日午後七時四十五分遂に薨去した

【東京八日發國通至急報】陸軍省公表＝上原元帥は八日午後七時四十五分薨去す(寫眞は故元帥)

あゝ、元帥

【東京八日發國通】上原元帥は八日午前十一時二十分頃より絶望狀態に陷り中村主治醫は百方手を盡したが及ばず午後三時二十五分全く危篤となり遂に上原家では午後七時四十五分薨去の悲報を發表するに至つた、臨終の枕邊には長男七之助氏夫妻、大塚惟精氏、大林義雄氏、小澤凱夫氏等近親が靜かに元帥の靈を見送つた、元帥が臨終を告げた病室は奥間の茶室兼寢室の八疊の間で床の掛軸の前には長女愛子さんの心盡しの盛花が添へし く置かれてあつた、又その前の元帥の手机の上には元帥が日頃愛讀する平田篤胤全集が置かれてあつた、尚元帥危篤の報に元帥の戰友として莫逆の交をなした内山大將や井戸川中將が病床に驅つけ最後の告別をなした

驚異的體力

危篤より甦る

【東京八日發國通】今朝來再び危篤に陷つた上原元帥は八日午後三時二十五分息を引取つたので家人始め附添の人々は涙の内に各方面に宛てその手續きを執つたが注射したカンフルが奇蹟的に效を奏し元帥は再び微な呼吸を吹き返し、人々は僅かに愁眉を開き乍ら元帥の驚異的な體力に今更の如く讃歎して居たが、しかも遂に起たず惜しむべきである

叙位叙勲

【東京八日發國通】畏き邊りでは上原元帥危篤の報を聞召され八日午後五時二十分左の如く叙位叙勲の御沙汰あり直にこの旨陸軍省より元帥邸に聖旨を傳達した

元帥陸軍大將正二位勳一等功二級子爵 上原勇作

叙大勳位授菊花大綬章

日印會商大詰へ

わが訓令八日發電 新協定確實に成立

【東京八日發國通】訓電發送により日印會商は圓滿解決を告げ新協定は旬日の中に成立の見込確實と見らる

訓令内容

【東京八日發國通】日印會商に對する我最後案を決定すべき官民協議會は八日午後外務次官々邸に於て開催外務省より來栖局長以下商工省より吉野次官以下民間側より阿部氏以下五十餘名出席午餐を共にした後來栖局長六日の澤田ボアリー兩代表の交渉迄の經過報告民間側より相當深刻な意見の開陳あり結局對印通商上に於ける利益擁護確保の建前から大體意見の一致を見廣田外相は本日中に澤田代表宛に最後訓電を發する事になつた、之に依りアリーに於ける交渉の根本原則は確定成立の見込が明瞭となつた、訓令案旨子左の如し

一、帝國政府は對印輸出綿布數量を確實に四億平方ヤードを獲得せば他の枝葉末節に關しては敢て異議を唱へざるものである
一、從つて印度側の主張する貿易年度を四期別とし又輸出綿布の品種別を四種別とするが如きは實質において輸出綿布を四億ヤードとし得ざるものなり、依つて最低限度貿易年度を二期とし品種別を印度國内法適用の生地及び加工の二種とし而も右制限も屈伸的方法主義として容認せしめる事
一、即ち當該年度内における各品種別により輸出する數量において制限度に過不足を生じたる場合はこれを次年度に繰り越し得る事
一、我輸出綿布制限數量より印度に再輸出する綿布の數量を除外する事
一、綿布對棉花のバーター一萬俵對二百萬ヤードとしこれがスライデング・スケールの基準を百萬俵對三億一千五百萬ヤードとし我棉花最高買付數量百三十七萬五千俵、綿布の最高輸出量四億ヤードとしたきも、この點に就いては代表の裁量にて我方に一方的不利ならざる範圍にて折衝すべし
一、更に日印通商條約は印度棉花に對する今回の制限の範圍に於ては無條件最惠國約款主義を堅持すべく、人絹を始め雜貨全般に就いても第三國と完全に同一待遇を受くべき事の條約を得られたし

官民協議會

【東京八日發國通】官民協議會は三時半散會したが同協議會の結果につき左の如きコンミユニケを發表した

十月三十日吉野商工次官、來栖外務省通商局長西下後の本件交渉模樣につき政府側より詳細説明するところあり、右に對し綿業者側より種々意見を陳述したが現實四億碼確保のため此上とも協力努力するために兩者意見の一致を見た

"輸入日貨"商議

ラ英商相下院で言明

【ロンドン七日發國通】七日の英國下院で商相ランシマン氏は日印會商の經過を略述した後日英民間協議會につき次の如く言明した

本日中にシムラ會商の英國民間代表が歸英するのでその上で滯英中の日本實業者との間に日英民間協議會を開始する、商議は出來るだけ速かに進捗せしめその間日本商品の英本國並に植民地におけるダンピング問題も討議する筈である

"行動哲學"また前進

獨裁ムツソリーニ首相の果斷

【東京特電八日發】某所着報に依ればイタリームツソリーニ首相は政治、經濟に劃期的變革を行ひ政治機構と經濟機構を分離せしめて統制經濟を斷行することとなつた即ち全國の産業部門を七つの大部門、四十六の小部門となし小部門から六名乃至七名の代表者を選出して約三百名からなる産業議會を組織しこれを政治議會と對立せしめ經濟的立法部となつて政治關係との調整を計りイタリーの全經濟機構を掌るさいふのである

英戰債内金拂て當分打切り

【ワシントン八日發國通】英米戰債交渉の不成功に鑑み英國は來る十二月十五日期日となる對米戰債年賦金一億一千七百萬弗の内金拂として七百五十萬弗を米國に支拂ふこと〻なつたがル大統領は七日英國の右内金拂ひを受領すべきことを聲明した

撫寧城の殘匪を國境で爆滅

わが空軍"熱河"を護る

【錦州特電八日發】錦州にある我が空軍は七日長城を越えて界嶺口から熱河省内に遁入せんとした撫寧匪に大爆撃を加へたが更に坂本青砥の兩部隊は長城方面に散在する撫寧城の殘匪を掃蕩中

緝私隊員戰死す

安東下流に小賊出現

【安東電話】八日拂曉安東下流掛纜溝緝私局を約六十名の匪賊が襲撃し緝私隊は直に應戰撃退したがその際隊員黒島平七氏は戰死した

特務部案を修正し軍、滿鐵意見一致

細目立案は滿鐵へ委任

滿鐵改組問題は八田副總裁の新京行により第二期に入り、近く小磯、八田の各巨頭が上京、先發した遠藤總務廳長をも加へて中央に當ることになり、八田副總裁は一と先づ八日歸連した、副總裁の新京行きが

特務部案

に對し滿鐵軍側から提出した五箇條の條件を如何に調和すべきかにあつたことは既報のごとくであるが、その内の第一の條件たる地方行政を卽時滿洲國に移譲する項は現實問題として不可能となり特務部案がそのまゝ採用されたが、その他の諸點、ことに

一、經濟參謀部が直接産業別子會社を指揮する事はホールデング・カンパニーをいよ〳〵無力ならしむるものであるからある程度までこれを緩和すること
二、産業別子會社の重役の任免、新規事業計畫、株主總會附議事項及び利益配當は經濟參謀部に屬することになつてゐるが、上記四項の決定に當りては必ずホールデング・カンパニーの總裁に諮問すること

等の滿鐵側の

希望條項

は出來るだけこれを容れて、滿鐵の意志を相當汲み入れること〻なつた模樣である、かくてホールデング・カンパニーは特務部原案よりはや〻強力のものとなつたので、結局は滿鐵が軍より一任されて細目的立案をなしこれを中央に移す段取りとなすわけである、かくて問題は極めて細目に及んで來たが、大綱において特務部案であることには間違ひなく、いはゆる現地案なるものゝ持つ重大性は依然として儼存してゐるわけで、本案を中心とする中央の贊否の意見は興味をもつて見られてゐる

社員會役員會

態度愼重申合

滿鐵社員會では八日午後二時より役員會を開催、改組問題に對する對策を協議した、社員會が最も驚かしたものは軍部が或は非常強硬の手段を以て改組に臨むのではないかとの疑問がないでもないが役員會ではこれを默殺することに決議した

然し改組問題に就いては一日も早く三萬社員の人心の動搖を鎭める爲め事の眞相を確める必要ありとし八田副總裁の歸連を待つて九日社員會幹部は副總裁に會見、改組問題の經過及び滿鐵重役團のこれに對する決意を聽取することに申合せた

次いで伊藤幹事長より六日社員會の改組問題運動についてその經過を羽田鐵道部長に説明し諒解を求めたところの經緯に就いて報告があつた

社員會代表

けふ副總裁と會見

滿鐵改造問題に關する關東軍と滿鐵との關係は極めてデリケートなものがあり果してどの程度までの諒解が成立してゐるかは未だに明瞭を缺いてゐるが本問題に關して滿鐵側で主として活動して來た八田副總裁が八日午後四時四十分歸連したので社員會代表は打連れて九日午後副總裁を訪問し今までの

卽ち伊藤幹事長、渡邊、阿部兩幹事は六日午後羽田鐵道部長に會見し、社員會評議員會の執つた態度に就き詳細説明したところ、社員が一致團結してこの滿鐵改組問題の成行に對し靜觀することは非常に贊成する、然しこの際私人的身分の問題に就いて考へることなく飽くまで國策的見地に立ち考慮すべきであると羽田部長は社員會の運動に贊意を表し最後に是に就いて社員の動搖が警め輸送繁忙の際特に運輸業務に精勵するやう勸告するところあつて双方の會見を終つたものである

なほ羽田鐵道部長は去る六日各鐵道事務所長を通じて鐵道從事員に對しこの際特に滿鐵社員の模範的態度を示す爲め業務に精勵するやう訓旨を與へたが之等諸報告を終つて役員會は四時十分終り直に集頭職合會の改組問題に對する座談會に臨んだ

經過を出來得るかぎり説明するやう要望すること〻なつた、なほ社員會ではこの會見を極めて重大視し、その結果によつて目下作成しつゝある社員會獨自案といはゆる現地案との差違も明かとなり、今後の社員會の運動方針も自ら決定されるだらうとしてゐる

滿鐵改組軍部案 "承認"は誤傳だ

八田副總裁歸連談

新京にあつて關東軍當局と滿鐵改組問題に關し打合せ中であつた滿鐵八田副總裁は杉本秘書役を伴ひ八日午後四時四十分大連着列車で歸連したが金州まで出迎への記者團に冒頭から「出發前に話をした通りで問題は何等進展してゐない私が軍部改組案を承認したなんてことはあり得ない、事實新京で小磯參謀長と約二時間しか會つてゐないものがそこまで話の進めやうがないではないか」と語り記者團の質問には要點に觸れることは避けて居たが語る

問　滿鐵が軍部案をまだ承認してゐないものとすれば滿鐵案は作られてゐるか
答　政府の滿洲經濟開發根本方針に從つて滿鐵でも作つてゐるがまだ出來上つてゐない、案の内容完成の時期は明言の限りでない、軍案はどうか知らぬが滿鐵では相當細かく作つてゐる
問　然らば結局中央政府に持つて行かれば決まらぬだらう
答　その通りだ
問　それでは關東軍および滿鐵でそれ〴〵の案を作り中央政府で裁決さすことになりはせぬか
答　それは見當違ひだらう
問　では先づ出先機關の意見一致が必要か
答　そうあるべきだらう
問　中央政府で決定する以上滿鐵關東軍政府各關係者が一緒になつた全體會議を必要としないか
答　そうなるだらう
問　では議會にもかけることになるか
答　勿論議會にはかけなくてはなるまい
問　滿鐵案と軍案の歩みは一緒に進んでゐるか
答　まあーれ
問　然らば實現の期も近いのではないか
答　小さな會社でもその組織を根本的に改革することは容易に決まるものでない、しかも滿鐵の如き大會社がそう簡單に決まるものか、縱からも横からも各方面から審議されて始めて完全なものになるのだ
問　社員會幹部も副總裁の歸連を待ち侘びてゐる
答　大いに會つてよく話も聞き答もしよう
問　滿鐵も内容を或程度まで發表することが好くないか
答　對内宣傳は百害あつて一利なし絶對にやらぬ
問　滿鐵株は下つてゐる
答　或會社の改造問題が流説されればその株は一時下るのは常例で不思議はない
問　副總裁の上京期は……
答　上京する意志はない、株主總會まで上京することはあるまい全體會議があるとしても自分は上京しなくても好いやうにしたい、山崎理事はゐてくれる方が便利だから當分ゐてもらう

かくて最後に能談の緒に左の如き意味深長な言葉を殘した
そう突拍子もない改造が行はれる答はない、遠い所の見極めは誰にでもついてゐるのではないか、諸君の書いてゐる記事を試驗と見れば全部及第だよハヽヽ、……

奉天社員會開く

【奉天電話】滿鐵改造問題の八釜しい折柄奉天の社員會においても此際この問題を單に評議員や役員のみの問題とせず、社員全體の問題とする意向から八日午後四時半より社員倶樂部に鎌田奉天驛長加藤總局弘報係主任、泉地方事務所社會係主任を始め各機關代表約三十名參集秘密會として

一、滿鐵改造に關する件

につき協議會を開いた

勅選議員補充

【東京八日發國通】政府は七日の定例閣議で來る第六十五議會の召集期日を十二月二十三日召集に決定したが議會準備の一つとして召集前迄に勅選議員の補充を行ふ筈で愈々その人選に着手した、而して勅選の缺員は目下九名となつて居り現内閣は組閣以來の方針通り實業家よりの勅選は採らない方針だが自薦他薦の候補者數は既に百名以上にも達してゐると云はれ決定までには尚幾多の紆餘曲折を免れない模樣で有力な顏觸れには小山法相、廣田外相、堀切翰長、藤沼警視總監、關屋前宮内次官、黒崎法制局長官等が擧げられてゐる

豫算省議

【東京八日發國通】豫算省議第九日は八日午前十時より藏相官邸に開催され、高橋藏相、黒田次官以下各關係官列席、拓務省豫算全部と大藏省豫算の經常部の分に對する査定を審議して午後五時三十分散會した

社說

滿支露に跨る蒙古民族

蒙古民族は滿洲國興安省から熱河省の一部に住し、支那にありては察哈爾、綏遠、寧夏の三省を其の鄉土と爲す。其他庫倫を中心とする外蒙一帶の地域はソウエートロシヤに屬して聯邦の一となつてゐる。尚一部の蒙人は新疆省、青海、西藏にも散在してゐる。居住地域の割合には人口多からず、全部にて二百萬と云ひ又は三百萬と稱せられる。但し既に漢人化し、西藏化し、印度化したるものを合すれば五百萬人に達するであらう。此の民族は漢人に比すれば現在の文化は劣等であるけれども、必ずしも低能民族でないことは歷史によりて證し得る。併し清朝時代に極度の壓迫を被りたる爲、文化發達の機を得なかつたのであるが、將來內外蒙古に據りて、滿支露三國の關係に相當重要な地位を占むべき民族である。

◇

此の民族は曾て華やかな歷史を有したこともあり、目下他民族の羈絆を受くるを快とせず、民族自決の思想は何處よりとも無く浸潤して來た。曾て東部內蒙古の一部には、日本の援助を得て清朝の羈絆を脱せんと謀るものもあつたが、滿洲國の獨立によりて自然支那から離るゝを得た。滿洲國の元首は以前の清朝の皇帝であり、多數の人民は同じく漢人であるけれども、國家は王道を立國の精神となし、民族協和を聲明せるのみならず日本の援助を得てゐるのであるから、彼等は喜んで滿洲國の主權に服した。且つ興安省の設置によりて殆んど自治に近い省政を布かれたのであるから、此の地域に在る蒙族の得意思ふ可きである。之れを見て熱河省內の十四蒙旗の蒙人は自治を與へられんことを望んでゐる。支那でよく流行する省人治省の思想を汲んで、蒙人治蒙の思想が流れてゐるのである。併し其の人口四十萬に對し熱河省には別に二百萬の漢人が居る。此間にありて、民族協和の政治を、機構的に並に精神的に建設し指導してやることは、日本人の重要な任務であらねばならぬ。

◇

蒙古人の民族自決思想につけ込んで、外蒙古には曾てソウエートロシヤが入り込み、遂に全然赤化し去り、ソウエート聯邦の一に組み入れた。外蒙が實際は兎も角、獨立の形を取り、民族自決の形式になつたことは、察哈爾、綏遠等の蒙族を刺戟してゐたが、滿洲國の成立により て東部內蒙古が自由を得たのを見て、察哈爾、綏遠、寧夏三省の蒙族が更に動き出した。これが、錫林郭勒盟副盟長德王を首班とし、白雲梯を參謀と爲す三省所屬の蒙族獨立運動である。十月上旬に綏遠省百靈廟に內蒙古王公會議が開かれた。各王公間の聯絡十分ならずして何等の決議もなかつたけれども、その空氣の動く所は察するに難からぬ。

◇

而して南京政府も此等の空氣を等閑視すべからずとして、班禪喇嘛や章嘉活佛を特派して宣撫せしめた。八十萬元の運動費を與へたとか、武器や無線電信の機械を班禪喇嘛に與へたとかの消息があつた。最近には內政部長黃紹雄氏を特派して視察せしめてゐる。而して德王等の要求せる可なり高度の自治權を許すことに決心したやうである。恐らく、之れを許さないと、三省聯合獨立となり滿洲國の二の舞を演ずべきを恐れたものと思はれる。德王は今年三十二歲、新知識に富み、三省獨立の抱負を抱いてゐる。南京政府の與へる自治が如何の程度のものであるかは不明であつて、又實際にどこまで成功するかは豫斷し得ない。併しながら此機に乘じて、ソウエートロシヤが手を差し伸べて、此の一帶の地域を外蒙古の如くになさんと試みるであらうことは豫想される。尚別に、滿洲國內の蒙古族、支那國內の蒙古族、外蒙古の同族が結合して、獨立國を作らんとする氣勢もないではない。此の運動の中心としては吳鶴齡（蒙古豪族で北京大學政治科出身）を首領とす全蒙族大同團結の一派がある。兎も角も、此等蒙族の動きは滿洲國にとりて對岸の火災ではない。

銀行法けふ公布さる
外國銀行關係部令も同時に
八日參議府會議可決

【新京電話】豫て財政部で立案中であつた銀行法は八日參議府會議を通過し銀行法、施行細則及び外國銀行に關する財政部令と共に十一月九日附を以て公布せられることになつた。從來滿洲國內における銀行業は未だその發達十分でなく且つ舊政權時代では一般銀行業の取締り監督に關し何等の施設がなかつた爲め銀行の組織業務の內容は極めて區々に亘り居りこれらに對し俄かに嚴重なる取締り法令を以て臨むことは既存機關の活動を衰微せしめ却つて金融の圓滑を害する惧れあり

新銀行法では特にこの點に留意し滿洲國の實情に卽した取締りを行ひよつて民間銀行を指導してその發達を助成するを旨としてゐる、尚新銀行法の規定を受けるものは現在約百六十一あつて甲、銀行と名の付くものは七十一その他は貯蓄會社或は錢鈔などである

滿洲における主なる銀行は殆んど外國銀行であるがこれらに對しては特に預金者保護の立場から財政部總長は必要と認めた金額の供託を命ずることを得ることゝなる筈である

石田侍從武官十七日新京着

【新京八日發國通】畏き邊りでは今回侍從武官石田中佐を關東軍に遣はされ、聖旨を傳達將兵一同に御下賜品を賜はる趣き同侍從武官は十七日新京着爾後奉天、濱崗子錦州、承德、ハルビン、チチハル洮南、大連、旅順、安東にある部隊を親く巡視の筈

黑河に特派員
對ソ聯外交事務管掌

【チチハル八日發國通】從來黑河は對蘇聯關係の重要地點であるので清朝時代より引續き同地には黑河道尹を置き對露外交關係及び黑龍江沿岸各縣の行政を統轄してたり滿洲國成立後も本年十月迄黑河特別市警備處として馮惟德氏が全責任を帶びてゐたが地方行政の統一の見地から右警備處を廢し普通行政公署を黑河に移したものであるが其後對蘇聯關係益々緊迫すると共に赤軍の越境掠奪事件等相繼きて起り事態益々複雜化するに伴ひ黑河の重要性は再び各方面に於て認められるに至つた結果最近にては

一、外交部より特派員を派遣し對蘇聯外交關係を管掌せしむる

二、昔の道尹衙門制又は現在の興安省に於ける分署制の機關を設置し黑龍江沿岸一帶の外交地方行政及び治安警備を總攬する

の二案が論ぜられるに至り既に某方面からは中央にも提議されてゐるが中央でも既に同意を表し取敢ず第一案に依り外交部特派員が近く設置される方針に決定した模樣である

運賃計算は果して曖昧か
鐵道研究生

◇先日「運賃計算の怪」として「不思議生氏」は本欄に鋭いメスを揮つて流石の大滿鐵をして顏色なからしめたらうの感があつたが遺憾ながら餘りにも自家流計算でそれを明示されたる運賃と比較し勝手に「不思議々々々」といつてゐるのだ。

◇折角一等一粁につき四錢四厘と

まで調査したのなら滿鐵の運賃計算方も少々注意したらどうだらう、流石は滿鐵、貴下のやうにいきなり賃率に營業粁程を乘じ理由もなく切捨、切上げはしてゐない。

◇貴下のいはれるのは大連、奉天新京各區間の一等普通旅客運賃のことだから滿鐵の確固たる運賃計算基礎を示し貴下の計算されたる運賃と比較して算出して見よう。

◇普通旅客運賃の計算方は次によるのだ

一、旅客運賃を計算する場合における粁未滿の端數は一粁に切上ぐ（規則第四條）

二、普通旅客運賃は既定の賃率に旅客の發着區間粁程を乘じたるものとす

普通旅客運賃の計算は五錢を單位とし

（イ）二錢五厘未滿を切捨て（ロ）二錢五厘以上七錢五厘未滿を五錢に（ハ）七錢五厘以上を十錢とす（規則第四十條）

◇故に一等一粁に付四錢四厘だから先づ

A、新京奉天間は三百四粁八（一）により三百五粁、運賃は十三圓四十二錢、さあこゝだ、これに（二）の（イ）を適用するのだ故に二錢を切捨てゝ十三圓四十錢となる、貴下のは十三圓四十一錢一厘二毛となつたのを、一錢一厘二毛を何と考へて切捨てたか

B、奉天大連間は三百九十六粁六（一）により三百九十七粁運賃は十七圓四十六錢八厘、こんどは（二）の（ロ）により一錢八厘を切捨てゝ十七圓四十五錢、貴下は十七圓四十五錢四毛と算出し四毛を切捨て辛うじて十七圓四十五錢とした

C新京大連間七百一粁四例により七百二粁となり運賃は三十圓八十八錢八厘最後の（二）の（ハ）を用ひ三十圓九十錢とした

◇貴下は三十圓八十六錢一厘一毛となつて此奴を切上げて三十圓九十錢とは怪しからんと考へた

ざつとこんなもので滿鐵のけちやない滿鐵の一、二等普通旅客運賃はかゝる方法より算出されてゐるのだ

◇何も例を出さずとも不思議明なる貴下は之だけですも無意味でもない實に合鐵の運賃計算方は決して堂々たるものであることつたことゝ思ふ。

◇成程たまへ大連、新京運賃が高い旅客に少々不ろ、しかし鐵道は公器だのためのものだ、滿鐵の賃が右のごとく或る箇所なつてきても他の方面にくなつてゐて總體的に決衆には損害をかけてゐな平等だ。

◇終りに貴下のかゝることたもち熱心に研究された に深甚なる敬意を表す。

"京圖線の乘心地"
危險感など滅相な―
鐵道省小原貨物課長の談

【奉天電話】去る三十一日より京城に開かれた內鮮滿運輸聯絡會議に列席した鐵道省貨物課長小原英一氏は七日より來奉瀋陽館に入り語る

一、會議を了へて京圖線を視察して來たが內地では京圖線はとても危險で乘れないと聞いてゐたが、來て見てその認識不足に恥ぢてゐる、全く豫想外の發展振りに驚いた、新興の意氣に燃えてゐることを痛感して嬉しい

一、北鮮の三港と大連港の關係はデリケートな問題であらうから徹底的な意見は出せないが、今の京圖線並びに國線の運賃率を以つてしては到底これ等三港の發展は認められない、從つて羅津に廣大な費用を投じてそれを單に軍事的なものとして置くのは、平時において餘り不經濟であるからこの點國線の方でも大いに考慮し、滿洲國を産業的に或る區分をなしその間何等かの統制を行ふ必要も生ずるのではなからうか、勿論その區分のため新線の敷設は大に行はればならぬだらう

一、滿鐵が內地と同じやうに遠距離遞減法による運賃率を採用してゐるに反し、國線は遠距離比例法をとつてゐるのは至急改めねばならぬだらう、鐵路總局は技術と事務兩方面において優れた指導者を得るため鐵道省と現に交涉中であるが、初めは內地でも希望者が多かつたが、滿鐵が內地より來た者と滿鐵で育てた者との間に種々な點でうまく行かないことがあり、漸次氣乘薄になりつゝあるのは發念なことである、從つて伊澤次長は今內地で募集に非常に苦心してゐる樣子である、內地人の關心は日滿の融和程度の眞相を知りたがつてゐるやうである

雄羅隧道を語る
北鮮終端港修築の先驅―
雄羅線工事の現況
(中)―羅津にて―一記者

雄基、羅津間の交通は、現在館洞嶺の鞍部をパッスして約四里ほどだが、羅津灣から眺めると、この館洞嶺の左寄り、卽ち北西に連亘する山嶺のうちに一番高く一番嶮しく、頂上は黝ずんだ岩が劍のやうに屹立して、ちよつと朝鮮の金剛山を想はせる一峻峰を認めるこれが寬谷嶺で標高約五二〇米、この山の頂から氣持ち東寄りの肩を垂直下する地心、そこを貫通するのが卽ち雄羅ズキダウである。若し山の名に因むならば、寬谷トンネルと呼んで差支ない。

◇

雄羅隧道はこのズキダウ內の一點を取つて工區を二つに分け、雄基口を第一、羅津口を第二として沼崎技師を線路長とする堀內、小林氏等の監督下に鋭意工を進めてゐる。左表に依つて工事の種別數量其他がはつきりするであらう。

	(第一工區)	(第二工區)
全延長	九K四二M	三K三M
隧道	一K七二M	一K四二M
請負額	一〇三萬圓	一〇八萬圓
請負者	西松組	鐵道工業
現場者	田本辰次郎	中島彥作
工區主任	河合	河合
同代理	中林	宮脇

◇

この隧道は今や南北の兩口から盛んに掘り進められ、羅津口の方は十月二十七日現在に於て五三六米八まで進んでゐる。そして貫通の豫定は十年の一月十日頃であるから、今日よりなほ十四ケ月を要し、それより六ケ月を以て全線竣成に達するのである。素人の說明は甚だ危なつかしいものだが、極く簡潔に工事の現況を陳べることにしよう。

◇

隧道工事、卽ちトンネルの掘り方は大體五段に分けられる。第一は先づ「導坑」といふ穴を明けるのだ。穿孔機を以て二十五本乃至三十八本の孔を、豫め定められた方向と深さにあけるそれに一々導火線の附いた雷管を裝塡する、之に從事する人員は九人乃至十人で、點火と同時に約二〇〇米ほど坑內を後退すると、轟然爆破されて坑內は萬雷の如き響音と濛々たる硝煙に罩められる、此の煙を壓搾機で外界の空氣と轉換し、それから鑿石機（マイヤー・ホエレー・ショベリング・マシン）を使つて爆破された石屑を掃き清めたやうに積取つて坑口へ搬出せしめる。この一回の作業に要する時間が約五時間、作業成績は幅四米、高さ三米、深さ一米乃至一米八、これを一日に二回乃至三回繰りかへして大體四米平均の深さを每日掘り進んでゐる。

◇

次に第二の方法として「中背」といつて、導坑の眞上に新らしく一つの穴をあける。掘り方は第一の場合と同樣で、つまり導坑擴大作業になるのである。更に第三に「頂設導坑」といふものを中背の眞上に前同樣の方法で掘つて、以上三つを一つの坑に貫通せしめる進んで第四には コンクリートを以て頂邊の「丸壁」を造り、第五に「土平」と呼ばるゝ側壁作業を同じくコンクリートで固める。なほこの外に下水道を造ることによつて坑道を完成するのであるが、現に羅津口坑內で使つてゐる機械はヘビードリフター（大型鑿岩機）四基、マイヤーホエレーのショベリング六基が主なるもので、就中後者は一臺の値七萬圓といはれ、爆破された石屑、卽ち岩片や粉末狀をガクッと攫ひ取つて機上に入れつゝ後方の搬出車に流し込む手際は正に人間の出來ない藝當だ。人間が掛け聲勇ましく六七時間かゝる所を四五十分で片づけるのである。この機械は大正三年初めて撫順で使つたが、其後沙河口工場で新たに三臺製作、更に日本社から二臺入れて現に合計六臺が鮮かな作業振を見せてゐる。（寫眞は坑內掃蕩作業の怪漢マイヤー・ホエレー・ショベリング・マシン（作積機）の偉容）

"銃後"の乙女心
第一線將士へ贈る慰問狀

滿の第一線に働く將士へ慰問の手紙を出す可く放課後裁縫室に集まつて手紙を書くもの、マスコットやシナリの手藝品を造るので懸命だこの乙女心をこめた手紙が將士の手に渡つた時の嬉しさは！（寫眞は慰問品を造る生徒達）

新京高等女學校にては全生徒が北

白系露人への"革命記念日"
祝賀とは反對の追悼會

【チチハル八日發國通】當地に於けるソ聯革命記念日はソ聯領事館內で開催されたが一方昨日午後七時より白系ロシア人卅餘名はロシア人小學校に集合し千九百十七年の本日は我々同志百萬十萬人が赤系ロシアに虐殺された日であると悲憤慷慨裡にその追悼會を行つた

一ケ月中に離鄉二萬
不正入國頻々

【新京電話】最近ソ聯人の不正入國者頓に增加しつゝあるに鑑み國境警備當局に於て調査せるところソ聯は國家強化の基礎確立のため身體强健にして共產主義を遵奉し國家に忠誠を誓ふ者に限り居住及び旅行し且つ必要なる食糧の供與を得る證明を支給し然らざる者卽ちソ聯に忠實なりざる者は遠く生くべき筋への推算に依れば遠くシベリア國境接續地帶及び沿海州一帶において右の政策實施により本年內に放逐される人民は數十萬に及ぶべく十月中チタを通過し西又は東に放逐されたもの、みにても二萬以上といふ

人事行政刷新
永井廳長英斷

【チチハル八日發國通】永井總務廳長が當地に着任以來種々取り沙汰されてゐた人事行政の刷新に努力し嚴に各科長、騎參事官の異動を行つたが本日更に委任官以下三十餘名に對し一齊に馘首を申渡し大センセイションを起してゐる

特務機關長異動

【新京八日發國通】今回土肥原特務機關長就任に依り左の如く異動が行はれる事となつた

二階堂大佐

任承德特務機關長　松室　大佐

任齊々哈爾特務機關長　嘯峨　中佐

任山海關特務機關長

北鐵管理局改組
委員會を設け研究

【ハルビン特電八日發】北鐵管理局の改組問題は再三理事會にかけて討議したが一致點を見出すに至らなかつたので、委員會により更に研究することゝなつた、委員會は來週から開始されるが、兩國幹事を委員とし速記その他の記錄を取らず、相互の腹藏なき意見を交換すると

大連市參事會

大連市參事會は八日午後一時半より助役室にて開會

昭和八年度市稅戶別割等級更訂の件▲恩賜基本財產寄附金收受の件▲不動產處分の件▲訴訟提起の件

を愼重審議の結果原案通り承認した

大藏公望男

【新京電話】目下來京中の貴族院議員大藏公望男は八日午後四時半より新京高女講堂に於て第六十四議會とその後の政情と題し講演する所あつた

關東廳辭令（八日）

關東廳遞信副事務官　高橋富十郎

免本官

補新京郵便局長　關東廳遞信事務官　高橋富十郎

六級俸下賜

遞信局兼務を命す

人事

▲小泉正二郎氏（海事協會大連支部長）八日入港しあさる丸で歸連

▲篠原豐三郞氏（滿鐵沙河口工場庶務長）同上

▲伊藤勇氏（東本願寺滿洲拓事講習所講師）同上

▲林仰喬氏（奉天省公署統計科長）工場參觀のため本社來訪

▲水野宗之助氏（奉天公署事務官）同上

▲田邊秀雄氏（關東廳學務課長）八日午後四時二十分發列車にて新京へ

▲菱沼勇氏（滿鐵囑託）同上

▲岡本祐久氏（奉天鐵道事務所庶務課長）同上

▲八田嘉明氏（滿鐵副總裁）同午後四時四十分着列車にて歸任

▲寺田良之助氏（新任大連警察署長）赴任のため同上

▲渡邊中氏（關東軍獸醫部長）八日午後七時半着列車にて來連

▲久下沼英氏（關東廳刑事課長）同上

小觀

歐米諸國の帝國主義はアジアを侵略すべくあらゆる方法を以て暗躍しつゝあり▲これ、廣東大亞細亞協會から營口朝鮮民會にあて、來た檄文中の文句▲だから東方民族は一致協力して相互扶助せねばならぬといふのだ、歐米のアジア侵略に夜も日も足らざるは今に始まつたことではない▲黃郛氏の政權は漸次鞏固を加へつゝあり、羅文幹氏のソウエートロシアとの不侵略條約締結はデマだらうと、有吉公使の談飛ぶと錯覺し、滿洲人を虐殺し、人民委員會議長は不意の重大攻擊に常備する必要ありと公言す▲我輸に怖る、膽病男の姿そのまゝ、疑心暗鬼の誘そのまゝ▲白系露人傳單や寫眞を搬へて露領に入り、民衆及び赤衞軍に配付す▲內容は何ぞといへば、滿洲國にはドッサリ食糧があるぞ、滿洲國には宗教があるぞ▲成る程、食糧のない國、宗教のない國の人は羨ましがるに相違ない▲ソ政府の痛いところを正に突かれるもの、睡痛に病むも無理ならず。

添本日廳報及附錄

市況（八日）

株式　東新・當市區々

特產　邦商の買に豆粕强保合

錢鈔　材料無く鈔票釘打

商品　麻袋保合　綿糸踸り

市場電報　神戶特產・東京株式・大阪米・神戶期米・東京期米・大阪綿糸・橫濱生糸

奧地市況

家庭

芽出度い七五三のお祝ひ
嬢ちやま方の御宮詣の盛裝
お祝ひ氣分にふさはしい華やかな振袖姿

芽出度い七五三のお祝ひも間近です。坊ちやま方は近年は大抵洋服でおすましになるやうですが嬢ちやま方には矢張り友禪の華やかな振袖姿の方がお祝の氣分にふさはしいやうです、で七五三の可愛い嬢ちやま方のお宮詣りのお仕度について遼東ホテル美容院主礒口逸子さんのお話をきゝませう。

三つのお子には可哀さうですから四寸巾の帶で可愛く菊結びにでもしたら如何でせう、これに緋鹿の子の帶揚を大きく見せ、紅白か赤の丸ぐけを眞中に締めて紅か淡紅のこしさげをさげますさせても可愛らしい姿になります、但し帶揚帶じめ、腰下げさも普通のもので は長すぎますからなるべく短いのを選んで下さい。草履は錦か紅白の重れ草履にしておぐしに七五三用の

紅白 の飾りリボンをおさめになつたら一層お芽出度い氣分が出ませう。小さいお子ですさ落したりして却て厄介でせうが七歳のお子でしたらハコセコや末廣もお揃へになつたがよいさ思ひます（寫眞は七五三の振袖姿、遼東ホテル美容院拔）

卓上日誌

▲學藝會　大連松林小學校では十日午後一時から國民精神作興詔書渙發記念のため學藝會を開催します

强風　前島いづみ

三たり行く學びや道の朝々に
音つのり吹く黄塵の風
朝光の俄か暗みて吹きすさぶ
空ごよむ風町のひそけさ
强風に木々の大方冬枯れて
殘るわくら葉うち顫へつゝ
晩秋の風の間に〳〵散にけむ
朽ち葉のまろぶ音を聞くかな

家庭講座（下）
牛乳の話
帝國料理學會々長　勝見新太郎

結核には牛乳

問● 牛乳は赤ん坊さ同じ位大人にも効果がありますか？

答● 牛乳は赤ん坊にさつて替へ難い唯一の食物であるさ云ふ點で絶對的な効果價値があります、大人にさつても勿論食物さして完全な成分を含んでゐる點で他の食物に匹敵するものがありませんが赤ん坊ほど必要ではありません。

問● 乳が大人にも良い場合はどういふ場合ですか。

答● 先づ普通の病氣の場合について云へば消化不良の時などは特にさうですが結核病に罹つた人には食物の主なる部分に乳を用ひなければ治療するのに困難ですから乳の中にある鑛物質のみがこの働きを仕遂げ得るからです。

消化がいゝ

問● 食物のうちで消化率が惡いものもありますが牛乳の消化率はどうですか。

答● 牛乳は食物のうちで最も消化し易い食物です、先づ三種の穀物さ比べて見ませう。

食物	體内に殘る蛋白質割合
玉蜀黍	二割
小麥	二割三分
碾いた燕麥	二割六分
牛乳	六割

以上のやうなわけで牛乳は非常に消化され易く體内に殘る榮養素が他の食物のうちでも非常に率が高いのです、なにしろ牛乳はその性質上最も消化し易く體内に吸收され易い液體である上に食物さしてその成分のいろいろが極めて平均して含まれてゐるのです。

問● 牛乳の食べる方法は飮むだけですか。

答● 否、飮用する外にお菓子に使つたり料理に使つたりします。（完）

可愛いゝお宮詣での盛裝

お振袖の盛裝ですから嬢ちやま方でも一通りのメーキヤップは是非欲しいさ思ひます、おぐしはオカツパさんでせうからよく鋏を入れるなり

剃刀 を當てるなりしてちぢむさくない樣にちよつさオカツパの先をカールしても可愛いでせう。お顏や手足をよく洗ふさ同時に爪も短く切つて氣味のわるい爪垢などのないやう致しませう。お化粧は襟からお顏にかけて下地にドーランをよく擦りこみます、襟は特に白粉を濃くしますからドーランも幾分多量に使ひます。下地が出來たら水白粉をうすくさいて筆刷毛でむらにならぬやうに二三回塗りますさ容易に白粉がはげません、嬢ちやんですから

花嫁 のやうに眞白に塗上げては可愛氣がなくなります、白粉も頬紅も口紅もあまりお人形化さない程度がよろしいでせう、着物は上から何も着ないのですからあまり薄着させて風邪でも引かせては大變です、さいつて下着があまりブク〳〵してゐては可笑しな恰好になつてしまひます。下着をつけ足袋をはかせ、長襦袢をキチンさ着せて上着さ長襦袢の衿をよく揃へ幾分拔き加減に衣紋を作るさ見榮えがします。帶は七歳さ五歳は六寸巾ので垂れ扇か

揚葉 に大きく結びますが

古い毛皮の襟卷
一摑みの鹽の煙で新しくなる
試して御覽なさい

いくら高價なシルバー・フオックスやスワンの襟卷だつても、毛がペシヤンコになつては如何にもみつたれて見えます、でもトランクや箱の中に半年もしまつてあつたらどんな毛皮だつて犬がい毛がれてしまつてるでせう、これを

元通 りのフツクラした毛皮にするには先づ日向に出して充分かわかすこさ、濕氣があつてはどうしたつて毛が立ちつこありません、日光で充分乾かしましたら今度は火鉢か焜爐に炭火を用意します、火がよくおきた所でその上から鹽を一摑みふりかけますさ黄色い煙がパツさあがりますからこの煙を毛皮に當て、ごらんなさい、毛は忽ち電氣にでも觸れたやうに一本、一本ピンさ立つてフク〳〵さ氣持のよい毛皮になります但し至つて燃え易い毛ですから煙にかざす時餘程

注意 して火に近づけないやうにしないさヂリツさやつてあたら臺なしにしないさは限りません、襟卷位のものでしたら一人でもうまくやれませうが外套のやうに大きなものになりましたら他の人に手傳つてもらつて少部分づつやつた方が安全です、鹽の煙が出なくなつたら何遍でも鹽をほうり込めばよいのです、たゞ壓されてペシヤンコになつたものならこれで元通りになりますがよごれてゐるのはよごれ（特に脂肪）をおさしてからでないさフツクラさなりません、ですから

襟垢 などがありましたらキハツ油をガーゼにふくませてすつかりよごれを去つてから煙にかざすのです、よく水で洗つたりする方がありますが水洗ひするさ皮がゴワ〳〵になり毛の艶が無くなつて二度さ使へないやうになりますから絶對に水洗してはいけません、煙にかざした後狐でしたら足を二本一しよに持つてブラ下げ三四回上下に振りますさ一層毛が立つて見事になります、かうしてあまりよごれぬうちに再々キハツ油でよごれを去りよく日光や鹽の煙に當てますさ何時までもよい

色澤 を保ち毛皮の生命を遙かに長めます、但しあまりよごれのひどいのは一度すつかりクリーニングする必要があります（寶ドライ商會師岡氏談）

家庭重寶帖

粉炭の用途　これから何處のお家でも必ず生じる炭取りの底に殘る粉炭も亦思ひがけない用途があります。これは非常に吸收力の強い性質がありますので中毒や食當りの時に適量の木炭粉を水にまぜて激しく振り粉をよく溶かして十分位の間おいて飮ませますさ解毒劑さして利きます、又同時に殺菌力がありますから腫物の場合等にもガーゼに包んであてゝおくさ治ります。

家庭顧問

家督を相續したいのだが……

【問】 私は長兄でありますが他家の籍に入つて居りましたので弟が戸主になつて居ます、弟は三十年も北米合衆國シヤートル附近で農業を營んで居ります、昨年弟から自分も追々年をさつて來た爲めか故郷が戀しくなつて來たが子供は米國で教育されたものだから郷里へ歸ることを欲しない、自分ばかり歸ることになれば勢ひ子供さ離れて暮さねばならぬ、親さして到底忍びないから自分も内へ歸らないことに決心したからどうか兄上が家名を相續して呉れさいつて來ました、私は早速承認を與へました、そこで知人に相談しました所弟に國籍離脱の手續をさせた上で弟へその旨申送りましたところ弟より國籍離脱は第二世なら出來るが第一世は出來ぬさ云つて來ました、何さかよい方法はないでせうか、私には一女二男があつて長女は他へ嫁いで居ります（困つた生）

復籍、國籍離脱隱居の方法で……

【答】 御質ねの方法に付ては貴下が他家の籍に入られた事由が判りませぬが、先づ貴下が妻子を伴れて實家に復籍せられ、貴下が弟さんの家族になられた後弟さんの第二世の兄妹全部をして國籍を離脱せしめ、次で弟さんは裁判所の許可を得て隱居をせられるさ共に貴下はその家督相續人たることを承認なされればよいさ思ひます、裁判所が弟さんの隱居を許すや否やは問題ですが弟さんが外國に居住して事實上家政を執ることが出來ないのですから多分許可されるものさ信じます、しかし唯貴下が實家の戸主になるが爲めに貴下の甥姪をして日本國民たる資格を喪失せしむることは眞に殘念である、貴下は單に實家に復籍するに止むるか又は復籍後分家することにせられては如何です（寺島由松）

分家にはどんな手續を？

【問】 私の家族は親子五人で主人は戸主の叔父になつてゐますが今度分家をして一家を創立したいさ申してゐます。そして出來るならばその際改姓したいさ思ひますがどういふ手續をしたらよろしいでせうか是非さも御教へ願ひます（大連迷ふ女）

戸主の同意があれば出來ます

【答】 分家は戸主の方の同意があればわけなく出來ますが改姓は分家の際にもその他の場合にも絶對に出來ません（小野實雄）

大連 JQAK　十一月九日（木曜日）

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第二
▲午前七時　ラヂオ體操第一
▲午前十一時　相場（錢鈔、特産株式、各地相場）
▲正午　時報
▲午後零時五分　相場（錢鈔、特産、株式、各地相場、公設市場値段）ニュース
▲午後三時三十分　相場（錢鈔、特産、株式、各地相場）ニュース
▲午後六時　ニュース
▲職業紹介事項
▲午後六時三十分　漫談「世界漫遊」白籐六郎、佐久間健
▲午後七時（大阪より）人形淨瑠璃（文樂座より中繼）傾城戀飛脚（新口村の段）豐竹駒太夫、竹澤團六外
▲午後八時　地唄「根曳の松」箏山口巖、三絃菊仲米秋
▲午後八時三十分　時報
▲ニュース
▲氣象通報

日本棋院秋季大手合戰譜　第三回
先番　初段　藤澤庫之助
互先　初段　塚越常康

【5】

黒	白
一一一カ八	一一二ヨ九
一一三ホ三	一一四ホ九
一一五ニ十	一一六ホ十一
一一七ニ八	一一八ヘ十二
一一九ソ九	一二〇ソ八
一二一ソ十四	一二二ソ十五
一二三ヨ十一	一二四ロ八
一二五ロ七	一二六チ十八
一二七ル十七	一二八カ十八
一二九ハ十四	一三〇ロ十四
一三一ヘ十一	一三二ホ十
一三三ホ十二	一三四ニ十一
一三五ヘ十三	一三六リ十九
一三七ル十九	一三八ル十八
一三九ヌ十八	一四〇ヌ十九
一四一チ十九	一四二チ十九
一四三リ十八	一四四タ十二
一四五レ十二	一四六タ十一
一四七レ十一	一四八レ十四
一四九タ十	一五〇チ十五
七九ツグ	

所要時間累計（黒 四時五十二分 白 五時七分）（制限時間各六時間）

對局者のことば

黒　百十一さ白百十二さの交換は左邊九、十一の二子の方へ影響するので出來るならば打ちたくない所ですが、どうもこの交換がないさ三十七さ九十九さの間の不安がいつまでも消えません

黒　百十三はこゝを確かにしておいて中央の白の大石を脅すつもりでしたが白百十四、百十六さシノがれることをうつかりしてゐました

白　百二十六、百二十八を打つ手順にまはつたので相當こまかい棋のやうには思つてゐましたが

黒　百三十五までのウチヌキは五十九さの間を守る意味において

戰の跡

もまた味のよい點においてもこの際のがせません

白　百四十八に石が來てゐないさ黒（カ十六）を利かせられる工合から中腹の石、四十八以下の連絡に味の惡いこさがあります

◇黒百十三は宜しければなほ殘る白へ五の味に備へたのであらうが、大勢が惡くないから容るされるやうなものゝ、愼重を缺いた謗りは免れまい

◇白百十四、百十六、百十八はそれにしても巧妙なるシノギであつた、百十四の手で單に百三十二などはシノギにならぬことをたしかめてほしい

◇黒百十七にて百三十四に出で、白（ニ十二）黒百三十二白（ヘ十）黒（ホ八）白（ヘ九）黒百三十一、白百三十三黒（ハ八）さ切斷しても白百十八黒（ト十一）白（ヌ十二）黒（ヌ十一）白（リ十一）……以下によりこゝに一眼が保たれ、これは同時に三六、四十の二子にさへ助けられてしまふ

◇黒百二十三も省略できない

◇黒百三十一に先だち白（ヌ十二）の出が利き黒（ヌ十一）白（ト十一）黒（リ九）さ交換し得れば譜の百三十一以下の手段はもちろん防げるわけだけれど、例へば百二十六の手あたりで（ヌ十二）を出ても黒は受けずに（ワ十八）にハネるであらう

◇白百三十二で（ト十一）をキリ黒（ヘ十）白百三十二ださ、黒百三十三白百三十五黒百三十四さ遮り、次には（ハ十一）からの出ギリがある、この點、黒百二十九に用意がしてあつた

◇黒百三十五までのウチヌキは第一に味が好い

◇白百五十についでは明日續説しやう

本社特選　新棋戰（其七）

先七段△齋藤銀次郎
平手　七段▲溝呂木光治

【圖は九一角迄の局面】齋藤氏持駒桂香歩

溝呂木氏持駒角桂香歩歩

▲四七飛　△四八香
▲三六龍　△五五馬
▲五七歩　△六五馬
▲五八銀　△七九玉
累計六十五手

土居八段講評

溝呂木君が攻め手懸りを造る意味に五七歩さ、打込んだのは無策である。其の時齋藤君に於ても、銀を取り敵の五八銀打に對し、七九玉の手順巧妙である。

萩原七段解説

溝呂木氏の四七飛成は、この場合止むを得ない、此處で六四歩なら、四六香さ打たれて五四飛、八一馬で惡い又、六四角は同馬なら同飛で面白い樣だが、敵に矢張り強く四六香さ打たれて、九一角、四四香で次に五一飛打があつて、矢張り惡いので四七飛さ成つたのである。溝呂木氏の五七歩は、五四銀さ引いては三七歩、又は、三七馬さ引かれて面白くないので、五七歩さ打つて三六龍の活用を圖つたのである。齋藤氏の七九玉は、五八同金では三九龍さ指されて惡い。

滿日各地版

吉林討匪に示した 滿洲國軍の威容
軍容刷新、軍規嚴正、全く隔世の感 各部隊の輝く戰功

【新京電話】今次の吉林省內匪賊大討伐には日本軍指導下に滿洲國軍が大活躍をなし顯著なる戰績を殘してをり討伐參加部隊は吉興將軍の率ゆる全吉林軍三萬と黑龍江から應援參加の第〇〇隊〇兵〇〇〇、これに靖安軍〇〇隊と合せて總兵力約五萬强、まさに滿洲國軍の半數に上つてゐる有樣で吉林省內各地で一齊に十月中旬から討匪を實行し既に第一期作戰を終り第二期作戰に移つた

各方面とも着々掃匪の目的を達しつゝあるが就中李振聲少將の率ゆる綏寧地區部隊は小穆稜河（穆稜北方附近）において小金山匪を擊破し李文炳少將の率ゆる賓江地區の軍警は孫朝陽匪を逮捕した外四十數頭目の歸順を迫り朱少將の率ゆる吉林第〇〇隊は吉海線煙筒山において頭目殿臣匪を降伏せしめ後殿臣は自警團に射殺せられたが

また今次討伐の成果を大ならしめた奉天省軍は北支省院の〇〇を〇〇として逃匪の南方脫出に備へ于深徵中將の依蘭縣地區部隊は牡丹江から完達縣間に布陣して敵の北方脫出を防ぎまた黑龍江北岸湯原附近の江省軍も警戒を嚴にするなど各方面水も洩らさぬ討匪陣をたてゝをり第二期、第三期と討伐の進捗に從つて吉林省の根本的肅淸をみるは確實である、因に滿洲國軍の討伐ぶりを視察した日本將校の言を綜合すると滿洲國軍隊の軍容大いに刷新され軍規もまた遂次嚴正となつた模樣で特に討伐日滿兩軍隊の融合官民融和の有樣は隔世の感がある由である

死の都開魯 更生の第一步へ
歸來者談、最近の市況

【奉天】最近開魯方面より歸來した人々について調査した所によると大要次の如き市況を察知し得る

一、一般市況として十年四月以前の開魯は匪賊の橫行に委したゝめ全く死の都であつたが五、六月以降日本軍の熱河討伐後稍々平穩になつたため避難民は續々として入城し市面頓に活況を呈して來た、更に開魯通遼間の交通開け自動車及大車の往復可能に加へて蒙古人の入城又可成りの數に達し工業用住宅用家屋の修繕相當の數に上つた、該市の背後地は林西、林東、魯北方面であつて之等地方よりは毛皮、馬皮、緬羊皮、山羊皮、駱駝皮緬羊毛、山羊毛、狗皮、狐皮を搬入して來るそして開魯よりは綿布、古着類、靴下、帶、陶器類、敷物、麻類、家具類、金物類、茶、煙草、砂糖、酒、靴等一般雜貨を購入して居る

一、一般農況として阿片の收穫期六月中旬に降雨甚だしかつた爲平年の五〇％に充たない狀態である、高粱、粟、玉蜀黍、小麥蕎麥、大豆、胡麻等は豫想に於ては近年中の豐作とされて居たが收穫期九月下旬に亦降雨甚大だつた爲遼河の氾濫を來し平年の五〇％に達せず他縣の豐作に比し種々の公課金の徵收困難を來すべき狀況にある

一、一般治安については日本軍蒙古軍並に自衞團を以て協力討匪に當り大なる危險は感じないが未だ剿滅の域には達せず依然北來生の一團二百餘騎は縣城東北六〇支里なる中正堡陶官堡方面を掠奪しつゝ縣內を逃走しつゝある

一、通信に關しては通遼との間に電信電話の外軍には無電があるが一般の用には供せられず又開魯よりの電信は綏東、北票、赤峰を經て林西に連絡する更に最近は多倫への連絡も可能である

一、衞生に關してはペストの發生はまだ聞かないが天然痘、チフス等の流行病が發生して居る

衞生思想普及に 醫大の街頭進出
十一日新京で講演會

【奉天】滿洲醫大では本年最初の試みとして國都新京に於て衞生思想普及のため稻葉學長を始め稻田久保田、三浦の三博士が新京に赴き學術講演會を來る十一日午後六時から新京高女講堂に於て開催することになつたが入場無料で多數來聽を歡迎する由、その演題左の如し

一、開會の辭（稻葉學長）二、滿洲の地方病殊に寄生虫病（稻田博士）三、阿片の話（久保田博士）四、我國民の滿蒙移民と風土適合問題（三浦博士）

巡査採用試驗

【奉天】今回除隊する在奉各部隊の滿期兵に對し九日午前九時から奉天署樓上において關東廳巡査採用試驗を施行すると

流轉女給の 身許を嚴重調査
奉天署新取締に着手

【奉天】奉天署管內におけるカフエーは滿洲事變後各所に現れ現在五十軒の多きに達してゐるがこゝに働いてゐる女給は約五百名に達し此等女給群中には浮草の如く澁その他のカフエーを轉々し借金を殘しては煙の如く奉天から姿を消すもの又身許も判らず寄り集まるカフエー雀を相手に媚を賣るもの等カフエーの亂立と共にかうした不良分子が增加して來たので奉天署ではこれ等不良女給を一掃するため女給屆出をなさしめ嚴重取締を行つてゐるが更にその徹底を期するため奉天で働いてゐる女給全部に對し前住所と現籍地に照會しその身許を嚴重調査してゐる、これがため金が目的に渡り鳥のやうに流轉する所謂インチキ女給も自然一掃される譯である

遼源縣商務會

【奉天】十月二十九日午後二時遼源縣商務會は馬副會長司會の下に秋期例會を開催會員五十餘名參集左の如き決議をなした

一、商務會發行流通券回收の件　私發行流通券は回收辦法に基き稅捐局財務局と提携回收に努力する

一、行政費に關する件　每月自衞費三百八十三元、消防費二百二十元、淸潔費百五十元、街燈料三百二十元支出する事を可決

一、遼源電燈料値下運動に關する件　遼源電燈料は高價で縣公署方面でも値下運動をなして居るが商務會においても最近中に會議を開きて再び協議する事に決定、此の決議によつて商務會は三十一日該地電燈廠に對し電燈料値下方を交涉開始した

一、停車場より大道路修築費に關する件　商務會負擔の分六百元は警備軍兵舍修理立替料中より支出すること

一、商務會經費支出に關する件　商務會每月經費は各商家の營業稅率により負擔する事

野本謙治氏

【奉天】ヤマトホテル滯在中の羅津築港事務所庶務課長野本謙治氏は七日のはとで大連に向つたが語る

築港も基礎工事のために骨が折れるらしいが著るしく進捗した建設事務所には現在約三百五十餘名の滿鐵社員が着任し獨身宿舍も略々落成したが所長の社宅は來年六月頃完成する、兎に角羅津は築港完成してからである

滿洲美術展覽會 奉天にても開催
十一日から十五日まで

【奉天】日滿人により組織された美術同人院の滿洲美術展覽會は鄭國務總理を名譽院長、羅振玉氏を院長に推戴し過般新京において華々しく開催されたが搬入千數點に達し嚴選の結果東洋畫百二十四點洋畫二十二點、書道部五十四、計二百點となり新京では東洋畫四點を執政より買あげに浴し奉天では來る十一日より十五日まで五日間城內元滿鐵公所跡にて奉天省公署教育廳、奉天市政公署の共同主催のもとに開催されることになつた

警察指導官 各省に配置

【奉天】新興滿洲國の警察行政に重大なる役割を演ずる朝鮮總督府關東廳現職警察官より採用された第一期警察行政指導官は新京における一ケ月の警察行政の講習を終へ六日それ〴〵各省に配置された奉天省の配屬人員は警佐六名、巡官八十二名計八十八名で七日奉天に着任午前十時より警務廳講堂において三谷廳長の訓示を受け午後省公署に於て省長代理金井總務廳長の奉天省の情況に關する講話があつたが警察指導官は八日より五日間奉天省の事情及び警察現況指示注意事項の補習を終り十二、三日ごろそれぞれ任地に赴任する筈であるが配置後は滿洲國の警察行政に一大刷新を加へると共に情報方面にも大いに改善されるので各方面より期待されてゐる

奉天附屬地外 居住邦人增加

【奉天】附屬地外在住邦人は最近著るしく增加しつゝあるので日滿貿易も漸次進展して居る、今商埠地城內居住邦人の業態職業別を概記すれば

農耕畜產業四二、採礦冶金業六皮革製造業一四、土木建築四一大工左官四五、纖維工業七二、金屬工業一六、工場勞働者三八四、物品販賣業一九八、會社事務員四二二、旅館料理店五四、車馬自動車運輸業四一、飲食店二二一、官公吏八一、藝酌婦二六〇、教育一三、醫務三四、女六三、法務一〇、自由業二一四、其他就業者五一一、無職一九四女三三、合計男二、三四五、女四四二

にして此の他に多數の家族が在住して居る

トロで死亡

【鞍山】昭和製鋼所選鑛工場擴張工事吉川組現場苦力趙春瑞（[illegible]）は六日午後三時頃トロにて土砂運搬中脫線のため線路上に投げ出されたところを後方より疾走し來つたトロに腹部を轢かれ人事不省の儘滿鐵病院に收容されたが重傷にて間もなく絕命した

二人の愛兒を抱へて 捨てられた妻の願ひ
夫は女給と駈け落ち

【奉天】京城本町に居住する日野宗一は（[illegible]）妻しづ子との間に二人の子供がありながら宗一は同地のカフエー女給しげ子（[illegible]）と馴染を重ね家をそこにして每夜の如くカフエーで逢瀨を樂しんで居たが妻女其他の知人に感づかれ、ゐても立つても居られず宗一は女給と駈落をなし奉天方面に向つた形跡がありしげ子は心當りを搜査したが杳として判明せず遂に思ひ餘つて

妾には二人の子供があります、夫がゐないと三人とも餓死してしまひます、どうぞ命を助けると思つて夫を搜して歸して下さい

と淚の搜査願を送つて來たので目下心當りを搜査中である

ソ聯商業營口 代表部閉鎖

【奉天】ソウエート商業代表部は滿洲の經濟進出に重大使命をもつてゐたが今回その方針の一部を變更した、即ち營口代表部を閉鎖し單に出張員を置くに止め業務一切は奉天において掌握することになり從來奉天において取引中の毛皮絨毯類は新京或はハルピンにて取扱ひ營口支部にて取扱つてゐた木材石油類は今後奉天にて取引することになつた

荷物の煙管乘り？
荷受人と打ち合せて置いて 列車に無料の托送

【奉天】三日午後三時發急行三等洗面所に荷送人奉天江島町十三太丸洋服店內倉坂大輔が荷受人新京寶町一井上洋服店に宛て、羊毛皮三十枚を栗色の蒲團袋につゝみ運賃を免る目的で奉天より積込んで居たのを同列車專務車掌が發見新京驛着の上運賃一圓九十五錢過重金一圓九十五錢保管料二十錢を徵收し六日引渡した

この種の輸送は荷送人と荷受人その間に緊密な打合せ即ち荷送人は客を裝つて乘込み荷物だけを殘して下車その荷物の所在位置を詳細に荷受人に通知して主なき荷物を如何にも荷主がある如く係員の眼をくらまし無運賃で荷物を送り屆けやうとしたもので今回はたま〳〵發見されたものであるがかうした不正輸送をなす者は非常に多い見込で係員は警察に告發するといきまいて居るが一方改札制の採用は此うした不正を防ぐ一方法となるだらうと其の實施をも急いで居る

日滿少年少女の 親善團體を組織
各高官、贊助會を設く

【奉天】童心を通じての日滿親善を强化し第二國民をして滿洲國をより以上認識ぜしむる見地から駐日公使丁士源氏はわが外務省と圖り東京に日滿少年少女協會を設立すべく目下着々準備を進めてゐるが、丁公使より滿洲國側にその贊助を求めて來たので中央並に各省では省長を始め各廳長、參事官、簡任以上では贊助會を設け極力これを援助することになつた

賊にもみる義俠心
妻子あることを知つて同情し つひに頭目を說き伏せて脫出 救はれた中尾氏語る

【ハルピン特電六日發】去る八月八日ハルピン對岸松浦に於て匪賊東來一味に拉致された長谷川組中尾德西郎（[illegible]）氏は賊が身代金八萬圓を要求し交涉不調の爲め救出されずにゐたが十一月六日賊の乾兒李東外二三が連れて馬川溝守備隊に引渡された、同人は寒さも烈しいため足は凍傷で步けないほどの悲慘な狀態だが救出までの事情につき語る

每日虐待と脅迫とで身心共疲れ切つたが乾兒の一人李が監禁中懇意となり自分に妻や子のあることを知つて非常に同情し頭目や他の一、二の反對を押切り自分が命に代へても身代金二千圓を取つて來るから自分に委せろと說き伏せて自分をつれて來てくれたもので賊中にもかやうな義俠心の厚いものがゐるのを知つて嬉しかつた

土肥原少將着任

【奉天】滿洲事變勃發以來多大の貢獻をなし一旦內地第五師團の旅團長として轉じた土肥原少將は今度奉天特務機關長として來奉、七日午後一時二十八分官民多數の出迎裡に着任した（寫眞は同少將）

鐵路總局 功勞者調査

【奉天】滿鐵では事變以來昭和七年九月末迄の功勞者を關東軍に報告表彰を得たが今度新に鐵路總局も出來た事とて第一回以後の功勞者調査に當りその事務打合せの爲め總局及び滿鐵の各機關の關係者約五十名出席、六日より七日午前中に亘り關東軍交通班長丹羽少佐出席の下に瀋陽分館で功績調査事務打合せ會を開いた

同會によつて該事務に不馴れな總局もいよ〳〵よき指導を得て功績者に均分の表彰する樣萬全を期する事となつた

州外都市對抗 ラグビー戰

【奉天】滿洲ラグビー協會州外支部主催州外都市對抗ラグビー大會は來る十二日滿洲醫大グラウンドに於て開催されるが參加チーム多數ある見込みで本年掉尾を飾る大會として期待されてゐる

大學ラグビー 滿洲豫選決勝

【奉天】全國大學高專門學校ラグビー大會滿洲豫選滿洲醫大對旅順工大の決勝戰は來る十二日の日曜日旅順工大グラウンドにおいて開催される同決勝戰の優勝チームは堂々內地で開催の檜舞臺に出場することゝなつてゐるが醫大側は必勝を期し猛練習を續行してゐる、なほ醫大軍は十一日夜行で赴旅の筈である

ヒス女の 自殺未遂

【奉天】市內春日町五番地滿協商會池田五郎妻うめ（[illegible]）が毒藥を嚥下し苦悶中を七日午前十一時頃家人が發見して大騷ぎとなり直に永井醫院に擔ぎこみ應急手當の結果生命は取止める事が出來た、原因について聞く處によればヒステリーの結果らしく七日午前四時カルモチンを嚥下したものであると

夜警毆打さる

【奉天】市內彌生町四十番地田岡建築現場夜警馬四（[illegible]）は七日午前八時頃夜警小屋から出た途端突然一滿人のためスコップで頭部を毆打され人事不省に陷つたので直に回生病院にかつぎこみ應急手當を加へた結果三週間で全治の見込である、原因は馬が日頃同僚のものからの受けがよくなかつたので或は怨恨關係ではないかと目下奉天署で取調中である

泊り込んで 强奪逃走

【奉天】原籍朝鮮京畿道生れ住所不定宮乃金千基（[illegible]）は三日午後三時頃城內小東關朝鮮人金德熙方に應順より徒步にて來訪し一夜の宿を乞ひ同夜金方に宿泊し四日午前一時頃金千基は手斧を以て主人の頭部及顏面に負傷せしめて十一圓五十錢を强奪逃走したが間もなく兵工廠憲兵分隊に逮捕され一應取調べの上强盜傷害罪として七日總領事館に一件書類と共に押送された

宣誓式擧行
滿洲正義團 鐵嶺支部で

【鐵嶺】大滿洲國正義團鐵嶺支部の宣誓式は七日午後二時より當地淸樂茶園に於て酒井盟主臨席の下に嚴肅に擧行されたが、階下は團員八百餘名を以て埋まり階上は來賓や團員家族で充滿し雷理事の正義團主義綱領の說明あり、奏樂の音に迎へられて酒井盟主臨席し嚴かなる宣誓文の朗讀、鐵嶺支部管內六個支部長に對する辭令交附、警告式あり、二時半終了したが、鐵嶺管內の團員は現在八百餘名なるも入團宣誓者日每に多く各地に分會を設立するの傾向にある

旅順放送

▲ストーブ季節となつたので各家庭の火元は勿論火災豫防の見地から旅順警察署では近かく全市に亘り一齊に火元調査、煙突の取締を行ふ豫定である、殊に本年は煙突取締規則が出來てゐる關係上若干の缺陷と雖も嚴重なる改善を督勵し又屋上に積載しある燃え易き材料の存在は容赦なく取拂を命ずる方針であると

▲五日から吹き荒れた北風の爲め雙島灣內に避難中の山東武定府海豐縣郭令義（三二）は六十石積戎克船に砂糖百五十斤を積載同日午後三時頃大連を出帆天津に向ふ途中荒天の爲め雙島灣內に避難中錨綱を切斷され船底を破損浸水した爲め積載物は海中へ投棄危く難を免れた

▲尙又當夜同島沖合航行中の戎克船約十五隻はいづれも砂糖人造絹染料を積載してゐたが烈風のため遭難し辛くも灣內へ避難死傷はなかつた

▲鯖江町四五ノ一生田光義氏方では二日長女光代さんが出生

▲月見町三ノ一八岩崎逸記氏方では二十一日次男亮君が同上

▲療病院に入院中であつた騎兵第〇〇聯隊第一中隊上等兵小林喜一氏は六日死亡した

各地片々

◇營口　營口料理屋組合にては七日を藝酌婦一同に公休を與ふることゝし晝は自由行動を許し夜は營口座開演の市川海老十郎一座の歌舞伎劇を觀覽せしめ可憐なる彼女達に一同の慰安を與へた

◇營口　營口地方事務所主催にて八日午後七時より滿鐵社員俱樂部に於て江頭法弦師の琵琶演奏會を催した

◇鞍山　六日午後九時頃市內北二條通派出所裏道路で野菜行商の一滿人が卒倒泡を吹いて苦悶し居るを通行人が發見、派出所に屆けたので直に加療救助したが右は郊外八卦溝居住の癲癇患者と判明家族を呼び出し引渡した

◇鐵嶺　過般滿洲國に入り講習を終了した元本署中村警部補及中村巡査は各縣配置發表の結果鐵嶺縣城在勤となり安本警部補は鄭家屯に在勤すると

◇新臺子　四日午後七時頃派出所前特產商新泰東方より失火した損害輕微の見込みなるも原因取調中

◇鐵嶺　居留地本願寺では八日から十日までに宗祖報恩講を嚴修し每日午後一時と七時の二回づゝ說教講話あり奉天本願寺藤永氏來鐵すと

◇鐵嶺　官署や兵事係に提出する屆書類中今尙改正前の附屬地町名を使用する者あり整理困難につき今後は新町名番地を記載されたしと

◇鐵嶺　守備隊幹部に對する慰勞宴は去る五日夜萬安に於て主客六十餘名に達し盛大に催されたが鐵嶺時局後援會では守備隊下士官以下の全員にも慰問の意を表すべく七日正午山田後援會以下紀藤、西尾理事及び豫てより慰問の計畫を進めてゐた滿鐵社員會鐵嶺聯合會も此の機において慰問の意を表さんと小野會長以下河端、岡山、中村評議員等も同行し守備隊將校集會所において親しく慰問の辭を述べ下士官以下に對し金一封づゝの酒肴料を贈つた

安東の市民負擔額 新義州の三分の一
滿鐵の改組問題と附屬地行政の聯關

【安東】滿鐵組織改造が實現すれば附屬地行政は何處に行く？これが沿線居住者の最大の關心事であるが單に市民の負擔といふ觀點からいへば附屬地が何處に行つたところで大滿鐵に抱かれ哺まれてゐる現在よりよくならうとは一寸想像されない、總督府治下の新義州府と滿鐵行政下の安東附屬地とは鴨綠江の川一筋を挾んで指呼の間に對立してゐるためあらゆる方面によく比較對照されてゐるが、今安義兩市の市民一戸當り負擔額を比較すると新義州は安東の三倍強といふ數字を示してゐる、尤も新義州側の數字は昭和六年度分で安東の今年度分と比較するのは妥當でないが、新義州の本年度各賦稅は六年度と左程變化ないものとされてゐるので比較する、なほ數字は兩市とも內地人の一戸當り負擔額である

安東　二三圓三一〇
新義州　七八、四七三
內譯
國稅　一一、三八二
地方稅　一一、三五〇
府稅　五五、八四一

右の如く安東市民の負擔額は新義州の三分の一以下で、安東の二十三圓三十一錢は新義州の府稅の內學校組合費の二十二圓三十一錢五厘より僅かに一圓多いに過ぎないこの數字は單に表面の比較に過ぎず

一、安東の一戸當り平均は法人を引ッ括めての數字であるが安東は新義州に比して大きな法人が多く市民全負擔額の三割強は法人が負擔してゐるのであるから普通市民の一戸當り負擔は更に輕いものになる

二、教育、道路、公園、衞生、消防等あらゆる都市設備はすべて安東が新義州より高級で且つ完備してゐること等を考慮すると安東市民の負擔は益々輕いものになる

川一筋でこれだけ違ふのだから新義州の商人で本據を安東に移す者が可なりあるらしい、大津地方委員議長なども

安東市民が近隣の人より公費が多い少いといふのなら兎に角他の土地と比べて多いとか少いとか言へる義理ではあるまい

といつてゐる、斯く最小の負擔で完備した文化都市生活に惠まれてゐる附屬地市民は若し附屬地が他に移管さるゝ場合は負擔は相當增大するであらうことだけは覺悟しなければなるまいといはれてゐる

鞍山の公會堂次第に具體化
將來を考へ大規模に

【鞍山】當地公會堂の建設問題は既報の如く過般來有力識者の間に寄々眞劍な考慮がめぐらされつゝあり、既に地方事務所に於ても當初よりの計畫通りこれを中央廣場正面に建設する豫定で目下建築設計等具體案をたてつゝあり一方實業協會等に於てもこれを援助して實現を期し目下折角新設公會堂の規模、工費、維持方法等具體的問題につき鋭意考究中である、而して建設敷地は明春着工豫定の新築地方事務所と相對して中央廣場の東側乃至西側、規模は將來を見越して相當宏大な建物をといふわけであり、從つて建設費も先づ少くとも十四、五萬圓は要するものと見込まれてゐるが、いよいよ建設することに決定すれば今まで不自由なかつた當地だけ滿鐵、製鋼所は素より其他市內各法人乃至市民の贊助を得るのも容易なるべく一般に實現促進を切望されてゐる

秋晴れ

川邊に沿うて秋陽を浴びつゝ洗濯してゐる滿人の女房や娘達、秋夜、砧の音如何に……と聯想されます（鳳城公園横の二道河にて）

精神作興週間 鐵嶺の行事

【鐵嶺】來る十日は畏くも震災直後國民精神作興のため大正天皇より詔書を賜りたる記念日につき鐵嶺教化聯盟では當日の記念式擧行に關し加盟各團體代表者を召集し七日午後二時より地方事務所樓上において協議の結果左の如く決定した

十日午前九時　小學校庭に集合

國旗掲揚式（國歌齊唱、敬禮）詔書捧讀式（山田所長捧讀）多摩陵遙拜式（全員敬禮）式辭（小野博士、紀繭會頭）萬歲三唱（長山署長發聲）

而して右記念式は約一時間を以て終了する豫定につき終了後參列者全員揃つて驛に到り當日出發の守備隊を見送る筈につき各團體員は勿論一般多數の參列を希望する

奉天の催し

【奉天】十日國民精神作興の大詔渙發滿十周年記念日當日奉天では長き大詔の御精神に則り意義ある催しを行ふため奉天地方事務所が主體となり準備中であるが大體左の如く決定した

一、國旗掲揚式　午前八時奉天神社に於て擧行、詔書捧讀、國民歌合唱

二、國民精神作興講演會　午後七時より春日小學校講堂に於て地方事務所、奉天教化聯合會、在鄉軍人會、青年同志會、聯合婦人會共同主催で開催

防空兵器獻納の協議會開く
岡本領事を會長とし

【安東】既報、安東日滿官民の防空協議會は六日午後二時から領事館で開催

岡本領事、金谷憲兵分隊長、益森守備隊長、關屋地方事務所長、八木採木公司理事長、瀨之口、中川商議正副會頭、中島地委副議長、大野鄉軍分會長、山下、來栖、吉岡各青年同志會幹事、伊藤木材商組合理事長、文朝鮮人會長、孫縣長、鎌田參事官、白警察廳長、黃內務局長、孫商務會長その他出席

岡本領事より挨拶を述べた後山下五郎氏を座長に推し、日滿市民の愛市愛國の至誠より出でた防空團體組織、兵器獻納に關する協議を進め關屋所長は市民の防空思想養成の見地から早急實現を力說し種々討議の結果

一、日滿合作して「安東防空協會」を組織すること

二、協會々長に岡本領事を副會長に關屋地方事務所長と孫縣長を顧問に金谷憲兵分隊長と益森守備隊長を推す

三、委員、幹事の推薦、獻納兵器資金募集方法等一切の細目事項は正副會長に一任すること

等を申合せたので近日中正副會長の間に必要の事項を協議決定し協會の成立を急ぐことになつた

匪首逮捕 鳳城縣警察が

【鳳凰城】高麗門西南方約二十支里の楊木溝附近に匪賊集結中との情報に依り鳳城縣警察隊第三中隊長赫福德は部下八十六名を率ゐ四日午後十一時之が討伐のため出動二隊に分れて楊木溝に進み五日午前三時頃同地に於て鐵雷及李振東の合流匪約五十を發見、之を包圍攻擊し交戰約一時間の後擊退したが匪首鐵雷は討伐隊の急追擊に遁路を失ひ、楊木溝駐家西溝の自宅に逃走したところ討伐隊は更にこれを包圍、遂に妻林氏（二三）と共に逮捕し槍一本を鹵獲同日夕刻意氣揚々當地に引揚げた

匪首鐵雷は本名劉振家、當年二十七歳、事變以來高麗門を中心に暴威を逞しうし昨年十一月二十三日及本年四月五日の二回に亘り高麗門を襲擊しその勢ひ全く侮り難きものもあつたが遂に歷運盡きて今回逮捕さるゝに至つたが勇敢に奮戰して見事彼を逮捕した赫中隊長以下の殊勳は一般から激賞されてゐる

凱旋勇士の歡迎
鞍山で着々準備

【鞍山】兩三日中凱旋の豫定である山城鎭駐屯當地〇〇隊將兵勇士の歡迎催しについては逐次の地方委員會にて大綱の決定を見たので時局委員會では七日午前九時より泉所長、泉署長外歡迎各係長參集の上具體案を決定したが、當日は凱旋將兵一同〇〇名全部を午前午後の二回に分割招待盛大なる歡迎宴を張るとゝもに特に將兵慰安餘興として柳町料亭一樂兩亭美妓連の手踊、オリオンダンスホールの舞踊手連の華やかなるステーヂダンス及び昭和製鋼所ブラスバンドの軍歌吹奏等が演ぜられる外在鞍各カフエー女給連總出のサービスもあり、出動半歳久方振りになつかしの鞍山に歸營した勇士達を精一杯に慰め祝ふ筈であると

新署長着營

【營口】錦州警察署長より營口警察署長に更任の松木警視は七日午後一時二十分着列車にて來任驛には署員その他多數出迎へた

警務指導官卅二名來吉

【吉林】吉林省に配屬された滿洲國入り警務指導官八十四名は六日午前十一時三十分着列車にて着吉したが、直に各關係機關歷訪の上警務廳に出頭し林警務科長、兒島顧問に會見一場の訓辭を受けた今回配置された八十四名の警務指導官は吉林省三十二縣に配屬され軍の討匪工作に相次いで警察機關の改善知識の向上延いては人民の安居樂業を保護し滿洲國の樂しき建設に向つて重任遂行の第一歩を進めるわけである

水道促進陳情
當局も同感

【普蘭店】普蘭店市街は地方產業其他の發展に伴ひ累年人口の增加をなしつゝあり、最近の調査によれば接續地を加へ二、三六〇戸八千餘名の居住者を有するにもかゝはらず適當の飲料水なく、水質不良なる井水を用ひ日常を辛うじて支へ居る狀態にして滿鐵にては給水塔を有するにも拘らず、硬水のため數年來機關車給水を中止せる事實あり、斯くの如きは鮫子河といふ立派なる水源池を近くに有する當地として住民の堪へ忍ぶ能はざる處となし、曩に日滿居住者聯合書面を以て關東廳に對し歎願をなしたるも之が促進運動のため日本人側代表居住民會長新谷健二、滿日支局長小出英吉、滿人側代表普蘭店會長李盛新、商務會長王心純の四氏は六日午前林田民政署長の東道にて關東廳に出頭し日下內務局長、清水土木課長等に面會し種々陳情をなす處あつたが當局にても既に其緊要性は知悉せる事にて、水の權威者清水課長においては是又詳細なる調査を完了の上十三萬五千餘圓を計上し設計濟であるが、國費を以ては支辨し得ざる事情にあるので明年度地方費にて之が實現可能の模樣である

軍警慰問に素人演藝 白百合會員が

【鷄冠山】あらゆる艱難と戰ひつゝ王道政治の阻害者たる横暴なる匪賊の擊滅に身命を賭して三角地帶の山野を馳驅し、干戈を交ゆる事數十度武勳赫々良く我が鷄冠山高石部隊の威力を發揚して彼等をして二度と立ち能はざらしめた我が軍警の勞を慰すべく、銃後の勇士當地白百合會員は五日午後五時より社員俱樂部に於て演藝の夕を催し數日來晝夜兼行の大馬力で練習した奧さん御孃さん方の十八番續出し、藝酔婦の應援出演や守備隊員の芝居等あり演藝酣なる頃高石守備隊長、神生警部補の銃後に於ける白百合會員の活躍の兵士、警官に及ぼす事の大なるを說き此の催しに對する感謝の辭があつたなほ守備隊員に細菓の接待あつていやが上にも演藝氣分を滿喫し夜十二時盛況裡に終了した、素人演藝プログラム次の如し別紙プログラム

一、修養團ダンス白百合會員、二、手踊御所の庭郡山夫人、三、筑前琵琶中村大尉鈴木孃、四、合奏春雨濱田外三名、五、ハモニカ波止場の娘、カルメン橋本氏、六、手踊木曾節磯節白百合會員、七、筑前琵琶菊龍さん、八、出鱈目豆腐屋受難の卷佐藤氏、九、合奏黑髮琴谷口夫人、同佐藤夫人、一〇、手踊喜撰菊水一同、一一、芝居大晦日の晩守備隊員、一二、安來節其他白百合會員、一三、合奏橋本氏瓦吹氏、一四、筑前琵琶那須與市藤山夫人、一五、舞踊若人小山外二名、一六、漫談井上氏、一七、合奏降りて行く深川佐藤外三名、一八、手踊米山甚句白百合會員、一九、筑前琵琶星道普及藤山、鈴木、二〇、手踊サノサ節白百合會員、二一、芝居野狐三次守備隊員

全國圖書館週間講演會

【營口】營口圖書館は一日より七日まで全國圖書館週間として圖書の帶出を自由とせし事は既報の通りなるが最終の七日午後七時より同館樓上において講演會を催し滿洲新報小川義稚氏の讀書感言と題し又水產學校岩澤巖氏はアジアに於ける復古運動と大同主義と題して講演岩澤氏は福島縣の人大東文化學院出身の後才なり

鞍山輸組業績

【鞍山】輸入組合十月中の業績を見るに貸付百件十萬三千六百八圓同回收百三件十萬四千八百十圓にして月末現在貸付高百九十九件、二十萬九千百六十四圓となつてゐるが、前月に較べ貸付口數は同數なるも金額は二萬二千餘圓の膨脹を見せ回收に於ては反對に口數五十口金額約五千圓を減じたが、月末現在では口數三件約一千圓の減を示し順調な業績を示した

英米煙草の營口進出

【營口】在奉天英米煙草會社は遼陽工場建設の計畫を樹て着々その準備を進めつゝあるが今回營口實來街行當り土墻外に先年煙草工場設置の筈にて建てられたる家屋全部その儘を應用して印刷工場を開始すべしとて某英人來英頻に準備を進め居れり

社交團體が近く誕生

【吉林】事變前迄は深刻な不況に見舞はれて四苦八苦の窮狀を續けてゐた吉林の桃色界も、事變が生んだ戰景氣に破天荒の好況を迎へ吉林人をして最近の桃色界は吉林の桃色界か桃色界の吉林かとさへ噂されたが、何れにせよ知名士の亂行は日に增して一時は不良老人組などとの名目がついた一隊も橫行し市內の風紀は亂れ勝となつて居たが、最近に至つて漸く反省の日を迎へたものゝ如く滿鐵事務所の野中所長、森岡領事、三浦稅務廳長、奧特務機關長等の知名士は相互間の親睦並に知識の向上を計り來吉知名士との意見交換その他諸種の反省資料を綜緝し二十餘名の一團を以て吉林社交團體なるものを組織するに決し經費の最少減度を以てこれを維持せんと目下各方面に交渉中で、さしも亂れたる吉林花柳界にも肅正の日が近づいて一般人に多大の興味が持たれて居る

發狂教員

【チチハル】チチハル市北區關家胡同二番地居住省立男子師範學校教員胡容光（三七）君は約一ケ月半前より精神に異狀を來し連日女子師範學校を訪問し教材、器具等を破壞しつゝあつたが、教職員が知人のためその儘放任してゐたところ最近その度を加へ狂狀激化の兆あるため、遂に警察廳に報告、同廳にて保護中である

高木家慶事

【遼陽】遼陽特產物貿易組合長高木儀三郎氏令息修治君は此の程國枝氏夫妻の媒妁で大橋莊之助氏四女房子孃と婚約整ひ去月十三日高木氏の鄉里大垣市大神宮神前に於て結婚の式を擧げ數日前新郎新婦相携へて歸遼せるを以て八日午後六時から友人知己取引先七十餘名を玉家に招待披露宴を催し引續き城內西海興において于公館城內糧棧組合長等を始め城內側、沿線取引先約二百五十名を數日に亘り招待披露宴を催すと

遼陽片々

▲遼陽關東軍獸醫部長は七日午後二時二十九分着列車で北方から來遼軍犬育成所を視察の上同日午後四時四十二分發列車で北行▲遼陽軍用犬協會支部設立に付ては此程來地事の本橋庶務係長が各方面に入會方努力中であつたが九日午後一時から警察署樓上で支部設立に關する協議會開催の旨發起人へ通知があつたと▲第十二回軍民懇談會が十日新京で開催に付遼陽から渡邊地方委員議長が出席すと▲滿洲紡績會社では廿五日午後三時から同社で第廿一回定時株主總會を開き八年度下半期の決算報告、利益金處分、取締役、監査役各一名の補缺選擧其の他の件を附議すと

故津村氏の手當
民政署頭痛鉢卷
宙に迷ふ二千五百圓

去る十月關東廳から臺灣の學事視察を命ぜられ村上大連小崗子公學堂長と共に出發同月十三日午後十一時半頃連絡船瑞穗丸から投身自殺を遂げた旅順水師營公學堂教諭津村富民の身分決定に關し、所轄旅順民政署を始め關東廳にては之れが解決決定に就いて目下行惱みの狀態で、未だにその津村教諭に對する處分の發令が關報に掲げられず、關東廳始政以來初めての事故に出會し目下當局は出來る丈合法的の解決を爲すべく研究中である、卽ち津村教諭の投身自殺は確定的のもので當時船長の報告、搜索終了により常識的には問題はないが以上だけを以て直に死亡と認定し諸手續を執る事は不可能であつて、萬一失踪とすれば戶籍上抹消するには七年間を要し此間關東廳として如何に取扱ふか又休職手續としても甚だ不合理となり、第一に恩給の起算にも至大の關係を生じる譯で當局最も解決に迫られてゐる問題は二ケ月に亘る俸給並に恩給總計二千四百六十餘圓となる旅費、死亡手當、死亡賜金、退職金等が決定如何に依つてフイになる譯である

特別失踪手續にするか 飽田理事官談

なほ又關東廳秘書課飽田理事官は語る

この問題は目下研究中で未だ決定してゐませんが、民法の問題から云へば船長の投身證明書位では戶籍に死亡を記入する譯に行かぬ譯で、失踪届の手續か何かせんと死亡といふ事は確定せん事になつてゐる、失踪届けでも今回の樣に判然と投身したものと判つて居れば特別失踪手續と云つて普通七年の所を三年で戶籍の整理が出來る譯です、今度の津村教諭の問題も當方では未だ生存者として扱ひをして居るが後任補充問題其他で一時休職の形式をとるものと思はれる

關東廳の指令を待つて 民政署當局談

右につき直接官廳たる民政署當局者は語る

この問題については一寸研究を要しますので關東廳と折衝を重ねて居ります、何れにしても今迄ない事であり且又將來萬一の事があつた場合をも考へられますのですが、兎に角關東廳の指揮を待つてゐる譯です

痔疾の第三期……痔瘻はナゼ怖しい
家庭治療は不可能か

秋冷は身も心も引きしめて健康へと導いてくれます。然しこの快適な秋冷も痔疾をもつ者には禁物で、慄然嚴冬の危險を思はせる氣味惡い晩鐘の音に變りません殊に痔疾中で最も難治と言はれる痔瘻患者には惱みです。だが徒らに恐れる事なく寒さの募らぬ中最適な治療法を實行するのこそ、痔疾患者の取るべき唯一の正しい道であり賢明な策であります。

★痔瘻の怖しさ

痔瘻が怖しいと言ふ事は少くとも痔疾を病む者なら聞いてゐます然しこれを痛切に感ずるのは自分が體驗して初めて知る事です。

これは痔瘻の苦痛が想像を許さない程烈しいものだからでもありますが、一面非常に不幸な事と申さねばなりません。もし痔瘻がかゝる程苦しい危險なものと豫め知る事が出來たら、誰でも痔疾の初期―痔瘻に移行しない中に充分手當するに違ひないからです。

★成因と其症狀

一體肛門內部―直腸にはいつも糞便が溜つてゐて排泄する時急に收縮するため自然と粘膜面にヒダが出來てるものです。その柔かい粘膜は便通の度に受ける摩擦や刺戟のために非常に傷つき易い狀態にありますが、便秘、下痢、冷え不攝生、身體內部の疾患などのために炎症を起したりヒダの底部が糜爛したりします。

偶々さういふ所へ有毒菌が附着すれば忽ち化膿して粘膜から外皮を犯して終に肛門部にアナ(瘻孔)を作つてしまひます。

かうなると瘻孔からは絶えず膿汁や血膿が流れ出し、肛門附近はたゞれて痔瘻に附きものの肛門糜爛まで併發するのです。

★痔瘻は難治か

痔瘻と言へば一般に結核性と信じる傾きがあります。然し痔瘻だからと言つて結核性とばかりは限りません。勿論結核性桿菌が侵入すれば結核性痔瘻となりますが、黴毒の場合は黴毒性痔瘻、淋菌の場合は淋毒性痔瘻となるのです。

痔瘻が凡て結核性だと信じられる程になつたのは非常に難治であるから起つた事であります。

然し只今では嘗て東京朝日紙上で谷泉博士も語られました樣に、藥物療法で痔疾も治ると說かれる樣になつたのです。つまり痔疾は手術に依るか又は藥物療法によるかであります。

★家庭の療法は

勿論痔瘻は手術に依るのが最も效果的と言はれます。だが家庭療法としては藥物に依るほかありません。そして現在痔瘻患者に賞用されるものに小松痔退膏があります。

要するに肛門部の炎症は充血鬱血が內部原因ですから、これを除く事が第一です。

小松痔退膏が痔瘻に良いとされるのは血行を促して充血鬱血を消散させる作用をもつからです。同時に殺菌、鎭痛、止血、收斂等の作用をもちますので、瘻孔部又は硬いシコリの部分に貼布しますと濃汁は次第に吸收され、腫れも痛みも除々に取れて次第に輕快に赴くものです。

たゞ痔瘻は痔疾中で最も難症ですから油斷なく手當する事で、殊に痔疾に禁物の寒さも加はる折柄小松痔退膏の使用を一時も忘れぬ事が賢明な策であります。

又姉妹藥小松痔退座藥を肛門や瘻孔部に挿入し、小松痔快丸を內服して便通を整へるのは極めて合理的な好結果を得るものです。

小松痔退膏は痔瘻、肛門糜爛の他、痔核、裂痔、痒痔、痔出血、脫肛の適應藥で、價二十錢五十錢一圓二圓、本舖は東京日本橋區本町玉置合名會社で全國有名藥店デパート藥品部に販賣。

大多數の人が悩むのは疣痔
◇癒り易いが放任は危險◇

凡ての人が痔疾の素質をもつと言つた一專門醫があります。それ程痔疾は多いもので、中には自覺しないで既に痔疾に罹つてゐる者が決して少い數ではありません。

肛門博士も言はれた樣に、この痔核は非常に多いものです。肛門部が鬱血して腫脹し疣のやうな凸起が出來て次第に大きくなり、終ひに肛門の周圍全部が腫れ上がつてしまひます。

かうなると排便のたびに腫れた部分が脫出して仲々納まらず、無理をすると疣が破けて出血したり激痛を伴つたりして、終には步く事さへ出來なくなります。つまり痔核から脫肛に移つたものです。

痔核 は痔疾の初期と言はれる位で、初期の輕い中に手當すれば簡單に癒つてしまひます。しかし時期を失ふと脫肛となつて步く事もできず、咳をしても脫出して激痛を覺えたり、有毒菌が附着すると痔瘻の樣な難症に移行するなど、輕いからと言つて決して油斷のできるものではありません。

早期 の手當といふ事は特に痔疾の場合に必要です。痛い、痒いと思つた時、例へば小松痔退座藥の樣な定評ある適藥でスグ手當すれば脫肛や痔瘻の樣な大事にならずに濟むものです。

ことに痔疾患者に一番禁物な寒さが來ます。今の中から、殺菌、鎭痛、止血作用を有つ小松痔退座藥を挿入して充分手當しておくのこそ、痔疾患者の取るべき道であり、又最も合理的な治療方法です。

小松痔退座藥は痔核の他裂痔・痒痔・痔出血・脫肛・痔瘻の治療藥として推賞されるもので、價二十錢・五十錢・一圓・二圓

秋と かうした人々は なつてつい注意しないで地面やコンクリートに坐つてゐたり、冷えたりするため突然肛門部に痛みや痒みを感ずる時があります。

然した程の事もないので忘れてゐると冬になつて突然激痛を覺えたり肛門部が腫れて疣が出來たりして驚くやうになります。既に痔疾になつたもので、肛門部が痛い痒いと感じた時は腫れや疣が出來たのは立派な痔疾―痔核になつた證據です。

痔疾 患者の八割迄は痔核だと

快よい便通は痔疾治療の一步
便秘は痔疾地獄の基

最近★ 健康美といふ事が言はれる樣になつて、皆樣が便通に大變注意する樣になりました。しかし中には一週間も便通がなくても「極めて朗かだ」なぞと言つてる方もあります。

かういふ常習便秘者は血色が惡かつたり何となく元氣がないのが普通です。

單に★ その程度なら仕合せですが、終ひには便通のたび非常に苦痛を伴つて便所へ行くのを極度に怖れる樣になつて、一層烈しい便秘を招くものです。

常習便秘者の悲しさは排便に長い時間を必要としますし當然無理を重ねます。突然肛門部に飛び上る程の痛みを覺えたり烈しい出血があつたりするのは皆こんな時です。つまり既に痔疾に罹つてゐたのが便秘のため增惡して突然激痛や出血を伴つたのです。

便秘★ はこの樣に凡ての痔疾を惡化させるものです。ことに裂痔、痔出血などは黴菌が侵入し易い狀態になるので、もし化膿菌が侵入したら危險な痔瘻になる怖れが充分あるのです。

便秘が癒つたら痔疾は癒つたも同じだなどと言はれてゐます。痔疾患者にはそれ程便秘は禁物です。ですから少くとも一日一回の便通はあつて欲しいものです。それには當然藥物に依る他ありませんが只今の所小松痔快丸が最も賞用されてゐます。

之は★ 小松痔快丸が痔疾患者のため特に作られたもので、この便秘を快適に解消する上、同時に體內の痔毒をも排下する作用をもつからで、小松痔退膏、小松痔退座藥と一緒に用ひれば、非常に好結果が得られるからです。殊に難症の痔瘻の場合は、特に推賞されてをります。

小松痔快丸は裂痔・痒痔・痔出血・脫肛・痔瘻の便通に最適な內服藥で、價二十錢・五十錢・一圓・二圓

兒玉博士は不起訴 中園と勝美は起訴

下田官長ら重要協議の結果 きのふ司法處分決定

情痴の世界に描き出された惨劇――元滿鐵衞生研究所病理科長兒玉誠(四〇)博士の聖德街自邸において演ぜられた青柳殺害事件は全國的興味のうちに大連檢察局高井檢察官かゝり晝夜兼行の取調が行はれてゐたが、主犯中園秀雄及び邪戀のヒロイン兒玉勝美夫人の拘留期間滿了の八日朝、高井檢察官は嶺前屯刑務支所に赴き邪戀の二人に就き最後的取調を行つて引揚げ午後二時三十分旅順から急遽來連した下田檢察官長及び池內主席檢察官と約二時間半に亘り檢察官長室において刑事處分問題につき重要協議を遂げた結果午後四時二十分に至り左の如き罪名の下に正式處分の決定が與へられ起訴の分に對しては地方法院の公判を請求された

起訴 中園秀雄(三五)
原籍 鹿兒島縣薩摩郡下甑村
現住所 大連市連鎖街吉野アパート
殺人、殺人豫備、傷害及び死體遺棄

起訴 兒玉勝美(二九)
原籍 長野縣南安曇郡豐科村
現住所 大連市聖德街一丁目一五〇番地
殺人豫備、證據湮滅、死體遺棄

不起訴 兒玉誠(四〇)
原籍 長野縣小縣郡和村八四八二番戶
現住所 大連市聖德街一丁目一五〇番地
證據湮滅、死體遺棄

不起訴 横山きみ(三六)
大連市惠比須町二百二十三、三上光藏方
死體遺棄幇助

右の處分決定後高井檢察官は保釋中の兒玉博士を呼び出し博士に對する不起訴處分は刑事政策の見地より起訴猶豫の恩典が含まれてゐることを申渡し中園、勝美兩名に對しては嶺前屯刑務支所宛に起訴狀を送達した

下田官長談

高井檢察官は處分決定後午後四時四十分新聞記者團を檢察局三階應接室に招致し下田檢察官長立會の下に處分決定の結果を非公式に發表したが、下田官長は右に就き語る

犯罪があれば必ず檢擧し起訴、不起訴を決定することは申すまでもないが檢擧したものを全部起訴するとは限らず、刑事政策の上から見て不起訴とするが適當なりと認めた場合は法の活用をすることに躊躇せぬ、兒玉博士の場合は諸般の事情を細密に檢討し熟慮をめぐらした結果、刑事政策上起訴せず、この際博士を生かしむることが適當であると思ひ不起訴處分にしたものである、勝美の保釋に就いては目下のところ考慮の餘地なく當分靜かな場所で反省の時間を與へる必要があると思ふ、本件の起訴、不起訴の決定は八日午後四時三十分頃決定し本日を以つて本件の搜査も打ち切つた譯である

離婚狀發送 既報の如く兒玉博士と勝美夫人の間には圓滿に離婚が成立し、離婚狀には勝美夫人自身の署名捺印も終つてゐたが、博士側の代理人となつてゐた大內辯護士は八日附を以て右離婚狀一部を長野縣小縣郡和村役場村長田中藤太郎氏へ郵送したこれによつて勝美夫人は名實共に藤森勝美に立ちかへることゝなつた

殺人魔の新事實

中園と勝美夫人が共謀して 三輪子の毒殺を企つ

・毒殺されんとした三輪子

檢察局の處分決定は本紙豫報の如く中園、勝美の兩名を起訴、兒玉博士に對しては刑事政策上恩典による起訴猶豫の不起訴處分が與へられた、而して中園に冠せられた罪名のうち殺人豫備及び傷害並びに勝美の罪名中殺人豫備が

冠せ られてゐる點は檢察局の取調べで恐るべき二人共謀の殺人驚的新事實が暴露したものである

即ち本年四月中園が歐洲航路から歸り、勝美夫人に對し結婚を迫つた時、夫人は中園の航海中かつて佐藤三輪子の照會で知つた青柳貢(二七)と越えてはならぬ關係に落ちてゐたことを悔い中園の前にこの事實を如何にして繕ふかにつき獨り煩悶を重ねた結果、遂に中園に對し「色魔青柳に强姦された」と虛僞の告白をしたのであつた、それ以來中園の青柳に對する

憎惡 は炎の如く燃え上り、果ては青柳を勝美に紹介した佐藤三輪子にまで伸びて行つた、本年五月ごろ中園は青柳と三輪子兩名の殺害を企て、勝美とも相談の結果、博士邸において毒殺を圖らんとしたが果さず遂に兩名撲殺を決意し、野球用バットを購入して自宅に用意し機會を窺つたが、これも遂に果し得なかつたといふ恐るべき事實が兩名の口から陳述されたものである、この行爲が殺人豫備罪に問はれたものである

更に中園の罪名中傷害の點は、本年六月ごろ中園が美濃町關某方に下宿中、當時姙娠七ケ月であつた勝美夫人と痴話喧嘩のうへ夫人の腹部を蹴つた、これが

原因 で流產したため檢察局では墮胎の意志なく腹部を蹴つて流產せしめた行爲を傷害罪で問うたものである、更に中園が青柳殺害後、青柳の懷中から三十錢餘の銀貨を奪つた點に關し一部に强盜罪の併合說を傳へられてゐたが檢察局ではこの點に關して最初より不問に附してゐた、なほ横山きみに關する處分は、横山方の床下に青柳の死體を中園及び兒玉博士の手で埋めた事實をきみが知つてゐたか否かに疑惑がかけられ死體遺棄幇助の

嫌疑 で取調べられたが全然情を知らなかつた點が明かとなり嫌疑なしの不起訴處分が與へられたものである

非公式發表(高井檢察官が記者團と會見して)

苦勞重ねた高井檢察官

事件發覺以來四十餘日、連日不眠不休で犯人搜査、取調べ、調書作成と三面六臂の大活躍を續けてゐた高井檢察官は八日午後二時よりの下田檢察官長との協議によつて司法處分決裁を得て始めて肩の重荷を下したが、次の如く語つた

約四十日間の取調べは流石に疲れるれエ、然しこれが我々の職務であるから、決してつらいとか苦しいとか思つたことは一度もないよ、だが取調べには却々苦勞した、何分關係人物が博士のやうな最高の知識階級の人から現在の社會の裏街を歩んでゐる横山の如き女性までで、これを一々取調べて行くんだから仲々難しかつた、それに今發表する譯には行かないが、まだ社會の知らぬ種々の事情も伏在し、豫想以上に複雜な事件であつたので相當苦勞はしたが僕として法の適用を誤らぬやう又檢察官として當然の職責をはたすべく最善の努力をしたつもりだ

豫感はありました 三輪子は語る

中園、勝美が殺人豫備罪に問はれたのは佐藤三輪子毒殺を計つた爲めであるが、これについて危くその魔手からのがれた三輪子は小平島の保養院において語る

妾は毒殺されかけたのでせうか?今考へて見ますと思ひ當る節もないではございません、それは確か本年の六月初め頃だつたと思ひますが、午前中私が此の保養院にゐますと青柳さんから電話がありまして「今夜兒玉さんの宅まで來て下さいと勝美さんから電話があつたのですが、貴女は一緒に行つては下さいませんか」とのことで、妾は何氣なく參りませうとその時は受合つたのでした、所が五時頃になつて急に何だか氣分が惡くなり行く氣がしないので、青柳さんを電話で呼び、その旨つたへ斷つたのでした、屹度その時ではなかつたでせうか、今から考へて見ますと何んだか虫が知らせると云ふ事だつたと思ひ、ぞつとする樣な譯でございます

涙ある裁き

博士の將來を期待 安東研究所長の談

事件の處分に關し高井檢察官が一番頭を惱ました問題は兒玉博士を如何に處分するかであつた、夫人の戀愛遊戲が生み出した殺人事件の渦中に卷き込まれ、世事にうとき博士が中園の命ずるまゝに動いた死體遺棄、證據湮滅の行爲に對し刑法上の罪を負はせることは刑事政策上執るべき策ではないといふ意見の下に、遂に不起訴といふ一大英斷が行はれたもので、これに對し一般法曹界でも涙ある法の裁きに好感をもつて迎へてをり世人また博士の立場に同情し檢察局の英斷を絕讚してゐるが右につき安東衞生研究所長は語る

兒玉博士が起訴されることは同氏をして社會的に殺して終ふことであると思ひ俄然學界の減刑歎願となつたのですが幸ひに檢察當局の大英斷により兒玉博士を救つて戴いたことは我ことのやうに嬉しく思つてゐます、これで博士もより一層に人類、社會の爲め貢獻すべき重大な責任を負はされた樣なもので、博士はこれを機會に必ずや更に學界に大きい足跡を殘す大偉業を完成すべく捲土重來を期されることゝ信じます

感激の博士は語る

(記者團に所感を語る兒玉博士)

起訴か不起訴か、明暗二筋道の岐路に立つた兒玉博士はいよいよ司法處分が決定されるといふ八日は午前中より何事も手につかず、殊に午後に入つてはいらいらとしたあわたゞしい氣持を隱し得ず、流石の博士も不斷の落付きを全く失つてゐたが、大內辯護士は博士のこの胸中を察して午後三時五十分檢察局に下田檢察官長、池內檢察官と協議中の高井檢察官を訪れ、博士に對する司法處分の意向をたゞいたところ、高井檢察官は博士に直に出頭を命じたので、大內辯護士は午後四時十分、兒玉眞造氏並に附添ひの下に博士を檢察局に呼びよせた、博士は待ち受けてゐた記者團の包圍を受けつゝ苦惱の思ひ出深い第四調室に入り、高井檢察官の前に立つたが、高井檢察官が刑事訴訟法第二百七十九條により起訴猶豫に附する旨を嚴かに傳へるや、博士の面はパッと紅を呈しじつと高井檢察官を見つめてゐる兩眼よりは感激の淚がとめどなくあふれ出してゐた、事件以來約二ケ月に亘る博士の苦惱はこゝに全くぬぐはれ、嚴正なる法の前にその行動の自由を許されることになつた

▽……△

自由人としての喜びにあふれた兒玉博士は八日午後四時三十分、同じく喜びに滿ちた實兄眞造氏並に大內辯護士に護られて第四調室を出で、辯護士控室に入つたが、待ち受けてゐた記者が「博士、お目出度うございます」と聲をかけると「有難う」と答へながら、不起訴處分になつた喜びを次の如く語つた

新たなる氣持で更生の第一歩へ

一意學界に貢獻する覺悟 明春外遊する計畫

唯今高井檢察官より、諸般の情狀を酌量し起訴猶豫に附するといふ寬大なお言葉に接し、同時に今後のことに關し二三の懇篤な御注意をいただきました 私としては當然起訴されることを豫期してゐましたので、この意外な寬大の御處置に全く感激致してをります、これもひとつに學界各位を始め先輩、友人諸氏並びに社會の一方ならぬ御同情の賜と深く感謝してゐる次第です この上は當局の寬大な御處置並びに各位の厚い御同情に報いるため一心に研究に精進し、學界に貢獻する覺悟でゐます、そうして今までの不名譽を挽回致します

今後の行動については何分起訴猶豫に附せられたことなのではつきりしたことは全然定めてゐませんが、ひとまづ大連を離れたいと思つてゐます、大體本年中に當地における研究材料その他をまとめて一度東京に出で、恩師草間博士とも御相談して明春外遊する計畫です、ドイツ、米國に赴きたいと思つてゐますが、あちらには學界の知己も非常に多いので私の研究にも何かと援助を與へてくれることゝ思つてゐます、事件も解決したし、勝美とも圓滿に離婚しましたし、今後は新らしい氣持で力強く更生の第一歩を踏み出します、貴紙を通じて社會の方々へどうかよろしく御傳へ下さい

大內辯護士談

兒玉博士の身柄引受人として博士の爲に寬大の處置を仰ぐべく運動を續けてゐた大內辯護士は起訴猶豫の恩典を喜びつゝ次の如く語る

唯今高井檢察官より博士を起訴猶豫に附する旨うかがつて博士及び眞造氏と共に大喜びをしてゐる所です、現在の刑事訴訟法には第二百七十九條に、犯人の性格、年齢及び境遇並犯罪の情狀及び犯罪後の情況に因り、訴追を必要とせざるときは公訴を提起せざることを得とあり、當地檢察當局は實にこの條文を現實に生かし、博士は起訴猶豫の恩典に浴することを得たものであります、私は法を現實に、然も最も適切に生かされた檢察當局に全く敬服するものであります、同時に博士に對し多大の御同情をたまはつた市民各位に對し貴紙を通じて滿腔の謝意を表するものであります

兒玉眞造氏談

實弟の起訴猶豫に飛び上つて喜んだ兒玉眞造氏は滯連約三十日間の憂鬱な惱みを吹き飛ばし晴れ晴れと顏を輝かせつゝ語る

色々御世話になり、何とも御禮の申しやうがありません誠(博士)自身も希望してゐることであるし、私も是非外遊させたいと思つてゐますが、萬事は安東博士並びに草間博士と御相談した上正式に決定する考へです、私は多分弟より一足先きに歸國し、諸般の用意をした上再び私が來るか、他の兄弟をよこすかとにかく弟を迎へるつもりです何うか御厚情を得た各位へ貴紙より宜しく御禮を御傳へ下さい

木曜講座 敷島町南滿商科學院では九日午後八時十五分から木曜講座開催、大連稅關長福本順三郎氏の「稅關の話」と題する講演あり一般の來聽を歡迎する

公判日 本年末か明春早々

八日の司法處分決定によつて中園秀雄並に勝美夫人は醜惡な邪戀の數々を法廷の白日下に裁かれることゝなつたが、公判は既報通り豫審に廻らず直に公判へ直行することに決した、中園勝美の兩名が法廷にうらぶれた姿を現はし裁きを受けるのは本年末か、遲くも明春早々とも見られてゐる

寺田新署長きのふ着任

新任大連警察署長寺田良之助氏は前任地營口から八日午後四時四十分大連着列車で着任したが驛頭には末光大連署警務主任以下署員一同、市內各警察署長、今井消防署長、森本地方法院長、山西、竹中兩滿鐵理事等官民多數の出迎へがあつた

石井前署長謝電

大連警察署長より關東廳警務局監察官に榮轉した石井金三郎氏は八日赴任本社に左の如き謝電を寄せた

本日着任す貴地在勤中の御厚情を深謝す貴紙を通じ民間各位へ宜敷御傳へを乞ふ

內地へ凱旋 第〇師團勇士

北滿守備の最難所東支東部線沿線の警備に當ること一年餘、功成つて去る七日大連に凱旋した第〇師團の勇士〇〇〇名は關東倉庫に一夜のあわたゞしい夢を結び八日午後三時御用船宇品丸で內地へ凱旋の途についたが同船繋留中の九番バースには早くより官民多數の見送りあり、うすら寒い冬風になびく旗、感激に打振る小旗、斜陽に輝く無數のテープ等々滿目五彩の感激情景だつた

青空ホテル (三)

近江帆三
吉郁二郎 畫

晴後雨 (三)

「どうもダンスの出來ないのが玉に瑕だ」
と逸見さんは、若い者の踊つてゐるのを見ながら述懐した。以前からダンスに對しては大いに食指が動いてゐるのだが、基礎的の知識がないから、こればかりは飛入りするわけにもいかない。
「二三度ホールへいらつしやればすぐですよ」
と小泉がおだてた。
「さうかなあ」
「課長さんなどは下地があるんですから、わけないですよ」
「下地つて、ハダカダンスのかい?」
「さうでもありませんが、身のこなしがねえ」
「さうかなあ。これで、若い頃は徹夜踊で夜を明かしたこともあるんだよ」
「ダンスだつて、やりかけたら徹夜ぐらゐ平氣ですよ」
「ホールへ行けば素人にでも教へてくれるかなあ」
「それア商賣ですからね、噛んで含めるやうに、痒いところへ手の届くやうに……」
「諄々として倦まずか。提灯も持つれ」
「いや本當です」
「づぶの素人もゐるか知ら」
「ゐますとも。ホールつてところは、玄人によく、素人によく、それこそ老若男女を問はずですよ」
「さうかな、實は僕はこつそり習ひたいんだよ」
と逸見さんは狡いことをいふ。知らないやうな顔をして知つてゐようといふのである。
しかし、よく／＼ダンスを習ひたくなつたのか、會が終つてみなが歸り支度をしてゐると、
「ちよつと附き合ひたまへ」
と逸見さんは小泉の足止めをした。
「ダンスですか?」
「默つて／＼」
そして二人は誰よりも先に外に出て自動車に飛び乘つた。
「どこがいゝ?」
「どこだつていゝですよ」
「君の馴染はどこだ」
「馴染は恐れ入りましたね」と、小泉は苦笑して「萬龍ですよ」
「じや、そこへ出かけよう」
しかし、ホールへいつてみると逸見さんはその空氣に壓倒されてちよつと手の附けやうもなかつた。
「どうです?」
と、一くさり踊つて來た小泉がすゝめても、
「まあ、もう暫く――」
といつて羞みながら煙草を吹かしてゐた。
「うまいのを一つ探して來ませう」
「なあに、さう急がなくてもいゝ」
「案外小膽ですね」
「うむ、少し色氣が出て來た」
と逸見さんはちよつと顔を赧らめた。
サキソホンが鳴り出した。
小泉は立上つて、
「こんど、いゝのを紹介しますからね。元氣をお出しなさいよ」
といひ殘してまた踊りに出た。
逸見さんは、小泉の馴れた動作を、羨ましさうに眺めながら、よし、こんどは一つ踊つてやるぞと腹を極めた。大體脚の運びもわかつたやうである。
暫くすると踊りも止んで、みなはバラ／＼に分れてしまつた。
「いゝのを見付けましたよ。いま僕と踊つてゐたのはなか／＼うまいですよ。よく話しときましたから、安心しておやりなさい。なあに、足の二度や三度は踏んづけたつて何ともありません、痛いのは向ふ持ちですからね」
と小泉は頻にすゝめるのである

柳壇

音　編輯局選

柳樹屯 山崎かほる
音靜か坊やインクで手を洗ひ
遼陽 天滿千代子
ベルの音飛び出て見れば御用聞き
チンドンヤ子供の叩く音で起き
大連 河東美津雄
手を取つたとこで銃音夢醒し
啞と啞凄い喧嘩の音ばかり
遼陽 後藤 芳子
たゞ二人丘で聞いてる波の音
手枕に夢路なつかし雨の音
大連 黑澤 節彌
人間苦しばし忘れて三味の音
飛行機に騷ぐ子供の下駄の音
鷹平たり凱旋兵のラッパの音
凱旋兵を迎へて
感謝せよ我等勇士の靴の音
本溪湖 柳村 生
兒玉夫人の末路
ジャズの音に醉ふたマダムの身の末路

風鈴の音も淋しく秋は暮れ
飛行機の音にみんな口をあけ　大連 池田 一郎
ジャズの音高野山まで落ち延びろ
失業者音沙汰なしを今に悔む　奉天 長嶺 默溪
墜落は落葉の音におびえて居
音づれをせぬは小遣のある證據　旅順 桃井 隆
靴音を給仕それ／＼聞き分ける
態のよい媾曳ひをする音樂會　大連 外山 角照
一人者さゝやく音へ寢付かれず
鐘の音考へ直す留置場　神戸 西田夢仙子
繋船のハンマーの音に沖は晴れ
元氣な擊父が打出す牌の音
音立てゝ砂塵に消えたオートバイ
澄み切つた月に淸は更けた音
夜汽車行く高架の響きよく聞え　山海關 松尾小女郎
音色をば變へて酒亂の座がひらけ
音羽屋と島田應援する棧敷
音曲の派手へ歐姫嘘に見え　同 田中 幸夫
怪談のその夜鼠へおびへ立ち　大連 豊田 廣國
銃の音絶えて香氣な流行唄
哀調のレコード好きが病みつゞけ　新京 淸目 助外
虫の音に忘れし故鄕思ひ出し
打つ波の音にも秋は淋しまれ　大連 上河邊紫浪
凄い音立て發電所今日も無事
音のする方へあはてた雀さび
聽音機逃さぬものと廻つてる　本溪湖 郡司馬里柳
匪賊等は爆音丈けで逃げ廻り
豆腐屋の喇叭の音に醒める夢
喧嘩する音へ又かと聞く隣り　大石橋 常見 岳陽
プロペラの音に仕事が手に付かず
試驗場テニスの音が氣にかゝり　新京 吉田 作治
花嫁は鼠の音へ寢付かれず
始業の鐘に喧嘩は止めになり　甘井子 田中美津嶺
凱旋日足取り輕くラッパの音
日曜日起きれば皮肉雨の音

秋晴れへ坊やの高い靴の音　大連 尾道九十八
珠數の音の前に不倫が悔ひて泣き
ステッキの音に妾は耳を立て
爆竹の音太平の夜が白み　本溪湖 中村 湖風
雷へ思はず新妻すがりつき
本溪湖事件の思ひ出　大連 桃陵さくを
銃の音又匪賊かと立ち上り
逆襲の音に露營の夢は覺め
見送りのドラ無情に鳴りひゞき
物音にふつと起つた胸さはぎ　大連 藤村 忠夫
ベルの音そつと鳴れよと朝歸り
朝寢坊茶碗の音に目を覺し
蟬虫なく音に歩哨銃を向け　遼陽 岸本 微笑
音がしたやうだと留守居淋しがり
狐鼠泥に竄つた馬穴のでかい音
プロペラの音に居るだけ口をあけ　大連 椅田 泰三
うたゝれの一寸の音へ眼を覺し
投資へ生活線の音をたて　山海關 上倉 都一
冬近く山にこだます銃の音
音沙汰もない不幸の子を案ず
夜が更けて待てば時計の刻む音　大連 赤井 一村
凱旋兵たゞ勇しく喇叭の音
お留守番餘計淋しい雨の音
叱られて下女皿鉢の音をさせ　蘇家屯 山下 春逸
足の音だまつて取つた菓子は逃げ
新妻は風の音にも主を案じ

○佳吟(賞)
盲人の音のする方へ手を擴げ　山海關警察隊 上倉都一

選者吟
風音も知らず疲れの手が動き
水道の音へ節約又叱り
音もなく臨檢へあく大金庫
嬉しさを見せて子供の下駄の音

滿日柳壇課題

▽題 「年末」「姉」「足袋」
▽締 十一月十五日着便まで
▽句 各題五句(住所氏名明記)
▽賞 佳吟薄賞(各題必ず別記)
▽宛 本社編輯局川柳係のこと

滿日俳壇

次回課題 「秋の夕」「明治節」

募集規定 「薄」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲地名、雅號、氏名各紙に記載▲締切十一月十日▲封筒に「滿日俳句」と明記▲投句先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛

滿洲日報
十一月八日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 土村武盛
大連市東公園町三十一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

陸軍當局の抱懷する內政根本的改革骨子

行政、金融機構の改革、土地政策 重要產業、保險國營、恩給制廢止

【東京特電八日發】陸軍の抱懷する對內國策は大體左の如くであるが、これは未だ內政國策會議に提出されて居ない

一、行政機構の改革
文官任用令を改正し官吏の動脈硬化狀態を改善し官吏と企業家敎育者その他民間との疏通をはかり淸新の空氣を注入し得るやうすること、外務省のごときは廣く門戶を開放し民間の適任者を適所に用ふること、これと共に地方行政との聯絡をはかること

一、金融機構
金融機關に對する國家統制の強化を圖ること、卽ち產業をすべて國營化しなければ、金融機關の國營は出來ないから、まづ爲替管理、貿易管理によつて統制を加へ、金融機關に對しては會計檢査院制度の運用によつて監督を加へること

一、土地政策
土地の完全なる利用を期するため、土地の全面的社會化をはかり耕作地においては地主の不生產的土地を除くため耕作權の確立、自作農創定をはかること

一、生糸及び米の國家統制
米の本質に鑑み米穀統制法より以上の統制を加へ、自由取引を禁止して價格維持をなし農民をして安堵せしむること、生糸は世界生產の七十三パーセントを占むるが故にこの生產費を低下して日本が獨占權を確保する方針を以て臨むこと

一、保險國營
國民保險として養老年金制を布き年齡六十五歲以上のものに支給する、また戰爭保險、勞動災害保險、敎育保險等をすべて國營として行ふこと

一、恩給制の廢止
國家及び公共團體の恩給制を廢止し既得權としての受恩給者は各種の社會事業に無給にて働かしめ或はわが國に必要なる各種のセンサス事業に使用すること

一、主要產業の國營
國防に關係あるもの及び基本的產業はこれを國營とすること、これと共に企業經營の能力發揮に意を用ひ、また會計檢査院の活動によりその弊害を除くこと

一、農漁山村救濟策
木材の濫伐を禁ずること、農林水產物の加工利用法を助成すること、生產物の配給圓滑を期すること、農家の生產を多角的ならしめ、特に畜產の發達をはかること、大工業は都市に置くも小工業はなるべく小都市に發達せしめ、農村との聯絡を密接にし以て人口の都市集中を防止すること、地方に對する負擔輕減をはかること、共同組合の發達をはかること

滿洲國武官 十一日東京發

【東京七日發國通】于芷山上將以下大演習陪觀のため來朝した滿洲國武官一行は多田少將と共に來る十一日午後十時十五分東京驛發列車で歸國の途に就くことゝなつた

"勅令"による改組 果して可能か

滿鐵社員會の見解

特務部案が勅令によりて斷行されんとする兆候を示し社員會も形勢を重大視して急速對策を講究しつゝあることは朝刊所報のごとくであるが、八日午後二時より役員會を開き本問題について協議してゐる、滿鐵內部の觀測では本紙所報のごとく滿鐵がその設立より今日に至るまですべて勅令によつて取扱はれて來た事は母法たる「外國における運輸業」に關する法律が存在するからで、ホールデング・カンパニー自體が單なる持株會社で鐵道會社に非ざる以上勅令によつて新會社に乘移ることは不可能なりとの說を堅持してゐるが、由來滿鐵の法律關係は學界においても多年問題となつて居り、學者の意見すら區々であるので、特務部は如何なる法理的根據を有するやも知れずとして、なほ十分に法律的研究をなして置くことになつた

に一說によれば陸軍省は本年二月ころ滿鐵改造案を作成して出先機關に提示したがこの陸軍省案なるものも實は山本總裁案とほゞ同樣で滿鐵を鐵道、港灣およびこれと密接なる關係ある事業に限定してこれに專念せしめ、國家機關的色彩を強くし、その他の事業は傍系の獨立會社とする、この他に日滿合辦にして日本法人たる持株會社を新設し、滿鐵はその傍系會社の持株に相應する持株會社の株式を所有するといふものであつたと傳へられてゐる、この陸軍省案は其後解消して

陸軍省も 現在では關東軍案を支持してゐることは東京電報の屢々報道するところであるが、最初は軍の中央部にもかゝる意見のあつたことは山本總裁案の精神の復活のために重要な基礎があつたとも見られるので大藏省が本案を固持すれば中央の形勢にも重大なる影響を及ぼすべしと見られてゐる

四川省赤化

【北平特電七日發】四川省內共產軍三萬は省內に勢力扶殖し打倒國際帝國主義の赤色標語を揭げ四川新疆省を經て支那本土とソウエート間の線路完成のプロセスに向つて進んでゐる、これに對し四川軍閥に委靡して振はず抵抗の力なきため同省の赤化は如何ともし難き狀況となつた

蘇聯の挑戰的態度に わが當局の態度漸く硬化

【東京八日發國通】ソウエート聯邦人民委員會議長モロトフ氏が十月革命の十六周年に際し六日モスクワにおいて內外工作に關する長演說をなし日本の攻擊を不可避の如く豫想し

我々は不意の重大攻擊に對し常に完全な用意を整へて置くべきであり、我等の任務は唯一の敵を完全に敗退させ、わが赤軍の勝利を確保するにあるのみ

と赤軍の強化を高唱せるに對し、わが朝野は蘇聯の傲慢なる挑戰的態度に甚だしく憤慨してゐるが、わが當局においても之を頗る重大視し

此際國民は生優しき日蘇親善論に迷はず、確然たる對蘇國策を樹立すべきである

その態度を明示した、卽ち今回のモロトフ氏の演說は先の怪文書事件が日本において極めて冷靜に迎へられ、豫期の反響無きに鑑み、第二段の挑戰に出て有利なる立場を確保せんとする態度に出たもので、蘇側の意圖するところは

一、リトヴイノフ氏が愈々アメリカに到着し米ソ兩國の國交恢復交涉が開始されんとするに當り殊更に日ソ關係の惡化を放送しアメリカが日本牽制策としてソ國承認の斷行を已む無きに至らしめんとすること

一、日本の軍部を刺戟し對ソ工作に積極的態度に出でしめ、延いて民衆の反軍部的感情を誘致し日本國內の混亂を惹起せんとすること

等にあり、日本當局が此際ソウエートのかゝる言動を以て單にソウエートの國內的對策によるのみとなし冷然と構へるにおいてはソウエートをして徒らにつけ上らしめるものであつて、ソウエートはその傳統的執拗を以て益々反日宣傳を世界に流布し、その勢ひの赴くところ兩國關係に重大な結果を招來するは明瞭な事實である、わが朝野は此際國論を一致しソウエートに對し重大意思表示を爲すべきである、卽ち力の政治と力の外交を目標とするソウエートに對しては我方においてもこれに對應する三案を施すべきであつて、ソウエートが我方に對し挑戰的態度を改めざる限り日本も飽くまで強硬對ソ策を施すべきものである、而して外務當局としてはこれが第一着手として先づソウエートが今後日本に對して如何なる行動に出でんとするか、その意圖を確むべく駐ソ太田大使を召還しソウエートの實情を詳に聽取せんとする意向に傾きつゝあるもの如く、日ソ關係は北鐵交涉等により表面カムフラージュされつゝあつたに拘らずこの兩國間の暗流は漸く表面化せんとしつゝある(寫眞はモロトフ氏)

わが對滿政策は不變

投資關係國の疑惑を解くため 外務省、滿鐵問題聲明

【東京特電八日發】滿鐵改革問題に對し、滿鐵投資關係の各國は從來わが國が標榜し來れる滿洲國の機會均等、門戶開放の原則に何等かの變化を來すものではないかとの懸念や疑惑を抱く向きがあるので、外務省はこの際事態の眞相を聽取して滿洲國と列國との關係の調整に善處する必要を感じ廣田外相は谷參事官に歸朝を求め今後の對策を講究するとともに、わが對滿政策の不變を聲明する準備をなす筈である

大藏省案と社員會の意見

滿鐵改造問題に關して株の半數を有する大藏省筋より何らかの意思表示あるべしと期待されてゐたところ、八日朝刊の我社東京特電は果して同省が山本總裁當時の

改革案を 提げて起たんとする兆あるを傳ふるに至り、滿鐵部內もその成行に注目し、同日朝來社內には山本總裁案の回顧や批判が活潑に行はれてゐる、この案は机上の空論でなく經濟問題に關する練達せる實務家たる山本總裁が滿鐵の缺陷たる「あまりに尨大に過ぎて能率の上らぬ點」を矯正すべく立案せるものだけに、實地に卽し實現の可能性大なるものあり、滿鐵內部にも贊成者多く、目下立案中の社員會特別委員會の獨自案にも重大なる影響を及ぼすものと見られてゐる、殊に鐵道部內には山本總裁が各部割一制を廢止して所謂鐵道部請負制度を設け鐵道部の活動を自由にし且つ合理化したことに對し

贊成論者 が多いので、社員會がこの案と大同小異の案を採用するにおいては最も懸念されてゐた社員會獨自案に對する全社員の一致も極めて容易なるべく、社員會幹部も一段の活氣を帶び、特別委員會の主なるメンバーは朝來某所に會合して協議を重ねた、更

黃郛政權の基礎 漸く鞏固となる

有吉公使天津で語る

【天津八日發國通】昨日來津した有吉公使は本日正午河北省政府における于學忠氏の招宴に臨み午後四時東停車場發北平へ向つたが、同日午後二時日本人クラブで記者團と會見し左の如く語つた

支那軍不侵入地帶設置問題に對する交涉は關東軍當局と北支當局との間に地方的に進められてゐるが、自分は何等關係ない、黃郛政權が永久性を持つた確固たるものかどうかは、日本の內閣でも倒れるのだから何ともいへないが、漸次鞏固の度を加へつゝあることは確かだ、黃郛氏が凡ゆる問題について一々中央の指示を仰いでゐるか、どうかそんな事は判らぬが、北支については相當な權限を與へられてゐると思ふ、日本側が根本方針として日支親善に眞劍な努力を續けつゝある黃郛政權の鞏固な發達を希望してゐることは動かぬところだ、關稅問題も支那の對內的問題、それから對外的問題等錯綜してゐて、さう早急には行かぬ、自分はまあ氣長にやるつもりだ、北支における羅文幹氏と蘇聯側との間に不可侵條約締結の下相談が出來たといふのは恐らくデマだらう、態々新疆くんだり迄行つてそんな話を持出す譯もあるまい、黃郛氏の外交部長說も信ぜられぬ、黃郛氏が今更外交部長でもあるまいぢやないか

なほ公使は今夜總領事館側の招宴に臨み明日歸平の筈である

滿鐵よ！何處へ行く

(1) 解體論の理論的根據

大滿鐵よ何處へ行く！——と書き出しながら早くも多少の感慨が湧く、滿鐵は「王國」と呼ばれ、その上に「大」の字をさへ冠していみじくも「大滿鐵王國」と誇稱し、また尊稱されたものだ、四頭政治の名こそあれ、その實滿洲における日本の經濟權益の代表者は滿鐵總裁で、その勢威は遠く關東軍司令官、關東長官および總領事の上にあつた、滿鐵總裁は常に大臣級の人物であり、故仙石、內田時代に至つては首相級といはれた滿鐵社員は三萬、その家族を合すれば十萬を越し、在滿邦人社會を完全に押へてゐた、それが滿洲事變後は、社員の鐵火をくゞつた奮鬪も、八億に增資した資本もその甲斐なくさかく、南風競はず、今は「何處へ行く」と問ひかけられてゐるのである、月並ながら「今昔の感」とはこんな時に使ふべき言葉でゝもあらうか

◇

強大なるものには自らの傲りもあらうが、外界の嫉視や反感を受け易いものだ、このアンチ滿鐵の氣分は滿洲事變で既成秩序の變動に乘じて一時に勃發し、滿鐵無用論や解體論が喧しく傳へられるに至つた、しかし奮起した滿鐵は上下一致して、前線に後方に軍人に劣らぬ活躍をなして、この不評を挽回したのみか、反對に滿洲事變解決がかくまでの好成績を收め得たのは滿鐵の力が與つて大きいと感謝され、滿鐵解體論も影を潛めた姿であつた

◇

解體論は清算されたが、滿鐵が事變後の滿洲の新情勢に適應した機關であるか否かの理論的檢討は殘されてあつた

滿鐵は事變前の遺物であり、過去においてこそ滿洲における日本の經濟的權益の代表者として相應しいものであつたが、今滿洲國成立した今日に至つてはむしろ多くの弊害をさへ見出される

これが滿鐵を何とかせねばならぬといふ議論が起つて來た理論的根據だ、ところが將來の滿洲の經濟開發を如何に行つてゆくかの問題はひとり滿鐵を如何にすべきかの問題でなく、實に新しき在滿最高統制機關と日本中央政府との關係を如何に規範するかの問題を生じ來り、こゝに拔本的な大改革論を生むに至つたわけである

◇

その一つの現れとして昨年六月「三位一體の最高機關」たる駐滿全權府が生れ、滿鐵總裁はその指揮下に屬することになつた、世人はこれで滿鐵問題も一段落だと思つた、滿鐵人は殊にさう確信してゐた、それは未だに外部に知られてゐないが、三位一體制が出來る前、時の本庄軍司令官を中心として今後の滿洲經濟開發を如何にして行ふべきかの重要會議が開かれ軍の幕僚も滿鐵要人も參加して論議が鬪はされた結果

滿洲の經濟開發は滿鐵にやらせる

といふ原則が承認されてゐたからである、この原則が不變なものだとすれば今度の改組問題なども起らぬ筈だが、傳へられるところによればこの時の決定中に現れた「滿鐵」なるものが現狀のごとき滿鐵なりや、それとも改革を受けた後の滿鐵であるか解釋によつてどちらにでもつくやうな性質であつたとの事である、滿鐵人の解釋は勿論前者で、根本的改造を受けぬ在來の滿鐵が經濟開發の執行機關として殘るものとして安心してゐたわけである。

◇

短かつた武藤全權の治世の前半期は事なく過ぎて、今年の春二月となつた頃、突然陸軍省から滿鐵改造案なるものが出て來た、關東軍でもその必要を認めて秘に研究してゐたので、その跡を追ひかけて特務部案なるものが作られた、極秘の案ではあつたが何處からともなく洩れて、四、五月ごろから滿鐵改造案なるものが新聞紙上に散見するに至つた、栴檀は嫩葉より香しで、特務案はその當時から「ホールデング・カンパニー」だつたのである、その時の嫩葉は今は亭々たる喬木となつて天下を驚かしてゐる、關東軍が自案斷行に非常な自信と決意を持つてゐるのは、自案が試驗勉強的促成栽培でないとを確信してゐるからである(カットは滿鐵本社)

反ソ傳單寫眞を配布 白系が赤衞軍に

【新京七日發國通】滿洲里國境警察隊よりの報告によれば去る十月二十五日在滿洲里ソ聯領事は最近白系露人が密かに反ソ傳單寫眞などを携行して國境を越え民衆及び赤衞軍に配布するものあり、之が影響は大なりとの理由で嚴重取締り方要求する所あつた、なほ右寫眞は食糧品の豐富、宗教のある國滿洲國を謳歌したものである

熱河財政工作進捗

【新京八日發國通】熱河省の財政工作は省內治安回復と共に順調に進捗し、本年五月省財政廳を設置して承德に稅務監督署及び稅關、赤峰に徵稅署を設け、徵稅機關の整備を圖り、租稅制度は一應從來のものを踏襲、地方の特殊事情を考慮し特稅の輕減、鹽稅の改正、鹽稅重複課稅の撤廢、生活必需品の輸入稅を三分の二に輕減して湯玉麟の暴政により疲弊せる省民の救濟並びに福利增進に全力を注ぎ來つたが、目下財政部當局において熱河省及び興安西分省の滯納租稅免除を斷行すべく計畫具體案作成を急いでゐるがこれにより右兩省の經濟建設促進されん

學良顧問ド氏 支那に舞戾る

【上海七日發國通】張學良顧問米人W・Hドナルド氏は六日午後二時入港のイタリー汽船コンテ・ヴェルデ號で突如支那に舞ひ戾つた、同氏の語るところによると歐洲にある學良は歸國を希望して居るが既に北支の狀勢は身を入れる餘地なきを知り當分歐洲に留まり飛行機の研究に沒頭するに決定したと

なほドナルド氏は學良顧問として學良華やかなりし頃より歐洲亡命まで隨行、その間學良、宋子文との間を往來排日策動に沒頭して居たものである、宋子文容れられずライヒマン亦多くの味方を失ひたる今日の中央政局で彼の策謀が如何に行はれるか注目されて居る

韓氏棗莊へ

【天津八日發國通】韓復榘氏は七日朝棗莊に赴き同地公安局並びに中興煤鑛公司を視察、午後嶧縣を視察した、今朝棗莊出發臨沂に赴く筈

天津民團理事候補

【天津八日發國通】天津[illegible]は擲れてより民團理事[illegible]ころ第一候補として元[illegible]小栗氏と內交涉を開始し[illegible]會計檢査委員、若松市長[illegible]市長等を歷任した人であ[illegible]

改造研究會第二日

滿鐵社員會有志の滿鐵改造問題研究會の第二日は前日に引つゞき八日午後零時二十分より協和會館で開會、聽衆千名を超え非常な盛況で一時閉會したが、閉會後も辯士に對し色々の質問があつた

矢田公使動靜

【新京電話】滿洲國參議に白羽の矢を立てられてゐる矢田公使は十三日北鐵線にて新京着二泊の上歸朝の途につく筈

うらる丸の船客

【門司特電八日發】十日大連入港豫定のうらる丸主なる船客諸氏

滿鐵社員加藤聰郞、三等軍醫正喜多村虎次、セメント會社員辻恒彥、貿易商原田猪八郞、東亞經濟調査局小森信一、步兵中佐鷹森孝、一等軍醫山田規矩二、砲兵大尉小田切實、安立電氣脇坂貫一、獨立守備隊將校六名

あめりか丸

九日午前八時大連港外着の豫定

人事

▲橫堀治三郞氏(東京帝大敎授、工學博士)七日夜來連ヤマトホテル投宿
▲太田外世雄氏(鄭孝胥總理秘書)八日入港十八共同丸にて歸滿
▲林顯藏氏(滿鐵總務部庶務課長)八日前七時四十分着列車で歸連
▲石井金三郞氏(關東廳警視)八日午前九時二十五分發列車で旅順へ赴任
▲佐藤喜太郞氏(凱旋軍輸送指揮官)滿日婦人團の歡迎に對し謝禮のため八日本社來訪

蛇角

◇
所謂「現地案」なるものゝ影がクッキリと大きく映つた。
◇
途端に「大滿鐵」なるものゝ影が薄くなつたよ。
◇
博士夫人を清算して、兒玉勝美が華族勝美になつた。
◇
生木を割かれたのではない、醜い枝が切落されたのだ。
◇
今度は電報強盜、アブナイオキテッケナサイ。
◇
火の番の警耳たてゝるしゞま哉。

女の部屋 (3)

林芙美子 作　一木孝 畫

扉を開く(三)

突然の夕立で俥は皆出拂つてゐた。傘を取つて來た土方が揶揄ふ樣な目で笑ひ乍ら

——お送りしませうか？それとも俥が歸つて來るのをお待ちになりますか？

と云ふ。

——待ちますわ、御親切にどうも有難う御座いました。

——では失禮。

さつぷりと暮れた、暗い雨の中へ、郊外の泥濘の中を消えて行く男の姿を見送つてゐる中に彼女は何となく口惜しくて堪らなくなつてゐた。

(男つて皆、何だか獸みたいな感じのするものなんだ)

震災で兩親を失ひ、親戚と云つても之と面識すらない遠縁のものが田舍にあるばかりになつて了ひ、兩親の存生中から長年家の人同樣にして、病弱だつた母を助けて家事の切り盛をしてゐた大叔母の幸と二人つきりで、危く燒失をまぬかれ殘つてゐた家に淋しく暮す樣になつて以來、智子は何事にもすぐ鋭感に反撥する樣にきつい性格になつて行きつゝあつた。

幸は夕餉の仕度をして待つてゐた。

——迎へに行かうと思つても何しろ此の雨ではね、だから屹度俥だらうと思つて……

——えゝ、えゝ、お迎へなんて……

——お湯にお入りなさいな。

智子は白く艷々しい肉體をじつと湯槽の中に浸けて、毛細管の一つ一つに沁み渡る湯の感覺に醉ひ痴れてゐた。

ふつくらと盛り上つた固い乳房を兩の掌で摑つて、ぢんわりと押へて見た。吃驚を起しさうな快感が下腹の邊りから湧き起つて、突然「わーッ！」と叫んで見たい樣な氣になつた。

湯氣で鈍銀色に曇つてゐる姿見を拭いてその前に立つと、すんなりとのびた處女の肉體が丸味を含んで彼女に相對して映つた。一糸も纏はぬビナスの姿が媚を含んで……

智子は見る可らざる物を見た時の樣な、羞恥に突然襲はれて、慌てゝ浴衣を引つかけた。

夕立の去つた後の大氣は少し寒い程清々しかつた。

君よ、何方より來り
かくも執にし
乙女の果實を
その妙に優しき御手もて
奪ひ給ふや……

智子はふとそんなフランスの譯詩を吟んでゐた。

夕餉の膳には何時もの樣に貧しい皿が二つ三つ並んでゐる丈であつた。

幸は又例の口癖を始めた。

——智ちやんも、早くいゝお嫁さんでも探してね、ちやんと身を固めないと、何時迄も今の樣に男の中に立ち混じつて働いてゐたら萬一そんな事もあるまいけど、もしもの事があつたら、妾が御兩親に申譯がないのだから……

——いゝぢやありませんか叔母樣。貧しくたつて斯うし[illegible]何とか生活して行ければ[illegible]が今の妾には一番樂しく[illegible]

——そんな事を云つて[illegible]子の二十二といへば、[illegible]事では濟まないのされ。[illegible]の頃から一人の男に思ひ[illegible]れ……

——それが亡くなつた[illegible]から……

——それがさ、叔父さ[illegible]なつてからの幸さ……[illegible]十八でしたかれ……尤[illegible]さんは半分男の樣で妾[illegible]に較べると、少したりな[illegible]見えるが。

二人は聲を合せして[illegible]た。

通り魔のやうに出没する"電報強盗"
水上署保安主任宅にも現はる
白晝、夫人を脅迫未遂

闇から闇を行く隠されたる強盗として市中に脅威の種を蒔いた「電報強盗」に關しては市内各署これが捜査に大童であるが奈良屋旅館が襲つたと同様「電報々々」の聲で家人を呼び出し金錢の無心をした事件が今一つ明るみに出された しかも被害者は市内大和町三十番地水上署保安係主任小林慶三氏宅で數日前の白晝、一名の日本人ルンペン風の男が扉をノックして鍵の掛つて居るのを知るや「電報々々」と連呼、折柄夫君の留守をあづかる夫人が戸口に現れるやいきなりヅカ／＼と入り込み「金を出せ」と強要したもので別に兇器は閃かさなかつたが折柄隣家のものの來訪によつて目的を果さずコソ／＼逃げ出したが、同様手段で各方面を荒して居るらしく小林氏は今日迄内々署員と共に捜査に當つてゐたものである

兇器は出さぬが同じ手口だ
小林保安主任語る

右につき小林保安主任は語る
短刀なぞは別に出さなかつた様だが、何分出動後で家内丈だつたのでかなり吃驚したらしい、何も被害が無かつたので何よりだが、うちの司法係にも直に話をして内々捜査を續けて貰つてゐた、新聞で同様「電報々々」の強盗が出たと知つて同じ手口だなあと思ひ當つたものである

新京强盗團 首魁逮捕
四平街城内で

【新京電話】七日早朝強盗團一味の檢擧に向つた新京署河本警部補以下四刑事は四平街着後直に同警察署を訪れ檢擧に關し種々打合せを爲し鈴木外二刑事の應援を得て午後二時城内東五馬路の平屋に潜伏中の犯人を襲撃したが早くもこの様子を察知した頭目以下二名の賊は逃走を企てたが一齊に躍りかゝつて大格闘の末これを逮捕、モーゼル、ブローニング拳銃各一挺彈丸六十發及び贓品多數を押收午後六時五十五分意氣揚々新京署に歸還した

なほ頭目姜子禮(二七)は病氣にも拘らず逮捕の際頑強に抵抗した爲か新京着と同時に重態となり直に同仁病院に擔ぎ込んだが同十一時四十分遂に絶命した更に馮如濤(四〇)白老五(三二)の兩名に對しては八日早朝より嚴重取調べを開始した

賀表捧呈は御遠慮申上げる
明春正月中は宮中喪

【東京特電八日發】畏き邊りでは朝香宮妃殿下薨去のため九年一月三十一日まで九十日の宮中喪を仰せ出され三陛下には歳末年始の宮中の御儀一切を御取止め相成ることゝなり從つて各有資格者が諸官廳及び地方廳を通じての賀表捧呈はその儀に及ばずとなつてゐる、たゞ國民一般の年賀状交換については宮内當局は別に御遠慮するには及ばないと解釋してゐる

意外、犯人は寺崎の實弟
奈良屋旅館の强盗

深夜電報配達を装うて押入り短刀を突きつけて脅迫、主人から十圓を奪つて逃走した「電報強盗」事件は本紙既報の如く被害者が屆出を怠つてゐた爲め事件發生後十日目に大連署の知るところとなり事件を重大視し犯人に就き捜査中、八日朝に至り犯人は意外にも繩張り爭ひから血の雨を降らし殺人未遂で目下大連署に留置中の酒井久一郎の子分寺崎清一郎(二七)の實弟で同じ酒井の子分である原籍福岡縣久留米市東町三二當時市内惠比須町一一五寺崎守(二三)と判明、指名犯人として手配捜査中である なほかゝる重大事件の屆出を怠つた市内信濃町一九奈良屋旅館主人大石金作は八日午前十時大連署に呼出され始末書を取られた

三六年目指し力強い發明
塵芥から酸化カリウム抽出
八幡製鐵所で成功

【門司特電七日發】目指す一九三六年の危險線を突破するためには國民のあらゆる努力が必要であるがこの非常時にまたしても八幡製鐵所から力強い成功が發表された 製鐵所熔鑛爐の煙を電氣收塵法や水洗法で清淨にすると廢棄される塵芥は一日三噸乃至四噸に達する その中には多種の有用な物質が含まれてゐるので銑鐵部で利用法を研究の結果この塵芥中十四乃至十五パーセント含まれてゐる酸化カリウムを獨特な方法で廉價に抽出することになつた、この酸化カリウムは平時は肥料に用ひられるが有時の際は火藥の原料として硝酸の代用品となるものである、なほ同利用法について研究所枝本技手は同塵芥中の鐵、酸化亞鉛、酸化カリウムが硫化水素と化合する性質をもつことに着眼し同塵芥をもつて石炭瓦斯中の硫化水素を除去し瓦斯の臭氣をのけろ方法を發見このほど特許を得た

滿鐵全線の線路改修
保線状況視察

滿鐵々道部工務課では九年度に實施するスピードアップの實現を前にして全線各鐵道の線路を經費四百萬圓を以て根本的に改修增設することゝなり、その前提として昨年および一昨年事變關係で中止してゐた滿鐵全線の總括的保線状況視察をなすべく去る五日鐵道部工務課長は課員五名を伴ひ沿線に出張したが本年は以上の意味から設備、補強の不完全箇所については徹底的調査を遂げる筈で期間は二週間十九日歸連の豫定である

閑院宮殿下の令旨を賜ふ
光榮の坂本凱旋將軍

【東京七日發國通】閑院參謀總長宮殿下には七日午後二時半參謀本部において軍状を御報告申上げた坂本第六師團長に對し左の令旨を賜つた

滿洲派遣の大任を完うし軍状伏奏の機において貴官の壯容に接するは余の欣快とする所なり、貴官曩に大命を奉じて滿洲に派遣せられ熱河作戰に從事するや酷寒不毛の地を強行、敵を驅逐し至短時日に北部熱河を掃定に成功し、次いで長城南側に及ぶや灤東の敵を潰亂に陥れ遂によく北支政權をして和平を乞ふに至らしめ偉功を收めよく皇軍の威武を中外に發揚したり、深く其の勞を多とす、時局愈々重大にして皇軍の使命益々重きを加へるの秋益々奮勵部下を統率し其の重責を完うせんことを望む

あす斷罪の日
海軍側最後の公判
高須裁判長から判決

【東京八日發國通】五・一五事件の海軍被告を斷罪する第三十回公判は九日午前九時横須賀海軍々法會議法廷で高須裁判長係で開廷することになつた事件發生以來一年六月去る七月二十四日第一回公判開廷以來審理を重ねること二十九回に及んだ歴史的大公判の幕を閉ずる日である死刑を求刑された三上、黒岩、古賀を始め無期禁錮並に禁錮の各被告將校に對し如何なる斷罪が下されるか凡ゆる階層の全神經はこの一點に集中されてゐる 高須裁判長以下各判士は既に諸般の準備成つて靜かに大役の日を待つてゐる、各被告は大津刑務所の別房で讀書に專念してゐるが斷罪の日着する黑羅紗の制服と黑靴の軍裝は林中尉が新調した外全部家庭から差入れられ出廷の準備が悉く整つてゐる

改悛の情なき勝美
處分決定後も自由を拘束して
靜かに反省を促がす

邪戀の夢も今は覺め果てゝ世間の嘲笑と罵聲を一身に浴び嶺前屯刑務支所の女囚未決監房に冷え切つた魂を抱いて斷罪の日を待つてゐる前兒玉博士夫人勝美は今は舊姓藤森勝美に還り八日夕刻までに決定されるであらう司法處分を控へ果して囚はれの身より自由の天地に放たれるか？無軌道戀愛のヒロインとして天下を騒がせた彼女の身の成行きは世間の多大なる關心を惹いてゐるが彼女は七日午後博士との離婚用件にて刑務支所を訪れた大内辯護士に對し

お互の幸福のために別れた方がいゝでせう

と放言し自分の過去の罪、世界的學者だつた夫を一瞬にして暗の深淵に突き落した妻としての大罪に對しては一言半句の悔後の言葉すら洩らさず、恬として恥ざる彼女の言動に流石の大内辯護士も啞然としたといふことである、更に彼女の檢察局に於ける態度及び陳述にしても檢察官の心證良からぬものあり、起訴は免れぬ有様にありしかも檢察局では身柄引受人もないことは斷じて出來ぬといふ意見有力となり、今暫く自由を拘束し孤獄の世界において靜かに反省を促すべきであるといふに大體の意見一致を見、遂に彼女は處分決定後といへど自由を解かれることはあるまいと見られるに至つてゐる

兒玉事件の處分愈よ大詰へ
檢察官長の決裁だけ

殆ど不眠不休で中園を始め勝美の取調べを行つてゐた高井檢察官は七日唯一の物的證據たる兇器の發見によつて七日午後二時半より兒玉博士を呼び出して訊問、午後五時過ぎには刑務支所に川上書記を帶同して赴き勝美の取調べを行ひ更に八日午前八時過ぎ再び刑務支所にて勝美、中園に對し最後の取調べを行つて正午前檢察局に登廳して起草中の起訴状に最後の訂正を加へたが、これを以て關係者一同の取調べ全く終了し、同時に司法處分決定書の完成を見ることゝなり、餘す處は檢察官長の決裁を待つのみとなつたが、八日下田檢察官長はバスに依つて旅順より來連、高井檢察官と協議の上決裁を與へ、八日夕刻までには兒玉博士、勝美、中園秀雄及び横山きみに對する司法處分の決定を見ることゝなつた、右につき事件發覺以來四十餘日に亘り不眠不休、漸く一段落にまでこぎつけた高井檢察官はホッとした様子で次の如く語る

僕の方はもう總べて手筈が整ひ何時でも處分の決定が出來るやうになつてゐるが、檢察官長の決裁を得るまでは如何に處分をなすかについては發表することが出來ない、博士を起訴するか起訴猶豫にするかについて大分噂が飛んでゐるやうだが、何れにしろ、早ければ今夕まで、遲くとも明日中には萬事がわかる

日滿兩國都間を徒歩旅行で踏破
けさ本社訪問の井上亨氏

日滿兩國都東京新京間徒歩旅行を計畫し去る七月十日麻布三聯隊除隊兵をもつて組織する在軍公論大學後援の下に東京を出發した井上亨氏は無事第一次計畫を踏破して探檢家らしい頑強な軀、元氣に滿ちた顔で八日本社を訪れて

第一次は無事終りました、内地朝鮮は主として海岸線に沿つて歩き滿洲に入つてからは安東憲兵隊の注意に依り新京まで主として線路傳ひに歩きました、茲數日中に第二次の滿蒙探檢乘馬縱走旅行を試みます、各方面に照會致しました結果錦州を出發地として熱河、ゴビの沙漠を横斷しエベレストの北部を突破しアフガニスタンに出る豫定で約一ケ年を要する見込みです、途中地理風俗を研究し總ての物は物々交換に依つて得る積りであり醫療器藥等も携行し言語等も研究をなしつゝ進む積りです

と朗かに如何にも探檢家らしい豪膽な口振で語つた

上原元帥絶望

【東京八日發國通】上原元帥は七日夕刻より著しく衰弱状態を示し八日午前九時意識不明に陷つたので十時カンフル注射を爲したが午前十一時全く絶望に陷つた

【東京八日發國通】天皇皇后兩陛下には上原元帥病中御見舞として葡萄酒一打御下賜の御沙汰あり、八日午前十一時十五分元帥邸に御下賜あつた

早起から踏み出す緊張の第一歩
今曉、忠靈塔下に約一萬五千名
精神作興週間第二日

國民精神作興大詔渙發十周年記念「精神作興週間」第二日目たる八日は早起會の日である、長夜の夢未だ解けざるに戸毎に床を蹴つて起出で肌ないたゞいて護國の英靈が安として眠る忠靈塔さして粛々と詰めかくるもの跡を絶たず、集まりしもの中等學校男女學生五千名、小學生、各團體、一般市民などを合算すれば一萬五千名とはぜられ像想外の盛會に先づ主催者を驚歎せしめる、午前五時三十分國歌齊唱神に國旗を掲揚し粛然と宮城を遙拜したるのち岩井少將は闇の中より

早起はその日における緊張の第一歩である、獨逸國民は早つて戰前二、三十年間に亘り他國民より一時間早く起きて精勵したそしてそれは列強を一手に引受けて戰ふエネルギーとなつた、今や我等は非常時に直面してゐる、今後早起に努めて心身を強健にして以てそれ／＼の任務を果したい

と早起の徳をたゝへ感銘せしめた かくて天も割れよとばかり萬歳を三唱、二十分にして散會したが、未明に一萬五千人も集結し而も擴聲器の設備なかつたに拘らず會衆一同粛々として規則的で多大の效果をおさめ大成功であつた(寫眞はけさ忠靈塔下で)

網にかゝるか桃色のかも
豐橋藝妓と逃避行
若妻の家出にも桃色の嫌疑

神戸五日出帆のしあとる丸で岡田一雄(二〇)(豐橋市居住)と言ふ男が五千圓を懷中に藝者(一九)といふ藝妓を連れ大連に逃走した故取押へ手配頼むと豐橋署より當地水上署に電報が屆いたが、同船はけふ午後二時着豫定につき水上署では直にこの桃色逃避行のかもに網を張つて待ちうけてゐる

◇

桃色の道行か、風寒き十一月の巷に又若妻の家出一つ――市内信濃町六九後藤又一氏方清水吉太郎の内縁の妻原籍福岡縣鞍手郡北竹字勝間、藤井末子(二三)は六日午後二時頃飄然と裏へ出たきり夜に入るも歸宅せず、そのまゝ消息を絶つてしまつたので夫の清水は大いに驚き捜査したが見當らず遂に大連署へ捜査願を提出した 清水の語る處によれば豫て知り合ひの原籍岐阜縣惠那郡大井町土屋敏夫(二六)と末子の間に疑へる節が多いとのことで、或ひは當時流行の邪戀舞曲に身をあやまつた二人がしめし合せて何れか逃避したものではないかと見られてゐる

支那人船員が遊廓で大喧嘩

八日午前零時四十分市内平和街四十一番地料理店第四十一號で支那人船員十數名入り亂れ血の雨を降らし大喧嘩を始めてゐるのを密行中の小崗子刑事が發見總檢擧したが、取調べたところ目下來泊中の英貨物船ベンネビス號乘組員九名と、同貨物船ベンクラッカン號乘組員七名とが相互に飲酒中些細のことから口論となり各乘組員二派に分れ毆り合つたものと判明、同日午前十一時兩船長小崗子署に出頭料理店の器具破損價格二十圓を支拂ふこととし、留置船員をそれぞれ貰ひ下げて行つた

明治町消防出張所事務開始

工費四萬五千圓を投じて起工中の市内明治町三番地消防出張所はこの程工事完成し八日から事務を開始した 同所管内には火藥一石油タンク、油房等危險建造物が密集してをり、全市第一番の危險地帶であるので殊に人員の充實を期し消防署長以下二十名の所員を常置し更に精鋭なる消火ポンプ二臺を置き東部大連の防火に努めることゝなつた なほ消防署では來る二十日前後に同所の開廳式を盛大に擧行する筈

お名殘に三驅逐艦大連入港

旅順要港部所屬第十六驅逐隊刈萱、芙蓉、朝顔の三驅逐艦は駐外期限の完了と共に近く懷しの故國に凱旋するがそれにさきだち九日正午頃旅順より廻航、おなじみの大連に十三日まで碇泊の豫定である

警備隊と交戰

【奉天電話】五日午前十時頃克海線通北海倫間新揚家西方五キロの部落に百數十名の匪賊來襲し滿鐵警備隊十數名と衝突し警備隊側は戰死二名を出したので海倫より裝甲車出動目下追撃中

電氣學會講演會

電氣學會滿洲支部では來る十一日午後四時半より大連ヤマトホテルに於て「撫順古城子採炭所の電化に就いて」と題して會員岡崎一郎氏の第十三回學術講演會を開催する由

赤司鷹一郎氏

【東京八日發國通】元文部次官赤司鷹一郎氏は先月中旬以來腸狹窄症にて帝大青山外科に入院療養中のところ七日午後四時遂に逝去した享年五十七

天氣予報 九日

南西の風晴後ち曇

滿潮(午前二時〇五分 午後二時二〇分)
干潮(午前九時一五分 午後八時一五分)

各地温度(八日午前十一時)

大連	一四	奉天	一三
旅順	一五	新京	五
營口	一三	新義州	一一

今日の小洋相場(十一時半) 金百圓につき一二一圓二五錢

善鬼惡鬼 (252)

平山蘆江作　刈谷深隍繪

鬼火（二）

押しのける五郎兵衞、付きまとふおはま、夜中の向島堤に、二人はいつまでも揉み合つた。

劍をさつては何ものにも引けをとらぬ五郎兵衞だが、女にはいつも弱かつた。相手が弱ければ弱いほど、無敵の力を出す五郎兵衞だが、お濱だけは苦手だつた。

其間にも火はどん／＼燃えさかる。

五郎兵衞は氣が氣でなかつた。

「離さぬか」

「離しませぬ」

「頼む」

「頼んでゐるのは私です」

到頭面倒くさくなつて、五郎兵衞は鐵扇をさりなほした。

「エイ」

眞の氣合である。聲ばかり強く腕の力を宙に浮かして、女の脇腹に輕い一あて、道は手練の早わざであつた。急所をよけた輕い一打ち美事にきまつて、女は土手の草むらに斃れた。

ふりむいて、女の斃れざまをしらべた上、思ふつぼに行つた事を見さどけるさ、五郎兵衞は一散に走りだした。

すぐに我家の門の中、丁度其時樂齋の家を大牢焼きつくした火先が、五郎兵衞の家の裏手をなめはじめてゐるさころだつた。

エレキのさそひか、火のまはりが非常に早かつた。

「おぎん――おぎん」

五郎兵衞は聲の限りに呼んだ。

併しそれはムダであつた。燃えさかる火の勢ひに消されて、何の答へも聞かれさうになかつた。

「長吉は居らぬか。――おぎん、おぎん」

右へ、左へと火先をくぐりながら、五郎兵衞は、家の中へ入らうとしたが、もうどうする事も出來ない。

半時か、一時も、火の中をさまよつて、眞黒にくすぶつた五郎兵衞が、やがて、網の風に吹きとばされるやうにして、門外へおし出された時、腑ぬけのやうになつてゐた。

「おつさあぶれえ。何をまご／＼してやあんでえ」

口汚く罵る火消人足の爲めに、二三遍つきさばされても、かへす言葉のないほど五郎兵衞はぼんやりしてゐた。

火消人足と、彌次馬とがむらがり立つてゐる中を、宛然氣ぬけのしたまゝにおしやられ／＼て、堤の上へ上つたのは、薄明りに東の白む頃であつた。

人だかりの鬪い土手の上を、ふら／＼さ、足も地につかぬやうにして、あるいた五郎兵衞が、目に見えぬ絲に引かれるやうにして、あゆみ寄つたのは、丁度、おはまさ争つた草むらのあたりであつた。

而も、まだそこに斃れたままのおはまへ、足先がさはると共に、ごつさばかり押しかぶさるやうにして斃れたのだ。

「因果と云はうか、因緣といひませうか。お前には迷惑でござんせうが、私にとつて、こんな嬉しい事はありません」

おはまは意地の悪い笑顔を見せながら、夜の明け切つた頃、白ひげのあたりの百姓家で、五郎兵衞の枕もとにすわつてゐた。

正氣にかへつた五郎兵衞は、百姓家のせんべい蒲團に寢かされた儘、觀念の眼を閉ぢてゐた。

キネマと演藝

ハーモニカ演奏會　十日夜の番組

大連ハーモニカ・ソサイテイ主催大連滿鐵社員倶樂部並に本社後援の佐藤時太郎氏ハーモニカ獨奏會は既報の如く來る十日午後七時から協和會館にて開催するが當夜のプログラムは左の如くである

▲第一部　一、合奏A「双頭の鷲」B「愉快な鍛冶屋」大連ハーモニカ・ソサイテイ　二、獨奏「登校」井上尚志　三、二重奏「コロネーシヨンマーチ」原田武次、井上尚武　四、獨奏A「ホームスヰートホーム」B「春雨」佐藤時太郎　五、獨奏「落葉の唄」佐藤時太郎

▲第二部　一、獨奏「朔北の春」原田武次　二、獨奏A「セレナーデ」B「北洋の夏」佐藤時太郎　三、二重奏「小曲集」佐藤時太郎、原田武次　四、獨奏「天國と地獄」佐藤時太郎　五、合奏「春のほゝゑみ」大連ハーモニカ・ソサイテイ

うわさ話

ワーナーの本社東洋課長と極東支配人の來連により一九三四年度から新作品が本格的に大連に上映されることになつた▲即ち常盤座がパ社の作品と併映して洋畫陣を愈々固めることになつたもので來年の正月から上映することに確定▲中央映畫館で目下上映中の「さすらひの乙女」で岡田嘉子が下を向くさまるで勝美夫人そつくりださ妙なところで興味をよんでゐる▲また「刺青判官」ではガボチヤ（小泉嘉輔）がカボチヤ畑に現れるのが面白いさ、この所ファンは少々驚態的である▲故根岸耕一氏の遺骨は令弟と小松氏が來る十日出帆のしあさろ丸で内地に持つて歸る▲西條香代子も亦姉のK子さ共に同船して内地まで遺骨を送つて大連を引揚げることになつた

◇鼠小僧次郎吉◇

大河内傳次郎の一人二役（次郎吉と長澤屋助右衞門）で奇才山中貞雄監督作品として期待される日活時代劇特作品、カメラは吉田清太郎前篇「江戸の巻」の好評により中篇「道中の巻」の完成を急ぎ目下内地で封切中、寫眞は中篇のスナップで大河内と山中監督【日活館で來週前篇上映】

日印間の接近から代表交換説擡頭
外務省では愼重考慮

【東京八日發國通】日本及び印度兩國政府は通商條約廢棄問題を一轉機として、兩國經濟上の實際的緊密關係に鑑み、これが整調方法につき愼重協議を續けてゐたが、既に通商問題については我が澤田代表と印度側のボーア商務長官との間に交渉一段落となり物々交換の大原則を包含せるバーター制により、劃期的通商條約が締結されんとしてゐるが、斯くの如き經濟の上部構造たる日印兩國政治上も調整を行ふ必要が切實に發生し來つた爲め、今日迄の兩國の通商協議の際にこれと關聯し、日印間に公使級の代表を交換し、以つて兩國が政治上の利害調整を行ふべしとの意見に一致を見た、依つて澤田代表は最近右の主旨を詳細に廣田外相宛報告して來たが、右の

復命

に接した我が外務省では、英帝國の自治領としてカナダ、濠洲、ニュージーランド、南阿聯邦、アイルランド自由國の諸地は夫々自治領たる資格を有し、現にカナダとの間には公使を交換しつゝあるも印度帝國のみは英本國の直轄領にして同國の外交大權は英帝國の掌中に確實に掌握されてゐる現状に鑑み、これが實現には頗る愼重なる講究を要し、若し一朝これが措置を誤る時は、我が國と英帝國との間に重大なる外交上の衝突を惹起すべき形勢にあるため廣田外相は愼重に考慮中である

兩代表私的折衝
日印會商解決に近づく

【デリー七日發國通】六日の日印第十次本會議で日印協定の大綱に就いて略意見の一致を見たので、これを機として一氣呵成に協定成立に漕ぎつけるため、澤田代表は七日午前十時半ボア長官を訪問三時間に亘り細目に就いて私的交渉を重ねた、澤田代表が昨日の本會議に就いて突然私的交渉を行つたのは、本會議に於ける問題の紛糾及びボア長官の立場を考慮した結果であつて、澤田、ボア兩氏間に既に了解出來てゐる事も本會議にかける時は議論の種となり、折角の了解も打壞される事があり、局面がデリケートとなつてをり、旁々圓滿解決を計らんとしてボア長官の立場を困難に陷らしめる虞があるため、特に澤田代表がボア長官を訪問昨日の本會議に引續き話を進めたものである、協定の大綱は昨日の本會議で殆ど決定してをり、後は政治的折衝による解決が殘されてゐるのみであるから、日本の要求した綿布割當に關する前提條件さへ認められれば、印度の要求する四億平方ヤードを承認する處まで進んで居り、これに對し印度も餘程接近してゐるので最早最後的解決近しと見てよい

郵貯激增
十月末狀況

關東遞信局管下の十月末現在における郵便貯金は人員三十六萬四千八百九十二名、金額三千二百二萬八千七百二十九圓でこれを前月末現在と比較すると人員三千三百七十三名、金額四十九萬四千五百四十六圓の共に增加を示し、更にこれを昨年十月末に比較すると人員五萬二千六百二十三名、金額三百三十二萬二千四百六十三圓の激增を示し同局開設以來の新記錄を作つた

日滿實業協會出席者決定

近く東京に開かれる日滿實業協會創立準備委員會並に同總會に出席する滿洲側代表者は八日までに左の如く決定したが尚ほ多少增加する模樣である

▲大連商議會頭高田友吉氏、同常議員山田三平氏、同書記長永義正氏▲奉天商議會頭庵谷忱氏▲滿洲國實業部工商司長孫澂氏▲熱河省公署總務廳長中野琥逸氏▲大連市商會代表代理王錫廷氏▲大連西崗商會代表代理劉煥彥氏▲奉天全省商會聯合會々長方煦恩氏▲奉天市商會代表陳楚材氏▲吉林省總商會々長范象魁氏▲新京市商會代表王莉山氏▲ハルビン道裡商會代表李明遠氏▲黑龍江省齊々哈爾商會長王玉堂氏▲熱河省各縣商會代表喬平縣商會長王文輔氏▲同圍場縣商會長林文魁氏

對日方針轉向しても支那貿易は不振
財界は依然沈衰に推移

【東京特電八日發】支那の對日感情好轉さゝもに我が對支貿易は活況を呈し漸くに好望視せられんとしてゐるが、七日某所着の情報に依ると奥地經濟狀態のバロメーターたる上海の在銀は最近漸增の傾向で奥地の商取引不振を思はしむるものあり政府の收入不足は毎月二千萬元に上り、支那財界は依然沈衰の域を脫せず、一月以降九月までの上海貿易も左記の如くで、大正三年以來の最低記錄を示してゐた畢竟五月以來實施された禁止的高率關稅の影響であらうと觀測されてゐる(單位千弗)

八年	輸出	二三九、四六四
	輸入	五七九、七八五
	計	八一九、二四九
七年	輸出	一六一、五八四
	輸入	六一二、一四五
	計	七七三、七二九

廣東地方排日熱漸く緩和
川越總領事より報告

廣東政府が去る九月一日より滿洲國産豆類の輸入禁止を解き、特許制を採用し、各方面にセンセーションを起した矢先、八日日本商議より大連商議に入つた情報によれば廣東駐在川越總領事は去る一日外務省通商局に對し排日緩和の報告を寄せ、廣東方面の排日が著しく緩和され、久しく杜絶の慘狀にあつた日本諸雜貨の引合も小口乍ら弗々開始され救國會の解散說が流布される等南支の對日貿易も漸く好轉の兆が覗はるゝに至つたと

創立當初の事實に立脚滿鐵改造案を討議
大連商議八日役員會を開催
日本商議總會に提案

滿鐵改組問題は急速度に進展して今や日本朝野の耳目を聳つるに至つたが、大連商議に於ても滿鐵の改造が一般經濟界に及ぼす影響頗る甚大なるに鑑み、豫て寄々協議を重ねるところあり、その結果、滿鐵は設立の當初に於て日本朝野の權威に聽き、輿論に問ふて設立せられた歷史的事實がある以上今これが改造するに當つては單に現地案を基礎とするが如きことなく廣く財界有力者の意見を徵し以て人心を不安に導くが如きは極力これを避け、愼重に協議決定せらるべきであるとの見解を持するに至つた、從つて目下東上中の高田會頭に對して來る十四日より東京に開催する日本商工會議所總會に提案されたき旨電報を發したが、七日午後高田會頭より先づ大連商議としての決議案を至急決定されたしとの返電があつたので大連商議は八日午後一時より役員會を開き日本商議に提出すべき滿鐵改造に對する提案について協議した

財界への不安一掃が緊切
大連商議副會頭　瓜谷長造氏談

滿鐵改組問題に關し瓜谷大連商議副會頭は左の如き所見を吐露した

滿鐵を改組して各獨立會社となすが如きは實に國家的重大問題であり、同時に財界に及ぼす影響は頗る深甚である、從つてこれが改組案を決定するに當つては一般經濟界に及ぼす衝擊を避け、改組による不安を一掃することが緊要だと信ずる、滿蒙の新情勢に順應して滿鐵を改造することは勿論必要なことゝ思ふが、それにしても人心を不安に導くが如き急轉直下的の改造は極力これを避くるが至當であらう、殊に滿鐵はその創立の當初に於て、兒玉將軍を委員長として廣く朝野の權威を集め、一般の輿論に聽き、愼重協議の結果成立したる歷史的事實がある、從つて今これを改造するに當つては、この歷史的事實に基き、廣く朝野の權威に聽き、輿論に問ひ、愼重に熟議したる後に決定すべきではあるまいか、單に特務部案とか、滿鐵案といつた局地的案によつて決定するが如きは徒らに人心を不安に導くのみである、殊に現在の滿鐵は八億の資本を擁し、財界との關係は更に大を加へて居るに鑑みるときは、財界有力者の意見を徵することはこの際最も必要ではあるまいか、要は青天の霹靂の如き案でなく白日の下に愼重協議決定せらるべき案であつて欲しい

對米爲替前途は豫測不可能
外國市場見透し不能で

【東京七日發國通】二十九弗臺を續けてゐる最近の對米爲替の前途につき爲替銀行筋の意見を綜合するに大體左の如き觀測を下してゐる

一、滿般米大統領のなせる金買上げ、弗價引下げ政策は所期の目的たる物價釣上げに効なく、今後更に如何なる新政策を弄するか全く不明で、何れにするも弗爲替はその場合常に急變動を餘儀なくされる

一、從來弗の米英比は四弗八十六仙六六迄を一つのエポックとして考へられてゐたが、こゝ一兩日の如くそれを上廻つて昂騰するに至つてはもはや前途豫測の根據を失つてしまつた觀がある

一、實に最近の英米クロス急騰は主として弗の將來に對する見透しが困難してしまつた關係から米國の內外に於ける弗の思惑賣りが盛んとなつた爲めで、かゝる海外市場の混亂から內地貿易業者並びに爲替業者も全然氣迷ひ形勢觀望する外致方ない

一、現下の貿易事情からみても輸入期にありとはいへ、米國棉花相場は別に昂騰の兆なく、日印會商の結果待ちから依然米棉輸入は東洋買ひのみに止つて急がず、一方輸出ビルの出廻りも爲替の前途不明からあせらず、輸出入ビルとも極めて少量の取極めあるのみで、氣乘薄の形にある、要するに今次の弗價變動は全くル大統領の國內物價引上策の犠牲としての無軌道的なものであり、然もこれに對する英佛兩國の情勢並に態度も極めて急迫せるものを感ぜしめるものあり、海外市場の動搖は全く見透しも許されぬものある爲め我爲替相場の前途は如何とも豫測し難いとされてゐる

朝鮮總督府が滿洲向原木禁輸
安東當業者には致命的

【安東】朝鮮總督府は今回原木の滿洲輸出を禁止すべく、今冬の伐採期より滿洲輸出目的の伐採を許可しない方針で既にこの旨を林業者に示達したと傳へられてゐる、目的は朝鮮內木材需給の調節を圖らんとするに在り、製材はその限りに非ずとするものらしいが、若し事實とすれば現在でさへ原木不足に惱み操業休止に瀕してゐる安東の製材業者に取つて致命的の打擊であるのみならず、新義州側の伐採業者の蒙る打擊も甚大であるから安東木材商組合は新義州の國境林業組合と提携して反對運動を起す模樣である、なほ安東に輸入する朝鮮原木は年額二十四五萬石である

金州管內落花生收穫
前年對一割增

民政署殖産係の調査による金州管內十四會における本年度落花生收穫豫想は左記の通りで昨年度に比し約一割增收の豐作であるが、これは破皮發芽期の適度降雨と爾後の氣候が落花生發育に順調であつたためである(石數は支那桝)

金州會六二五石、南山會一一九石、馬家屯會六二八石、小孤山會一三二三石、大孤山會三〇二石、董家溝會一三一七五石、黃咀子廟會四五八〇石、玉皇頂會三六四〇石、劉家店會二三〇八七石、貔山會二九四五六石、老虎山會七五九〇石、大魏家屯會一四七五〇石、二十里堡會九五三〇石、閻家樓會一四五九〇石計一五六二二五石、昨年度合計一四一八九六石

黑山縣下の棉作有望

【新京電話】黑山縣下に於ける棉花適作地は四萬六千五百二十畝とされてゐるが、實際の作地面積は五萬一千八十二畝に增加し、一畝の收穫平均八十八斤で總額約四百五十萬斤の收穫を見たが、尚ほこれ以外に十萬畝以上の棉作可耕地が有望視されてゐる

特産出廻激增
貨車繰に困惑

【奉天電話】滿鐵線による特産の輸送は最近異常の激增を示し、現在奉天管內のみの在貨にても新京一萬九百噸、其他二萬二千四百噸合計三萬三千三百噸に達してゐるが、一方貨車の運用は既報の通り埠頭より奥地行の生活必需品、建築材料等に妨げられて車輛に不足を告げ、現在奉天管內で四百五十二車の發送を抑制し其他各鐵道事務所に於ても貨車の狩り出しに腐心してゐる狀態である

日滿實業協會會長に鄉男

【東京特電八日發】來る十八日創立總會を開催する日滿實業協會の會長には鄉誠之助男を推すことに內定した

滿洲國商標法實施に當つて中根囑託の謬論を糺す(上)

中村如峰

滿洲國商標局囑託中根齊氏、滿洲日報紙上に「滿洲國商標法と國際條約」大連新聞紙上に「滿洲國商標法の釋義私見」なるものを發表した、その內容は何れも同一である、而してこのプリントは關東廳始め各所に配付されたが、滿洲國商標法と最も密接且つ深刻な關係を有する大連商工會議所にはナゼか配付されなかつた。

就いてこれを見るに、事理錯然支離滅裂、再讀して理解に苦しみ三讀なほ要領を得ない所が多い、而も毎日異同の點は醜陋を極め、所々に妙な臭も感じる、夫れを以て大方の參考に資し、少しく闡明する處あるべしといふ。この所說が單なる無名氏の一私見であつたならば、吾等また何をか論ぜん、一笑に附してもよい、否黙殺しても濟む、併し夫れが苟くも滿洲國囑託の肩書を有つ以上は、これを看過することは出來ない、黙視する譯にも行かない、何故ならば中根囑託は滿洲國商標法制定に干與した功勞者であり、實業部內の支那商標法通として自他共に許されるだけに、其の迷語は世を誤らしめ、我が商工業者を困惑せしむ、遂に或は之が因を爲して日滿經濟に累を及ぼし、其の經濟統制を害するに至るかも知れないを恐るゝからである。

尚且つ中根老は北京時代に於て農商部許議として代理人を營業し商標登錄其他の事務實際に當つたに拘らず、當時と法理、取扱の見解を二三にして、恬乎たるに至つては、其の眞意、良心果して那邊にあるかを知るに苦しむと共に、若し萬が一にも斯る方針の下に滿洲國商標法が取扱はるゝものとしたならば、我が商工業者の苦痛、不利、不便、不幸や大なりといふべきである。

今、之等の誤謬を悉く指摘して謬を糺し、誤を訂さんは、其の煩に耐へざるものあるのみならず、行數また許さゞるものあるべく、茲には其の重なる二三を擧げることゝした。

一、我登錄濟商標

中根囑託は、追加日清通商航海條約第五條の「日本臣民の有する登錄濟商標」を指示して

は、日本臣民の有する登錄濟商標とは、日本臣民が支那の法規に依り、支那に於て登錄されたる日本臣民の有する商標權

と解するが正當な解釋と云ひ、故意に斯く理否を轉倒してコヂつけんと努めて居るが、之を條文に見れば「滿國政府は滿國臣民が日本國民の有する登錄商標を侵害するを禁遏する爲め」に商標法を制定し、商標局を設けて保護しやうと約束して居るではないか。

◇

支那の商標法に依つて登錄した商標權を、支那が其の商標法に依つて保護することは、當然の義務であり、我が商標權者からすれば當然な權利の要求である、敢て條約に規定する必要はない。

而も之が解釋に至つては、毫も六ケ敷い法理論はいらぬ、當時の事情を顧みれば直に判然する、即ち當時不德な支那人が我が商標權を頻に侵害し、非常な不利と損害と困惑から免れんとして、この條約が出來たものである、故に滿國政府もこの事情を承知して居ればこそ、滿國臣民が日本國民の有する登錄商標を侵害するを禁遏する爲め云々といふて居るではないか。

斯かる常識を以てしても直に判ることを、何が故に故意に曲解しるのであらうか、我が商標權を不利に陷れんとするのであらうか、怪訝に堪へない。次いで

若しこれを日本國において登錄されたる商標權なりとすれば、日本は支那と條約を締結するに當り、同盟條約の規約を無視し違反行爲を敢て爲したるものといふべく

と論じて居るが、本文の所謂「滿洲國商標法と國際條約」を、幾度讀んで見てもそれらしい說明がない故に、條約無視と違反行爲のワケが判らない、之れこそ所謂錯覺だらうが、錯覺としては念が入り過ぎて居る、吾等は敢ていふ條約の相手が、特に支那である、支那は萬國工業所有權保護同盟條約に加入して居ない、その支那に對して支那人が登錄商標の侵害を禁遏せしむる爲に、法を定め、官を設けしめて、相互的に保護を條約することは、毫も同盟條約を無視したものでもなければ、絕對に違反行爲でもない、萬國工業所有權保護同盟條約を更に一讀するならば、更にその蒙を悟り、荒唐無稽な言說なるを知り得るであらう、また

日本と同年に締結せる米支條約及びその前年に締結せる英支條約にもこの規定なきを以て見るも亦た知る事が出來るのである

とは、何を知ることが出來るのだらうか、愈々出でゝ愈々陋、日本は英米の屬國でもなければ、保護國でもない、金甌無缺の嚴然たる獨立國である、何も苦んで英米に隨從する必要はない、獨自の立場に於て條約を締結するは當然である、英米の條約に書いてないからとて、日本の條約には何等の影響はない、英米の對支條約は英米の條約であり、日本の對支條約は日本の條約である、須らく日本の對支條約は日本の對支條約として、之を正義に解釋し、以て條約に依る吾等の正當なる權利を高唱強調すべきではあるまいか。(未完)

黄塵

◇…朝鮮總督府が滿洲向け原木の輸出を禁止する意圖ありと傳へられ安東の當業者等は大恐慌を來してゐる、いかにもさうありさうなことだ、さなきだに木材の大拂底を來して新京の建築業者等は國有林伐採の請願さへしてゐる矢先、お隣の朝鮮からこんないぢわるをされては全くやり切れまい、理由は何にしても建築非常時の滿洲を見て貰つて、左樣な方針は一切取り止めて貰ふことだ。

◇…滿鐵改造問題に對して民間株主側の意見を聞いて見るが、どうも尻込みして兎角口を緘したがる、斯樣な空氣は明朗なるべき滿洲の天地に一抹の暗影を投げるもの、よしや當局の忌諱に觸るゝことがあつても、思ふこと憚りなく披瀝してこそ眞に滿洲を愛し滿鐵を思ふ所以ではないか。

紀州蜜柑が第一位

和歌山縣大連駐在員として紀州蜜柑の滿洲への大量販路を圖つてゐる高橋粂一氏は先般內地に赴き今冬における蜜柑の輸入に關し種々打合せをなして七日入港ばいかる丸で歸連したが同氏の語るところによれば

滿洲へ輸入さる蜜柑は紀州蜜柑が八、九割を占めて斷然抑へ愛媛、靜岡蜜柑がこれに次いで僅かを占めてゐるに過ぎないが紀州蜜柑はこれに滿足せず滿洲國の出現によつてより一層その販路、購買力を增大してゐる點に注目して今冬よりなほ一層積極的に輸入を開始することになつた、昨年は種々の關係上六十萬梱しか輸入出來なかつたが、今年は銀高、林檎の不作等の影響を受け蜜柑が大歡迎さるゝので大いに力を得て阪神積込み八十萬梱、關門積込二十萬梱總計百萬梱を滿洲に向け發送する段取となつて既にその一部分は七日入港ばいかる丸で大連に到着した、これによつて邦人は勿論、冬における果物として最も支那人の嗜好を喜ばす蜜柑に不自由はしなくなつたわけである、然し紀州蜜柑側ではこの大量輸出にほく／＼の態であるが茲に苦慮してゐるのは昨年に比し蜜柑の出來が少くなかつたゝめ勢ひ一梱に對して三圓程の値上がりとなつたことである

市況(八日)

特産　賣物多く大豆低落

今朝の定期は大豆は邦商及南支筋賣に低落を辿り豆粕は油坊筋賣りに軟調、豆油も買氣薄に軟調を示し高粱は閑散保合を呈した

◇定期前場(銀建)

▲大豆(低落)單位厘
- 限月・寄付・高値・安値・大引
- 十一月末 三九一〇 三九一〇 三九〇〇 三九〇〇
- 十二月末 三九〇〇 三九〇〇 三八六〇 三八六〇
- 一月末 三九二〇 三九二〇 三九〇〇 三九〇〇
- 二月末 三九四〇 三九四〇 三九二〇 三九二〇
- 三月末 三九五〇 三九五〇 三九四〇 三九四〇
- 出來高 百九十七車

▲普通大豆　出來不申

▲豆粕(軟調)單位厘
- 十二月限 一二四〇 一二四〇 一二三〇 一二三〇
- 一月限 一二四五 一二四五 一二三〇 一二三〇
- 出來高 四萬一千枚

▲豆油(軟調)單位錢
- 一月限 一一三〇 一一三〇 一一三〇 一一三〇
- 出來高 一千箱

▲高粱(保合)單位厘
- 十一月末 一九六〇 一九六〇 一九六〇 一九六〇
- 十二月末 一〇〇〇 一〇一〇 一〇〇〇 一〇一〇
- 一月末 一〇三〇 一〇三〇 一〇三〇 一〇三〇
- 二月末 一〇四〇 一〇四〇 一〇四〇 一〇四〇
- 出來高 十三車

▲包米　出來不申

豆

けさ大豆は邦商及南支筋の賣りに奥地筋の買も利かず五錢乃至六錢方の低落を辿つた▲豆粕も大豆安と油房筋の賣りに軟調を呈し、豆油は買氣薄に軟調、高粱も人氣なく閑散保合を辿つた▲大豆の到着は頃來毎日四百車近くに上り漸次增加の傾向で、前年に比し埠頭在荷も六百車見當多い▲それに歐洲筋の買氣が一服したので自然相場は軟弱氣配を免れない、材料待ちの體だ▲現物大豆は三井二〇、豐年二〇、三菱二〇、油房六〇で百廿車の手合

銀

紐育市場休日にて爲替銀塊共情報なく倫敦銀塊騰り▲上海市場も漲水標金共平凡を入れたが當市は人氣稍強張り四、五十錢高と引締つた▲何等確信の持てる強材料も見當らないが十圓ト已臺の安値をみせたので市場人氣の浮動性から買ひついてみたといふ程度であらう▲結局目先十一圓中心の小巾往來の相場らしいから押目買ひの吹値賣りで小掬ひ主義に出る外あるまい

株

大阪は大株大新安、鐘紡、鐘新騰りで大したこともなく東新も二百一圓中心の保合を入れ▲當市も氣配變らず諸株共閑散裡の釘付商狀であつたが滿鐵新は改造問題の嫌氣から賣物殺到し六十二圓臺の新値に崩れ▲滿鐵改造も株主の總意を求めず外部的な力によつて動かされるとすれば株主として不安を感ずるの當然である▲從來準公債並に取扱はれ從つて他の主力株の如く相場の敏感性がないだけたちの惡いヂリ安商狀を辿る事にならう

錢鈔　人氣見直し鈔票引締る

海外情報は倫敦銀塊現物先物共八分一高、孟買銀塊十六分一高、紐育市場休會、神戸日米四分一高、滙水百八圓臺、滙申九七元五五、滙燦九七元二〇〇、大洋九七元一〇〇、上海標金四、五元高と材料平凡乍ら當市は稍買氣崩し四、五十錢高と引締つた

◇定期前場(單位錢)

現物前場(銀建)

- 混保大豆(袋込四〇〇〇) 寄付 三九五〇 大引 三九五〇 出來高 百二十車
- 普通大豆(袋込三九四〇) 三九三〇 出來高 二車
- 豆粕 一二四五 一二四〇 出來高 一萬枚
- 豆油 出來不申
- 高粱(上物) 二〇五〇 二〇五〇 出來高 五車
- 包米 出來不申

豆粕生産高(八日) 二三、〇〇〇枚

定期喰合高(七日帳入)

品目	喰合高	前日對比
大豆	三三六七車	六六車
高粱	六八八車	一四車
豆粕	一四七八千枚	一三七千枚
豆油	一三四五百箱	二五百箱

株式　滿鐵低落　內地變らず

北濱定期の前場寄は大株一圓二十錢安大新一圓八十錢安、鐘紡一圓高鐘新一圓高、引は區々の保合、東京短期の東新は一圓中心の保合を入れ當市も氣配變らず延の五品は一二十錢安新豆錢鈔保合東新十錢高の保合に引けたが滿鐵新は改造問題の嫌氣から二圓臺の新安値に崩れた

前場

◇定期(單位十錢) 銘柄 東新・五品 ほか

◇延取引(銘柄：五品・新豆・錢鈔・東新・鐘新・滿鐵新)

滿鐵株(保合)
- ▲東短前場 滿鐵新株 六十三圓四十錢
- ▲大阪短期 滿鐵舊株 六十三圓二十錢

◇羅取引 代行 二五八 電話 一四五
○爲替及受渡日歩

株式出來高(七日)
- 定期 二八〇〇枚
- 延計 三、七五〇枚 一八五〇枚
- 羅合 一〇〇枚
- 早渡 八五〇枚
- 金額 三九、六七〇圓

現物前場(單位錢)

- 寄付 期近 二二一〇 高値 二一四〇 安値 二一一〇 大引 二二四〇
- 出來高 期近三百十三萬五千圓
- 九時 銀對金 二一一〇 銀對洋 一三四〇 金對洋 一三三五
- 十時 二一一〇 一二九〇 一三三〇
- 十一時 二一三〇 一二七五 一三一〇
- 十二時 二一三〇 一三四〇 一三一五
- 出來高(銀對金六十萬九千圓 銀對洋四萬圓)

商品　綿糸弱保合　麻袋引締る

●綿糸● 米棉休會、神戸日米一高、大阪三品は期近物保合限一圓搦み安と弱保合を入れは氣乘薄閑散

銘柄	約定期	値段	枚數
福助	十二月限	二一五六	
同	同	二一六四	
同	三月限	二一〇九	

出來高 三十梱

●麻袋● 産地錢八分一安、青四分一安、爲替四分一安と不引立を入れたが當市は安値には買氣潛在の模樣にて相場も二三厘方見直した引際氣配は現物三十八錢七厘、當限三十八錢六厘、十二月三十七錢七厘、一月三十七錢見當

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	十一月限	三八七	二〇〇
同	同	三八六	二〇〇
同	十二月限	三七五	七〇〇
同	同	三七七	四〇〇

出來高 十五萬枚

上海爲替情報

【上海八日發】材料薄なるもクロス小高きため標金寄鼻安トし押目には依然買埋めありて高く、弗は支那人よく賣り日銀に買氣多く結局保合、圓は北の先物賣にて稍強し且銀行買

上海標金　寄値 七四七兩 高値 七五〇兩 安値 七四六兩 止値 七四七兩

爲替相場

鮮銀：倫敦向電賣(一圓)　紐育向電賣(金百圓)　同上海電賣(百弗)　同賣(銀百圓)　日本向電賣(同)　同五日拂買(同)

奥地相場

錢鈔：金票對奉天票(現物)　國幣對金票(現物)(奉天)　金票對國幣(先物)　開原國幣對金(現物)　新京國幣對金(現物)　安東鎭平銀(當限・先限)　哈國幣對金票(現物)

特産：▲大豆 哈爾濱 寄付・大引　▲小麥 哈爾濱

各地特産發送高

▲開原 大豆一三車 高粱一一車 豆粕一四車 雜穀 ―
▲公主嶺 大豆一九〇 ……
▲四平街 大豆六車 高粱四車 豆粕 ― 雜穀四車
▲新京 ……

大連埠頭到着高

大豆四四二車 豆粕二四車 高粱 雜穀三

市場電報(八日)

銀塊及爲替
- 倫敦銀塊 十八片八分の五
- 同先物 十八片十六分の三
- 紐育銀塊 ―
- 孟買銀塊 五十六留比八分の七
- スチール ―
- アナコンダ ―
- 英米爲替 ―
- 米日爲替 ―
- 米支爲替 ―

神戸日米
- 第一回 二十九弗三分一
- 第二回 二十九弗三分一
- 第三回 二十九弗三分一

棉花
●米棉　現物・十二月・一月・三月・五月・七月・十月 ―

●印棉　ベンコール 十八留比　ブローチ 三十留比　オームラ 二十六留比

大阪株式
銘柄：大株・大新・鐘紡・鐘新・日糖・郵船・滿鐵・滿鐵新・東株・東新・(短期)東新・寄値・引値・高値・安値

東京株式
銘柄：鐘新・新東・東新・滿鐵　寄値・引値・高値・安値

大阪期米　神戸期米　東京期米
當限・中限・先限　前場寄・前場引

大阪綿糸　大阪棉花　橫濱生糸　印度麻袋
鐵筋直積　青筋直積　爲替相場

満洲日報
本日夕刊共十二頁
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社 満洲日報社 振替口座大連六〇番

上陸即日のリトヴイノフ氏 ル大統領と第一次會見

赤宣傳禁止、債權確保問題 交渉案外すら〳〵

【ワシントン七日發國通】七日早朝米國に到着するやニユーヨーク市にも上陸せずジヤーシーより直に急行列車で首都ワシントンに向つたソウエート外務人民委員長リトヴイノフ氏は午後三時四十五分早くもワシントンに到着し驛頭にはハル國務長官以下米國々務省高官の出迎へを受けたが少憩の間も無く直ぐさまホワイトハウスにル大統領を訪問し、茲に着米後數時間にして早くも第一次會見が行はれた、尤も本日の會見は挨拶を主としたもので一切四角張らずハル國務長官以下米國政府首脳部を交へル大統領とリトヴイノフ氏との間に前後約二十分間に亘つて會談が行はれた、從つて米蘇國交復交の全體的折衝には入らなかつたがルーズヴエルト、リトヴイノフ會談の幸先は頗るよく復交交渉の前途が樂觀されてゐる、かく萬事スピードアップで事が運ばれるので明八日から直ちに復交の具體的交渉をはじめるものと見られるがこの折衝で米國側が最も力點を置くのは

一、米國に於ける共産主義宣傳の禁止並に取締問題
一、米國のロシアに對する公私債權問題

等である、而して右對蘇債權の内容は

一、ケレンスキー債元利三億二千七百五十四萬弗
一、私的債權四億四千百萬弗

以上合計七億六千八百五十四萬弗

である、之に對しソウエート側は少くも當初は先づ兩國の國交を正常狀態に回復し、然る後懸案解決の折衝に入るべきことを主張すべく之は過般カリーニン氏がル大統領に送つた回答においても明示してゐるところであり且つモロトフ氏も六日の革命十六周年記念式の演説中で蘇聯邦が特に力點をおく點だと述べてゐる點でも明かである併し官債問題と云ひ救濟問題といひ共に他の外國等の復交々渉における先例もあることでもあり米蘇兩國ともその國内的國際的考慮から熱心に復交を希望してゐるもので今回の交渉は案外すら〳〵と運ぶだらうといふのが一般の豫測である

(寫眞上ル氏下リ氏)

日米果して對立か "新段階に於ける太平洋の矛盾"

ソ聯政府機關紙論調

満洲事變突發以來支那並に太平洋における日、英、米對立が顯著となり、世界の視聽もこの方面に集まつてゐるが、近く米國と國交を恢復せんとしてゐるソ聯はこの日米對立をどう見てゐるか、最近のソ聯政府機關紙エコノミチエスカヤ・ジズニイは「新段階における太平洋の矛盾」と題して大要次の如く論じてゐる

現在では所謂太平洋問題は主として列強の支那分割に向けられてゐるが、將來は主として英、米及日本の間に太平洋における覇權獲得のため、中南米市場獲得のため、又濠洲、カナダ、中南米市場獲得のための闘争に向けられるに相違ない、この闘争において最も有利な地位を占めてゐる日本は北鮮諸港から南支の汕頭港に至るアジア沿岸全體を自國の艦隊と空軍で支配することが出來る、又朝鮮關東州に海軍根據地を有してゐるから容易に黄海を封鎖することが出來、更に臺灣、南洋方面からは日本は中部支那沿岸、揚子江沿岸諸港の封鎖を實行し得るのみならず、フイリツピンたハワイとグアム島における米國の根據地から中斷し得るに反して、米國はその沿岸根據地が中心的根據地たるハワイ群島から遠く離れて居り、ハワイ群島から日本の沿岸までも極めて長距離であるから戰端が開かれるや電光石火グアム島、フイリツピン及支那沿岸は日本によつて米國から容易に切離されるであらう、かうした事情は満洲、上海兩事變中における米國の對日政策に明らかに反映してゐた、米國は満洲占據と満洲國の承認を拒否したものゝ、當時日本との戰爭準備を完了してゐなかつたそこで示威的にハワイ防禦演習を行ふ理由の下にその大西洋艦隊を太平洋に移した、之に對抗して日本もハワイとフイリツピンの間にその殆んど全艦隊を參加せしめて大規模の建艦並に空軍建設に着手した

之を要するに今の處日本は米國よりも優勢だから米國は自國の海軍力の擴充に努めると共に他國を味方に入れやうと策動し好機を見て攻勢に轉ずるであらう、この時にてゐる、これについて同紙は次の如く豫想してゐる

日米戰爭の際米國に加擔し得る強國は英、佛兩國である、ところが英、米は總ゆる方面において競爭し相對立してゐるさはいふものゝ、日、米戰爭に際して英國が大西洋側から米國の背後を衝くといふ事は極めて困難だ、極東における佛國の役割は取るに足らぬが、歐洲における佛國の政策を米國が支持する代りに極東では米國は佛國の支持を得るかもしれぬ、確實に味方になる國は國民黨治下の支那だけである、されどこの微力な南京政府と組んで米國は日本に宣戰布告し得なかつた

最後に同紙は例によつて左の如き結論を下してゐる

極東の情勢は急轉してゐる、毎日の新聞は太平洋沿岸強國の海軍力及び空軍の擴張、海、空軍の根據地の新設、列強の軍事並に財政的勢力の支那内部への侵入を報道してゐる、これは何れも太平洋を中心とする大戰の前奏曲である

古田司長着任

司法部阿比留乾二氏の後を襲つて總務司長に就任した前大審院(以下判読困難)【寫眞は新京驛着の古田氏】

芽ぐむ親日團體

上海在住の白系露人 今夏來祖國問題を討議

某特務機關に達した情報によれば最近日蘇關係の複雜化に刺戟されたる在上海の白系露人間に親日團體を組織せんとする機運起り、白系露人は日蘇衝突の際は我等白系團體は日本の庇護により生命の安全を保障されたる故、全力を以て日本を後援せよと主張し七月末以來數回に亘り内外諸問題を討議し……的野心なき日本とともに共産下に呻吟する良民を救ひ出す準備なりとて着々その準備を進めてゐる

社員會行動漸く活潑

軍部の年内實現案駈足行進 満鐵改組案見通し

日本政界の最大の問題と化した満鐵改造問題は七日夕刊の我社新京特電により軍部は議會を經由せず勅令によつて年内に一擧に改造を斷行する意あることがほゞ明かとなり、問題は俄然緊張を呈し來り、満鐵内部に異常のセンセーションを起した、殊に社員會は本問題を白日下に論議すべきことを主張して來ただけにこの報道に一層緊張し急遽對策を協議してゐる

軍部の最初の方針では本問題を法律案として議會および樞密院にかける筈であつたやうで、そのために今春來ひそかに準備し、中央軍部の諒解を受けるために九月下旬に沼田中佐が上京したものである、しかるに案の

内容が 沼田中佐の談により世上に明かとなり、社員會が蹶起し、更に内地政界においても反對論が相當喧しきものあるを思はしめるに至つたので、急遽方針を變更して勅令によることに決したものと推測されてゐる、しかしかゝる問題を國民の輿論を反映する議會にかけずして一擧に勅令で斷行することの可否に關する政治的批判は第二として、法律的純理的に勅令による滿鐵改造が可能なりや否やが問題となるべく社員會でもまづこの方面より内地輿論に愬へることゝなる模樣である

軍部が勅令による滿鐵改造が可能なりとする議論は、滿鐵の設立が勅令により(明治三九、六、七、勅令第一四二號)その後も滿鐵に關するものは全部勅令で行つてゐるので今度満洲産業開發會社と改稱し業務の

改造を なすも勅令によつて妨げず、といふにあるらしい、しかし滿鐵のごとき特殊會社は東拓、鮮銀その他いづれの會社も特殊の法律案として議會を經由してゐるのに、滿鐵だけが例外的に勅令によつて來たことは深い原因があり、歴史的にも理論的にもより深い考察を要するとは勅令不合法論者の反對意見である

卽ちこの論者の主張によれば、滿鐵が勅令によつて簡單に設立されたのは明治三十三年九月十五日公布の法律八七號「外國に於て鐵道を敷設する帝國會社に關する件」なる法律がありその條文は

帝國臣民にして外國に於いて鐵道を敷設し運輸業を營まむ爲に帝國内に於て設立する會社に付いては勅令を以つて特別の規定を設け之に準據せしむることを得

と明記してゐる、この法律が出來たのは日清戰役後日本人が初めて外國たる京城釜山間に鐵道を敷設せんとした際、これを取締るべき法規が存在しなかつたのでこの

法律を 設けたもので固よりその後に南滿洲鐵道株式會社の如き地方行政まで行ふ如き大會社の出來ることは豫想しなかつたわけである、しかるに日露戰役後、日本が

……に當り成るべく簡單且つ迅速に會社を成立せしめんとして法律案によらざる便法を考へ、こゝに死法のごとき明治三十三年の法律第八七號に着眼して滿鐵を「運輸業」を營む會社と限定しこゝに該法の規定に從ひ勅令によつて一擧に滿鐵の設立を行つたのである、故に勅令第一四二號「南滿洲鐵道株式會社に關する件」の第一條においては

第一條　政府は南滿洲鐵道株式會社を設立せしめ滿洲地方において鐵道運輸業を營ましむ

と明記して滿鐵が「鐵道運輸業」を營むものなることを

明記し その他の炭礦、水運、電氣、倉庫、地方行政等は「鐵道の附帶事業」として滿鐵はあくまで鐵道運輸業を營むものな

りとして押して來たのである、故に今次の特務部案による滿洲産業開發會社(ホールデング・カンパニー)が依然として鐵道運輸業を營むものならば前記法律第八七號の範圍に屬するので勅令によつて斷行し得るわけだが産業開拓會社は完全な特殊會社で鐵道運輸實社でなくこの方の業務は新に産業別子會社として設立さるべき滿洲鐵道株式會社が行ふものであるから法律第八七號を援用するのは全然違法であると主張してゐる、軍部においても勿論かゝる法律的關係は十分調査してゐるだらうから勅令斷行の法理上無理なことは知悉してゐる筈だが、なほこの傳家の

寶刀を 振りかざすに至つたことは或は現時の滿洲を緊急非常時と見て緊急勅令によつて斷行せんとする肚裡にあらずやとの觀測も一部に行はれてゐる、

とにかく勅令によるにせよ緊急勅令によるにせよ、軍部がこの非常の手段に出でんとしつゝあるとは軍の決意の尋常ならざるものあるを示すものであり、一方社員會側でも冷靜な法理論と國民の輿論に問へとの建前により活潑に動き出さんとして居り日本の輿論や政界もこれを取上げて問題にせんとする兆もあるので今後の推移は重大なるものあるを思はしめてゐる

おびえる財界

政治人は前途を憂慮

【東京特電七日發】滿鐵改革案に對する財界方面の空氣は滿鐵株の下落及び社債賣行の不良に反映してゐる、株主方面は一般に滿鐵重役が所謂軍部案なるものにその儘贊同せる事を會社本來の性質から見て越權なりと非難してゐる者もあるが、いづれも此の案が中央の問題となる場合拓務省が阻止し得ないとしても大藏省その他によつて適當な改正を加へられるであらうと期待してゐる、然らざる限りさらでも萎縮勝ちな内地資本家は安んじて滿洲に進出し得ない事となり、滿洲開發のために憂慮すべきであると稱してゐる

【東京特電七日發】滿鐵改組問題の經緯を知つて居る政府及び民間側有力者は此の問題を單なる滿鐵のみのものと觀ず、この案を提唱する關東軍及び軍部内の少壯將校の眞意圖にすこぶる重大なものがある事を感じてゐる、殊に關東軍司令官の權限擴大により關東軍を内地の官憲及び監督權より獨立的地位に置き、これによつて一切の對滿政策を遂行するといふ事は我國の政治機構の根本的改革を示唆するものであつて、これが實現すれば次に來るものは日本の内部の問題であるとし、多大の憂慮を抱いてゐる

滿鐵改組軍部案 "承認"は誤傳だ

八田副總裁歸連談

新京にあつて關東軍當局と滿鐵改組問題に關し打合せ中であつた滿鐵八田副總裁は杉本秘書役を伴ひ八日午後四時四十分大連着列車で歸連したが金州まで出迎への記者團に冒頭から「出發前に話をした通りで問題は何等進展してゐないがないではないか」と語り記者團の質問には要點に觸れることは避けて居た

……私が軍部改組案を承認したなんてことはあり得ない、事實新京で小磯參謀長と約二時間しか會つてゐないものがそこまで話の進めやう

出淵駐米大使

本月末華府出發歸國

【ワシントン六日發國通】今月末ワシントン出發歸國の途につく駐米大使出淵勝次氏は六日國務省にハル長官を訪問し訣別挨拶を述べた

出淵大使の出發は今月末であるが長官が明日からリトヴイノフ氏との米ソ國交恢復交渉で忙がしくなる筈であり、更に十一日にはモンテビデオにおける汎米會議に臨むため出發するのでかく早目に挨拶に出かけた譯である

尚出淵大使は八日ニユーヨークに赴き在留邦人實業家と二日に亘つて協議を遂げ堀内總領事以下と會談、十一月二十四日家族同伴華府出發、サンフランシスコに向ひ、同地で太平洋岸各地の總領事、領事とも會見の上、三十日出帆の淺間丸で横濱に向ふ豫定である

撫寧城の殘匪を國境で爆滅

わが空軍"熱河"を護る

【錦州特電八日發】錦州にある我が空軍は七日長城を越えて界嶺口から熱河省内に遁入せんとした撫寧匪に大爆撃を加へたが更に坂本青砥の兩部隊は長城方面に散在する撫寧城の殘匪を掃蕩中

緝私隊員戰死す

安東下流に小賊出現

【安東電話】八日拂曉安東下流掛纜溝緝私局を約六十名の匪賊が襲撃し緝私隊は直に應戰擊退したがその際隊員福島平七氏は戰死した

開灤炭坑

不振で作業短縮

【天津八日發國通】本年五月の關税引上げ以來一時日本炭を壓倒して活況を呈してゐた開灤炭はその後製造上の不振と上海方面の尨大なストックのため打撃を受け今次の需要期に入つても依然として業態不振のため開灤礦務局當局はさきに一週間の作業を五日間に短縮したが更にこのたび一週三日の作業短縮を斷行した、これがため工人側では大恐慌を來し保障方を要求の模様である

小包檢查所

安東に設置

【安東電話】安東税關の小包檢査所設置打合せのため福本大連税關長は藤井遞信局長と共に八日朝旅客機で來安中村安東郵便局長と協議を遂げたがその結果小包檢査所新築までの應急便法として臨時檢査所を設け急速に安東の小包課税の完全を計り大連郵商人の苦痛を除くことになる模様である

社説

滿支露に跨る蒙古民族

蒙古民族は滿洲國興安省から熱河省の一部に住し、支那にありては察哈爾、綏遠、寧夏の三省を其の鄕土と爲す。其他庫倫を中心とする外蒙一帶の地域はソウエートロシヤに屬して聯邦の一となつてゐる。尚一部の蒙人は新疆省、青海、西藏にも散在してゐる。居住地域の割合には人口多からず、全部にて二百萬と云ひ又は三百萬と稱せられる。但し既に漢人化し、西藏化し、印度化したるものを合すれば五百萬人に達するであらう。此の民族は漢人に比すれば現在の文化は劣等であるけれども、必ずしも低能民族でないことは歴史によりて證し得る。併し清朝時代に極度の壓迫を被りたる爲、文化發達の機を得なかつたのであるが、將來内外蒙古に據りて、滿支露三國の關係に相當重要な地位を占むべき民族である。

◇

此の民族は曾て華やかな歴史を有したこともあり、目下他民族の羈絆を受くるを快とせず、民族自決の思想は何處よりとも無く浸潤して來た。曾て東部内蒙古の一部には、日本の援助を得て清朝の羈絆を脱せんと謀るものもあつたが、滿洲國の獨立によりて自然支那から離るゝを得た。滿洲國の元首は以前の清朝の皇帝であり、多數の人民は同じく漢人であるけれども、國家は王道を立國の精神となし、民族協和を聲明せるのみならず日本の援助を得てゐるのであるから、彼等は喜んで滿洲國の主權に服した。且つ興安省の設置によりて殆んど自治に近い省政を布かれたのであるから、此の地域に在る蒙族の得意思ふ可きである。之れを見て熱河省内の十四蒙旗の蒙人は自治を與へられんことを望んでゐる。支那でよく流行する省人治省の思想を汲んで、蒙人治蒙の思想が流れてゐるのである。併し其の人口四十萬に對し熱河省には別に二百萬の漢人が居る。此間にありて、民族協和の政治を、機構的に並に精神的に建設し指導してやることは、日本人の重要な任務であらねばならぬ。

◇

蒙古人の民族自決思想につけ込んで、外蒙古には曾てソウエートロシヤが入り込み、遂に全然赤化し去り、ソウエート聯邦の一に組み入れた。外蒙が實際は兎も角、獨立の形を取り、民族自決の形式になつたことは、察哈爾、綏遠等の蒙族を刺戟してゐたが、滿洲國の成立により東部内蒙古が自由を得たのを見て、察哈爾、綏遠、寧夏三省の蒙族が更に動き出した。これが、錫林郭勒盟副盟長德王を首班とし、白雲梯を參謀と爲す三省所屬の蒙族獨立運動である。十月上旬に綏遠省百靈廟に内蒙古王公會議が開かれた。各王公間の聯絡十分ならずして何等の決議もなかつたけれども、その空氣の動く所は察するに難からぬ。

◇

而して南京政府も此等の空氣を等閑視すべからずとして、班禪喇嘛や章嘉活佛を特派して宣撫せしめた。八十萬元の運動費を與へたとか、武器や無線電信の機械を班禪喇嘛に與へたとかの消息があつた。最近には内政部長黄紹雄氏を特派して視察せしめてゐる。而して德王等の要求せる可なり高度の自治權を許すことに決心したやうである。恐らく、之れを許さないと、三省聯合獨立となり滿洲國の二の舞を演ずべきを恐れたものと思はれる。德王は今年三十二歳、新知識に富み、三省獨立の抱負を抱いてゐる。南京政府の與へる自治が如何の程度のものであるかは不明であつて、又實際にどこまで成功するかは豫斷し得ない。併しながら此機に乘じて、ソウエートロシヤが手を差し伸べて、此の一帶の地域を外蒙古の如くになさんと試みるであらうことは豫想される。倘別に、滿洲國内の蒙古族、支那國内の蒙古族、外蒙古の同族が結合して、獨立國を作らんとする氣勢もないではない。此の運動の中心としては吳鶴齡（蒙古豪族で北京大學政治科出身）を首領と爲す全蒙族大同團結の一派がある。兎も角も、此等蒙族の動きは滿洲國にとりて對岸の火災ではない。

銀行法けふ公布さる
外國銀行關係部令も同時に
八日參議府會議可決

【新京電話】豫て財政部で立案中であつた銀行法は八日參議府會議を通過し銀行法、施行細則及び外國銀行に關する財政部令と共に十一月九日附を以て公布せられることになつた從來滿洲國内における銀行業は未だその發達十分でなく且つ舊政權時代では一般銀行業の取締り監督に關し何等の施設がなかつた爲め銀行の組織業務の内容は極めて區々に亘り居りこれらに對し俄かに嚴重なる取締り法令を以て臨むことは既存機關の活動を衰微せしめ却つて金融の圓滑を害する惧れあり

新銀行法では特にこの點に留意し滿洲國の實情に即した取締りを行ひよつて民間銀行を指導してその發達を助成するを旨としてゐる、尚新銀行法の規定を受けるものは現在約百六十一あつて甲、銀行と名の付くものは七十一その他は貯蓄會社或は錢鈔などである

滿洲における主なる銀行は殆んど外國銀行であるがこれらに對しては特に預金者保護の立場から財政部總長は必要と認めた金額の供託を命ずることを得ることゝなる筈である

石田侍從武官十七日新京着

【新京八日發國通】畏き邊りでは今回侍從武官石田中佐を關東軍に遣はされ、聖旨を傳達將兵一同に御下賜品を賜はる趣き同侍從武官は十七日新京着爾後奉天、濟南子、錦州、承德、ハルビン、チチハル、洮南、大連、旅順、安東にある部隊を親く巡視の筈

黑河に特派員
對ソ聯外交事務管掌

【チチハル八日發國通】從來黑河は對蘇聯關係の重要地點であるので清朝時代より引續き同地には黑河道尹を置き對露外交關係及び黑龍江沿岸各縣の行政を統轄してゐたが滿洲國成立後も本年十月迄黑河特別市警備處として馮惟德氏が全責任を帶びてゐたが地方行政の統一の見地から右警備處を廢し瑷琿縣公署を黑河に移し普通行政地域としたものであるが其後對蘇聯關係益々緊迫すると共に赤軍の越境掠奪事件等相續きて起り事態益々複雜化するに伴ひ黑河の重要性は再び各方面に於て認められるに至つた結果最近にては

一、外交部より特派員を派遣し對蘇聯外交關係を管掌せしむる
二、昔の道尹衙門制又は現在の興安省に於ける分署制の機關を設置し黑龍江沿岸一帶の外交地方行政及び治安警備を總攬する

の二案が論ぜられるに至り既に某方面からは中央にも提議されてゐるが中央でも既に同意を表し取敢ず第一案に依り外交部特派員が近く設置される方針に決定した模樣である

京圖線の〝乘心地〟
危險感など滅相な——
鐵道省小原貨物課長の談

【奉天電話】去る三十一日より京城に開かれた内鮮滿連絡會議に列席した鐵道省貨物課長小原英一氏は七日より來奉瀋陽館に入り語る

一、會議を了へて京圖線を視察して來たが内地では京圖線はとても危險で乘れないと聞いてゐたが、來て見てその認識不足に恥ぢてゐる、全く豫想外の發展振りに驚いた、新興の意氣に燃えてゐることが痛感して嬉しい

一、北鮮の三港と大連港の關係はデリケートな問題であらうから

〝銃後〟の乙女心
第一線將士へ贈る慰問狀

新京高等女學校にては全生徒が北滿の第一線に働く將士へ慰問の手紙を出す可く放課後裁縫室に集まつて手紙を書くものマスコットやシチリの手藝品を造るので懸命だこの乙女心をこめた手紙が將士の手に渡つた時の嬉しさは！（寫眞は慰問品を造る生徒達）

雄羅隧道を語る
北鮮終端港修築の先驅
雄羅線工事の現況（中）
——羅津にて——　一記者

雄基、羅津間の交通は、現在館灘嶺の鞍部をパッスして約四里ほどだが、羅津灣から眺めると、この館灘嶺の左寄り、即ち北西に連亘する山嶺のうちに一番高く一番嶮しく、頂上は黝ずんだ岩が劍のやうに亂立して、ちよつと朝鮮の金剛山を想はせる一峰嶺を認める。これが寛谷嶺で標高約五二〇米。この山の頂から氣持ち東寄りの肩を垂直下する地心、そこを貫通するのが即ち雄羅ズキダウである。若し山の名に因むならば、寛谷トンネルと呼んで差支ない。

◇

雄羅隧道はこのズキダウ内の一點を取つて工區を二つに分け、雄基口を第一、羅津口を第二として基口を第一、羅津口を第二として瀧澤技師を總監督とする堀内、小林氏等の監督下に鋭意工事を進めてゐる。左表に依つて工事の種別、數量其他がはつきりするであらう。

	（第一工區）	（第二工區）
全延長	一K三二M	一K二三M
隧道	一K七〇M	一K四M
請負額	一二五萬圓	一〇五萬圓
請負者	西松組	鐵道工業
現場者	田本辰次郎	中島彦作
工區主任	中村	河合
同代理	林	宮

◇

この隧道は今や南北の兩口から盛んに掘り進められ、羅津口の方は十月二十七日現在に於て五三六米八まで進んでゐる。そして貫通の豫定は十年の一月十日頃であるから、今日よりなほ十四ケ月を要し、それより六ケ月を以て全線竣成に漕ぎつけるのである。素人の説明は甚だ危なつかしいものだが、極く簡單に工事の現況を陳べるとしよう。

隧道工事、即ちトンネルの掘り方は大體五段に分けられる。第一は先づ「導坑」といふ穴を明けるのだ。鑿孔機を以て二十五本乃至三十八本の孔を、要領できめられた方向と深さにあけ、それに一々導火線の附いた雷管を装填する。之に從事する人員は九人乃至十人で、點火と同時に約二〇〇米ほど坑内を後退すると、轟然爆破されて坑内は萬雷の如き轟音と濛々たる硝煙に罩められる、此の煙を壓搾機で外界の空氣と轉換し、それから碎石機（マイヤー・ホエレー・ショベリング・マシン）を使つて爆破された石屑を掃き清めたやうに積取つて坑口へ搬出せしめる。この一回の作業に要する時間が約五時間、作業成績は幅四米、高さ三米、深さ一米乃至一米八、これを一日に二回乃至三回繰りかへして大體四米平均の深さを毎日掘り進んでゐる

◇

次に第二の方法として「中背」といつて、導坑の眞上に新らしく一つの穴をあける。掘り方は第一の場合と同樣で、つまり導坑擴大作業になるのである。更に第三に「頂設導坑」といふものを中背の眞上に前同樣の方法で掘つて、以上三つを一つの坑に開通せしめる。進んで第四にはコンクリートを以て頂邊の「丸壁」を造り、第五に「土平」と呼ばるゝ側壁作業を同じくコンクリートで固める。なほこの外に下水道を造ることによつて坑道を完成するのであるが、現に羅津口坑内で使つてゐる機械は四基、マイヤーホエレーのショベリング六基が主なるものである。就中後者は一臺の價七萬圓といはれ、爆破された石屑、即ち岩片や粉末狀をガクッと掬ひ取つて機上に入れつゝ、後方の搬出車に流し込む手際は正に人間の出來ない藝當だ。人間が掛け聲勇ましく六七時間かゝる所を四五十分で片づけるのである。この機械は大正三年初めて熱海で使つたが、其後丹那口工場で新たに三臺製作、更に日鐵社から二臺入れて現に合計六臺が鮮かな作業振を見せてゐる。（寫眞は坑内掘鑿作業の怪漢マイヤー・ホエレー・ショベリング・マシン（作積機）の偉容）

一ケ月中に離鄕一萬
不正入國頻々

【新京電話】最近ソ聯人の不正入國者頓に增加しつゝあるに鑑み國境警備當局に於て調査せるところソ聯は國家強化の基礎確立のため身體強健にして共産主義を遵奉し國家に忠誠を誓ふ者に限り居住及び旅行し且つ必要なる食糧の供與を得る證明を支給し然らざる者即ちソ聯に忠實なりさ

北鐵管理局改組
委員會を設け研究

【ハルビン特電八日發】北鐵管理局の改組問題は再三理事會にかけて討議したが一致點を見出すに至らなかつたので、委員會により更に研究することゝなつた、委員會は來週から開始されるが、兩國幹事を委員とし速記その他の記錄を取らず、相互の腹藏なき意見を交換するさ

特務機關長異動

【新京八日發國通】今回土肥原特務機關長就任に依り左の如く異動が行はれる事となつた

任承德特務機關長　松室大佐
任齊々哈爾特務機關長　嵯峨中佐
任山海關特務機關長　二階堂大佐

白系露人への〝革命記念日〟
祝賀とは反對の追悼會

【チチハル八日發國通】當地に於けるソ聯革命記念日はソ聯領事館内で開催されたが一方昨日午後七時より白系ロシア人卅餘名はロシア人小學校に集合し千九百十七年の本日は我々同志百四十萬人が赤系ロシアに虐殺された日であると悲憤慷慨裡にその追悼會を行つた

人事行政刷新
永井廳長英斷

【チチハル八日發國通】永井總務廳長が當地に着任以來種々取り沙汰されてゐた人事行政の刷新に努力し縣に各科長、縣參事官の異動を行つたが本日更に委任官以下三十餘名に對し一齊に馘首を申渡し大センセイションを起してゐる

運賃計算は果して曖昧か
鐵道研究生

投書歡迎　五十行以内すること

◇先日「運賃計算の怪」として「不思議生氏」は本欄に鋭いメスを揮つて流石の大滿鐵をして顏色なからしめたらうの感があつたが遺憾ながら餘りにも自家流計算でそれを明示されたる運賃と比較し勝手に「不思議々々々」といつてゐるのだ。

◇折角一等一粁につき四錢四厘とまで調査したのなら滿鐵の運賃計算方も少々注意したらどうだらう、流石は滿鐵、貴下のやうにいきなり實粁に營業粁程を乘じ理由もなく切捨、切上はしてゐない。

◇貴下のいはれるのは大連、奉天、新京各區間の一等普通旅客運賃のことだから滿鐵の確固たる運賃計算基礎を示し貴下の計算されたる運賃と比較して算出して見よう。

◇普通旅客運賃の計算方は次によるのだ

一、旅客運賃を計算する場合における粁未滿の端數は一粁に切上ぐ（規則第四條）

二、普通旅客運賃は既定の賃率に旅客の發着區間粁程を乘じたるものとす

普通旅客運賃の計算は五錢を單位とし

（イ）二錢五厘未滿を切捨て（ロ）二錢五厘以上七錢五厘未滿を五錢に（ハ）七錢五厘以上を十錢とす（規則第四十條）

◇故に一等一粁に付四錢四厘だから先づ

A、新京奉天間は三百四粁八（一）により三百五粁、運賃は十三圓四十二錢、さあここだ、これに（二）の（イ）を適用するのだ故に二錢を切捨て、十三圓四十錢となる、貴下のは十三圓四十一錢一厘二毛となつたのを、一錢一厘二毛と考へて切捨てたか

B、奉天大連間は三百九十六粁六（一）により三百九十七粁運賃は十七圓四十六錢八厘、こんどは（二）の（ロ）により一錢八厘を切捨て、十七圓四十五錢、貴下は十七圓四十五錢四毛と算出し四毛を切捨て辛うじて十七圓四十五錢とした

C、新京大連間七百一粁四例により七百二粁となり運賃は三十圓八十八錢八厘最後の（二）の（ハ）を用ひ三十圓九十錢とした

◇貴下は三十圓八十六錢一厘一毛となつて此奴を切上げて三十圓九十錢とは怪しからんと考へた

◇倘例を出さずとも不思議生氏曖明なる貴下は之だけですでに滿鐵の運賃計算方は決して曖昧でも無意味でもない實に合理的の堂々たるものであることをさとつたこと、思ふ。

◇成程たまく大連、新京間直通運賃が高い旅客に少々不利であるが、しかし鐵道は公器だ、公衆のためのものだ、滿鐵の運賃計算が右のごとく或る箇所は高くなつてきても他の方面にては安くなつてゐて總體的に決して公衆には損害をかけてゐないのだ平等だ。

◇終りに貴下のかゝることに疑問をもち熱心に研究されたることに深甚なる敬意を表す。

徹底的な意見は出せないが、今の京圖線並びに國線の運賃率を以つてしては到底これ等三港の發展は認められない、從つて羅津に廣大な費用を投じてそれを單に軍事的なものとして置くのは、平時において餘り不經濟であるからこの點國線の方でも大いに考慮し、滿洲國を産業的に或る區分をなしその間等かの統制を行ふ必要も生ずるのではなからうか、勿論その區分のため新線の敷設は大に行はればならぬだらう

一、滿鐵が内地と同じやうに遠距離遞減法による運賃率を採用してゐるに反し、國線は遠距離比例法をとつてゐるのは至急改めねばならぬだらう、鐵路總局は技術と事務兩方面において優れた指導者を得るため鐵道省と現に交渉中であるが、初めは内地でも希望者が多かつたが、滿鐵が内地より來た者と滿鐵で育てた者との間に種々な點でうまく行かないことがあり、漸次氣乘薄になりつゝあるのは殘念なことである、從つて伊澤次長は今内地で募集に非常に苦心してゐる樣子である、内地人の關心は日滿の融和程度の眞相を知りたがつてゐるやうである

退去する外なからしめる制令を發布し、これを都市から漸次地方に施行しつゝあるため祖先傳來の家を追はれ一片のパンを得る能はずして荒野に餓死する者數知れず政府當局の制令を恨んで自殺するものも少くなく滿洲國への不正入國も又その一つの現はれと見られてゐる

信ずべき筋への推算に依れば遠くシベリア國境接壤地帶及び沿海州一帶において右の政策實施により本年内に放逐される人民は數十萬に及ぶべく十月中チタを通過し西又は東に放逐されたもの、みにても二萬以上といふ

官舍增營決定

【新京電話】滿洲國政府では曩に新發屯に有料官舍を建設し新京の住宅難に資する所あつたが、なほ官吏の住宅難を緩和するために杏花村に敷地を選定し明春起工九月竣工の豫定で官舍增營を圖る筈である、なほ目下各部に對し希望者を募集中である

大藏公望男

【新京電話】目下來京中の貴族院議員大藏公望男は八日午後四時半より新京高女講堂に於て第六十四議會とその後の政情と題し講演する所あつた

歐米諸國の帝國主義はアジアを侵略すべくあらゆる方法を以て暗躍しつゝあり▲これ、廣東大亞細亞協會から警口朝鮮民會にあて、來た檄文中の文句▲だから東方民族は一致協力して相互扶助せねばならぬといふのだ、歐米のアジア侵略に夜も日も足らざるは今に始まつたことではない▲黄郛氏の政權は漸次鞏固を加へつゝあり、羅文幹氏のソウエートロシアとの不侵略條約締結はデマだらうと、有吉公使の談▲ソウエートロシア、日機浦鹽に飛ぶと錯覺し、滿洲人を虐殺し、人民委員會議長は不意の重大攻撃に常備する必要ありと公言す▲我鬪に怖る、臆病男の姿そのまゝ▲白系露人は疑心暗鬼の諺そのまゝ、▲白系露人に肥付す▲内容は何ぞといへば、滿洲國にはドッサリ食糧があるぞ▲成る程、食糧のない國があるぞ▲成る程、宗教のない國の人は羨ましがるに相違ない▲ソ政府の痛いところを正に突かれるもの、頭痛に病むも無理ならず。

次に來るもの魂の問題
筑紫參議視察談

【奉天電話】國務院參議筑紫熊七氏は八日はさて新京に歸還したが特別に話すことはない、熱河には承德から赤峰その他飛行機と自動車で行ける處を視察し奉天省の樣子も魂たといふ程度で意見を聞くだけでこちらから意見を述べる材料はない、併し熱河も奉天省もともに形は整つたのであるが、如何に魂を入れるかといふ問題である、形式は何さでもできるがその魂が日滿兩國民にしつかり結び付くやうにお互に力めなければならん奉天省の如きは立派に整備して來た

市況（八日）

株式
東新弱保合
當市區々

東新後場弱保合を入れたが當市は五品二十錢安、新豆十錢高、東新六十錢安、錢鈔一圓六十錢高、滿鐵二十錢高と區々に止めた

後場

銘柄	當限	先限
五品	[illegible]	[illegible]
新豆	[illegible]	[illegible]
東新	[illegible]	[illegible]
錢鈔	[illegible]	[illegible]
滿鐵新	[illegible]	[illegible]
滿鐵二	[illegible]	[illegible]

特産
邦商の買に豆粕強保合

後場大豆は邦商の仕手買漁りに區々保合を入れ豆粕は邦商の買に強保合を示し豆油は買氣薄に軟弱、高粱は閑散保合を辿つた

◇定期後場

▲大豆（區々保合）單位厘　[illegible]
▲豆粕（強保合）單位厘　[illegible]
▲豆油（弱含）單位錢　[illegible]
▲高粱（保合）單位厘　[illegible]

◇現物後場（銀建）　[illegible]

錢鈔
材料無く鈔票釘打

錢鈔後場は爲替標金共に休にて材料入らず當市閑散裡に保合ふ

◇定期後場（單位圓）　[illegible]
◇現物後場（單位錢）　[illegible]

商品
麻袋保合　綿糸 [illegible]

大阪三品後場各限強を入れ當市も小商内あり麻袋は續けて保合

[illegible]

奥地市況

▲奉天事變金票　[illegible]
▲哈爾濱大豆　[illegible]
▲安東鈔金票　[illegible]

市場電報

神戸特産
大豆現物／豆粕現物／豆粕先物／滿洲小麥／豆油現物　[illegible]

東京株式（長期）
東株／東新／五品／中新／先豆／中豆 [illegible]

大阪期米
神戸期米
東京期米
大阪綿糸
横濱生糸

[illegible]

家庭

芽出度い七五三のお祝ひ
孃ちやま方の御宮詣の盛裝
お祝ひ氣分にふさはしい 華やかな振袖姿

芽出度い七五三のお祝ひも間近です。坊ちやま方は近年は大抵洋服でおすましになるやうですが孃ちやま方には矢張り友禪の華やかな振袖姿の方がお祝の氣分にふさはしいやうです、で七五三の可愛い孃ちやま方のお宮詣りのお仕度について遼東ホテル美容院主磯口逸子さんのお話をきゝませう。

三つのお子には可哀さうですから四寸巾の帶で可愛く菊結びにでもしたら如何でせう、これに緋鹿の子の帶揚を大きく見せ、紅白か赤の丸ぐけを眞中に締めて紅か淡紅のこしさげをさげますさしても可愛らしい姿になります、但し帶揚帶じめ、腰下げさも普通のものでは長すぎますからなるべく短いのを選んで下さい。●草履は錦か紅白の重ね草履にしておぐしに七五三用の

紅白の飾りリボンをおさめになつたら一層お芽出度い氣分が出ませう。小さいお子ですさ落したりして却て厄介でせうが七歳のお子でしたらハコセコや末廣もお揃へになつたがよいさ思ひます（寫眞は七五三の振袖姿、遼東ホテル美容院扱）

お振袖の盛裝ですから孃ちやま方でも一通りのメーキヤップは是非欲しいと思ひます、おぐしはオカツパさんでせうからよく鋏を入れるなり

剃刀を當てるなりしてぢぢむさくない樣にちよつさオカツパの先をカールしても可愛いでせう。お顔や手足をよく洗ふさ同時に爪も短く切つて氣味のわるい爪垢などのないやう致しませう。お化粧は襟からお顔にかけて下地にドーランをよく擦りこみます、襟は特に白粉を濃くしますからドーランも幾分多量に使ひます。下地が出來たら水白粉をうすくさいて筆刷毛でむらにならぬやうに二三回塗りますさ容易に白粉がはげません、孃ちやんですから

花嫁のやうに眞白に塗上げては可愛氣がなくなります、白粉も頬紅も口紅もあまりお人形化さない程度がよろしいでせう、着物は上から何も着ないのですから

可愛いゝお宮詣での盛裝

あまり薄着させて風邪でも引かせては大變です、さいつて下着があまりブク／＼してゐては可笑しな恰好になつてしまひます。下着をつけ足袋をはかせ、長襦袢をキチンと着せて上着と長襦袢の衿をよく揃へ幾分拔き加減に衣紋を作ると見榮えがします。帶は七歳と五歳は六寸巾ので重ね扇か

揚葉に大きく結びますが

家庭講座（下）
牛乳の話
帝國料理學會々長　勝見新太郎

結核には牛乳

問●　牛乳は赤ん坊さ同じ位大人にも効果がありますか？

答●　牛乳は赤ん坊にさつて替へ難い唯一の食物であるさ云ふ點で絶對的な効果價値があります、大人にさつても勿論食物さして完全な成分を含んでゐる點で他の食物に匹敵するものがありませんが赤ん坊ほど必要ではありません。

問●　乳が大人にも良い場合はどういふ場合ですか。

答●　先づ普通の病氣の場合について云へば消化不良の時など特にさうですが結核病に罹つた人には食物の主なる部分に乳を用ひなければ治療するのに困難です乳の中にある鑛物質のみがこの働きを仕遂げ得るからです。

消化がいゝ

問●　食物のうちで消化率が惡いものもありますが牛乳の消化率はどうですか。

答●　牛乳は食物のうちで最も消化し易い食物です、先づ三種の穀物さ比べて見ませう。

食物	體内に殘る蛋白質割合
玉蜀黍	二割
小麥	二割三分
碾いた燕麥	二割六分
牛乳	六割

以上のやうなわけで牛乳は非常に消化され易く體内に殘る榮養素が他の食物のうちでも非常に率が高いのです、なにしろ牛乳はその性質上最も消化し易く體内に吸收され易い液體であるところに食物さしてその成分のいろいろが極めて平均して含まれてゐるのです。

問●　牛乳の食べる方法は飲むだけですか。

答●　否、飲用する外にお菓子に使つたり料理に使つたりします。（完）

卓上日誌

▲學藝會　大連松林小學校では十日午後一時から國民精神作興詔書渙發記念のため學藝會を開催します

強風　前島いづみ

三たり行く學びや道の朝々に　音つのり吹く黄塵の風

朝光の俄か暗みて吹きすさぶ　空ごよむ風町のひそけさ

強風に木々の大方冬枯れて　殘るわくら葉うち顫へつゝ

晩秋の風の間に／＼散にけむ　朽ち葉のまろぶ音を聞くかな

日本棋院秋季大手合戰譜　第三回

先番　初段　藤澤庫之助
互先　初段　塚越常康

【5】

黒	白
●一一一カ八	○一一二ヨ九
●一一三ホ三	○一一四ホ九
●一一五ニ十	○一一六ホ十一
●一一七ニ八	○一一八ヘ十二
●一一九ソ九	○一二〇ソ八
●一二一ソ十四	○一二二ソ十五
●一二三ヨ十一	○一二四ロ八
●一二五ロ七	○一二六チ十八
●一二七ル十七	○一二八カ十八
●一二九ハ十四	○一三〇ロ十四
●一三一ヘ十一	○一三二ホ十
●一三三ホ十二	○一三四ニ十一
●一三五ヘ十三	○一三六リ十九
●一三七ル十九	○一三八ル十八
●一三九ヌ十八	○一四〇ヌ十九
●一四一チ十九	○一四二チ十九
●一四三リ十八	○一四四タ十二
●一四五レ十二	○一四六タ十一
●一四七レ十一	○一四八レ十四
●一四九タ十	○一五〇チ十五
●一七九ツグ	

所要時間累計（黒　四時五十二分／白　五時七分）（制限時間各六時間）

對局者のことば

黒　百十一さ白百十二さの交換は左邊九、十一の二子の方へ影響するので出來るならば打ちたくない所ですが、どうもこの交換がないさ三十七さ九十九さの間の不安がいつまでも消えません

黒　百十三はこゝを確かにしておいて中央の白の大石を脅すつもりでしたが白百十四、百十六さシノがれるこさをうつかりしてゐました

白　百二十六、百二十八を打つ手順にまはつたので相當こまかい棋のやうには思つてゐましたが

黒　百三十五までのウチヌキは五十九さの間を守る意味においてもまた味のよい點においてもこの際のがせません

白　百四十八に石が來てゐないさ黒（カ十六）を利かせられる工合から中腹の石、四十八以下の連絡に味の惡いこさがあります

戰の跡

◇黒百十三は白へ五の味に備へたのであらうが、大勢が惡くないから容るされるやうなものゝ、愼重を缺いた謗りは免れまい

◇白百十四、百十六、百十八はそれにしても巧妙なるシノギであつた、百十四の手で單に百三十二などはシノギにならぬことをたしかめてほしい

◇黒百十七にて百三十四に出で、白（ニ十二）黒百三十二白（ヘ十）黒（ホ八）白（ヘ九）黒百三十一、白百三十三黒（ハ八）さ切斷しても白百十八黒（ト十一）白（ヌ十二）黒（ヌ十一）白（リ十一）……以下によりこゝに一眼が保たれ、これは同時に三六、四十の二子にさへ助かられてしまふ

◇◇黒百二十三も省略できない、黒百三十一に先だち白（ヌ十二）の出が利き黒（ヌ十一）白（ト十一）黒（リ九）さ交換し得れば譜の百三十一以下の手段はもちろん防げるわけだけれど、例へば百二十六の手あたりで（ヌ十二）を出ても黒は受けずに（ワ十八）にハネるであらう

◇白百三十二で（ト十一）をキリ黒（ヘ十）白百三十二ださ、黒百三十三白百三十五黒百三十四さ遮り、次には（ハ十一）からの出ギリがある、この點、黒百二十九に用意がしてあつた

◇黒百三十五までのウチヌキは第一に味が好い

◇白百五十については明日續説しやう

古い毛皮の襟卷
一攫みの鹽の煙で新しくなる
試して御覽なさい

いくら高價なシルバー・フオックスやスワンの襟卷だつても、毛がペシヤンコになつては如何にもみつたれて見えます、でもトランクや簞の中に半年もしまつてあつたらどんな毛皮だつて大がい毛がねてしまつてるでせう、これを

元通りのフックラした毛皮にするには先づ日向に出して充分かわかすこさ、濕氣があつてはどうしたつて毛が立ちつこありません、日光で充分乾かしましたら今度は火鉢か焜爐に炭火を用意します、火がよくおきた所でその上から鹽を一攫みふりかけますさ黄色い煙がパッさあがりますからこの煙を毛皮に當て、ごらんなさい、毛は忽ち電氣にでも觸れたやうに一本、一本ピンさ立つてフク／＼さ氣持のよい毛皮になります但し毛つて燃え易い毛ですから煙にかざす時餘程

注意して火に近づけないやうにしないさチリッさやつてあたら臺なしにしないさは限りません、襟卷位のものでしたら一人ででもうまくやれませうが外套のやうに大きなものになりましたら他の人に手傳つてもらつて少部分づつやつた方が安全です、鹽の煙が出なくなつたら何遍でも鹽をほうり込めばよいのです、たゞ壓されてペシヤンコになつたものならこれで元通りになりますがよごれてゐるのはよごれ（特に脂肪）をおさしてからでないさフックラさなりません、ですから

襟垢などがありましたらキハツ油をガーゼにふくませてすつかりよごれを去つてから煙にかざすのです、よく水で洗つたりする方がありますが水洗ひするさ皮がゴワ／＼になり毛の艶が無くなつて二度さ使へないやうになりますから絶對に水洗ひしてはいけません、煙にかざした後狐でしたら後足を二本一しよに持つてブラ下げ三四回上下に振りますさ一層毛が立つて見事になります、かうしてあまりよごれぬうちに時々キハツ油でよごれを去りよく日光や鹽の煙に當てますさ何時までもよい

色澤を保ち毛皮の生命を遙かに長めます、但しあまりよごれのひどいのは一度すつかりクリーニングする必要があります（寶ドライ商會師岡氏談）

家庭重寶帖

粉炭の用途

これから何處のお家でも必ず生じる炭取りの底に殘る粉炭も亦思ひがけない用途があります。これは非常に吸收力の強い性質がありますので中毒や食當りの時に適量の木炭粉を水にまぜて激しく振り粉をよく溶かして十分位の間おいて飲ませますさ解毒劑さして利きます、又同時に殺菌力がありますから腫物の場合等にもガーゼに包んであてゝおくさ治ります。

家庭顧問

家督を相續したいのだが……

【問】私は長兄でありますが他家の籍に入つて居りましたので弟が戸主になつて居ます、弟は三十年も北米合衆國シヤートル附近で農業を營んで居ります、昨年弟から自分も追々年をとつて來た爲めか故郷が戀しくなつて來たが子供は米國で教育されたものだから郷里へ歸ることを欲しない、自分ばかり歸ることになれば勢ひ子供さ離れて暮さねばならぬ、親さして到底忍びないから自分も内へ歸らないことに決心したからどうか兄上が家名を相續して呉れさいつて來ました、私は早速承認を與へました、そこで知人に相談しました所弟に國籍離脱の手續をさせたら簡單に出來るさいはれましたので弟へその旨申送りましたさころ弟より國籍離脱は第二世なら出來るが第一世は出來ぬさ云つて來ました、何さかよい方法はないでせうか、私には一女二男があつて長女は他へ嫁いで居ります（困つた生）

復籍、國籍離脱 隱居の方法で……

【答】御質問の方法に付ては貴下が他家の籍に入られた事由が判りませぬが、先づ貴下が妻子を伴れて實家に復籍せられ、貴下が弟さんの家族になられた後弟さんの第二世の兄妹全部をして國籍を離脱せしめ、次で弟さんは裁判所の許可を得て隱居をせられるさ共に貴下はその家督相續人たることを承認なさればよいさ思ひます、裁判所が弟さんの隱居を許すや否やは問題ですが弟さんが外國に居住して事實上家政を執ることが出來ないのですから多分許可されるものさ信じます、しかし唯貴下が實家の戸主になるが爲めに貴下の甥姪をして日本國民たる資格を喪失せしむることは眞に殘念である、貴下は單に實家に復籍するに止むるか又は復籍後分家することにせられては如何です（寺島由松）

分家にはどんな手續を？

【問】私の家族は親子五人で主人は戸主の叔父になつてゐますが今度分家をして一家を創立したいさ申してゐます。そして出來るならばその際改姓したいさ思ひますがどういふ手續をしたらよろしいでせうか是非さも御教へ願ひます（大連迷ふ女）

戸主の同意があれば出來ます

【答】分家は戸主の方の同意があればわけなく出來ますが改姓は分家の際にもその他の場合にも絶對に出來ません（小野實雄）

大連　JQAK

十一月九日（木曜日）

▲午前六時卅分　ラヂオ體操第二
▲午前七時　ラヂオ體操第一
▲午前十一時　相場（錢鈔、特産株式、各地相場）
▲正午　時報
▲午後零時五分　相場（錢鈔、特産、株式、各地相場、公設市場値段）ニュース
▲午後三時三十分　相場（錢鈔、特産、株式、各地相場）ニュース
▲午後六時　ニュース
▲職業紹介事項
▲午後六時三十分　漫談「世界漫遊」白籐六郎、佐久間健
▲午後七時（大阪より）人形淨瑠璃（文樂座より中繼）傾城戀飛脚（新口村の段）豐竹駒太夫、竹澤團六外
▲午後八時　地唄「根曳の松」箏　山口巖、三絃菊仲米秋
▲午後八時三十分　時報
▲ニュース
▲氣象通報

本社特選　新棋戰（其七）

平手　先七段△齋藤銀次郎
　　　七段▲溝呂木光治

【圖は九一角迄の局面】齋藤氏持駒桂香歩　溝呂木氏持駒角香歩歩

▲四七飛　△四八香
▲三六龍　△五五馬
▲五七歩　△六五馬
▲五八銀　△七九玉

累計六十五手

土居八段講評

溝呂木君が攻め手懸りを造る意味に五七歩さ、打込んだのは輕策である。其の時齋藤君に於ても、銀を取り敵の五八銀打に對し、七九玉の手順巧妙である。

萩原七段解説

溝呂木氏の四七飛成は、この場合止むを得ない、此處で六四歩なら、四六香さ打たれて五四飛、八一馬で惡い又、六四角は同馬なら同飛で面白い樣だが、敵に矢張り強く四六香さ打たれて、九一角、四四香で次に五一飛打があつて、矢張り惡いので四七飛さ成つたのである。溝呂木氏の五七歩は、五四銀さ引いては三七歩、又は、三七馬さ引かれて面白くないので、五七歩さ打つて三六龍の活用を圖つたのである。齋藤氏の七九玉は、五八同金では三九龍と指されて惡い。

安東の市民負擔額 新義州の三分の一
滿鐵の改組問題と附屬地行政の聯關

【安東】滿鐵組織改造が實現すれば附屬地行政は何處に行く?これが沿線居住者の最大の關心事であるが單に市民の負擔といふ觀點からいへば附屬地が何處に行つたところで大滿鐵に抱かれ哺まれてゐる現在よりよくならうとは一寸想像されない、總督府治下の新義州府と滿鐵行政下の安東附屬地とは鴨綠江の川一筋を挾んで指呼の間に對立してゐるためあらゆる方面によく比較對照されてゐるが、今安東兩市の市民一戶當り負擔額を比較すると新義州は安東の三倍強といふ數字を示してゐる、尤も新義州側の數字は昭和六年度分で安東の今年度分と比較するのは妥當でないが、新義州の本年度各賦稅は六年度と左程變化ないものとされてゐるので比較する、なほ數字は兩市とも內地人の一戶當り負擔額である

安東	二三圓三一〇
新義州	七八、四七三
內譯	
國稅	一一、三八二
地方稅	一一、三五〇
府稅	五五、八四一

右の如く安東市民の負擔額は新義州の三分の一以下で、安東の二十三圓三十一錢は新義州の府稅の內學校組合費の二十二圓三十一錢五厘より僅かに一圓多いに過ぎない

この數字は單に表面の比較に過ぎず

一、安東の一戶當り平均は法人を引ツ括めての數字であるが安東は新義州に比して大きな法人が多く市民全負擔額の三割強は法人が負擔してゐるのであるから普通市民の一戶當り負擔は更に輕いものになる

二、教育、道路、公園、衞生、消防等あらゆる都市設備はすべて安東が新義州より高級で且つ完備してゐること等を考慮すると安東市民の負擔は益々輕いものになる

川一筋でこれだけ違ふのだから新義州の商人で本據を安東に移す者が可なりあるらしい、大津地方委員議長なども

安東市民が近隣の人より公費が多い少いといふのなら兎に角他の土地と比べて多いとか少いとか言へる義理ではあるまい

といつてゐる、斯く最小の負擔で完備した文化都市生活に惠まれてゐる附屬地市民は若し附屬地が他に移管さるゝ場合は負擔は相當增大するであらうことだけは覺悟しなければなるまいといはれてゐる

鞍山の公會堂 次第に具體化
將來を考へ大規模に

【鞍山】當地公會堂の建設問題は既報の如く過般來有力識者の間に寄々眞劍な考慮がめぐらされつゝあり、既に地方事務所に於ても當初よりの計畫通りこれを中央廣場正面に建設する豫定で目下建築設計等具體案をたてつゝあり一方實業協會等に於てもこれを援助して實現を期し目下折角新設公會堂の規模、工費、維持方法等具體的問題につき鋭意考究中である、而して建設敷地は明春着工豫定の新築地方事務所と相對して中央廣場の東側乃至西側、規模は將來を見越して相當宏大な建物をといふわけであり、從つて建設費も先づ少くとも十四、五萬圓は要するものと見込まれてゐるが、いよく建設することに決定すれば今まで不自由なかつた當地だけ滿鐵、製鋼所は素より其他市內各法人乃至市民の贊助を得るのも容易なるべく一般に實現促進を切望されてゐる

秋晴れ

川邊に沿うて秋陽を浴びつゝ洗濯してゐる滿人の女房や娘達、秋夜、砧の音如何に……と聯想されます(鳳城公園側の二道河にて)

精神作興週間 鐵嶺の行事

【鐵嶺】來る十日は畏くも震災直後國民精神作興のため大正天皇より詔書を賜りたる記念日につき鐵嶺教化聯盟では當日の記念式擧行に關し加盟各團體代表者を召集し七日午後二時より地方事務所樓上において協議の結果左の如く決定した

十日午前九時　小學校庭に集合

國旗掲揚式(國歌齊唱、敬禮)詔書捧讀式(山田所長捧讀)多摩陵遙拜式(全員敬禮)式辭(小野博士、紀藤會頭)萬歲三唱(長山署長發聲)

而して右記念式は約一時間を以て終了する豫定につき終了後參列者全員揃つて驛に到り當日出發の守備隊を見送る筈につき各團體員は勿論一般多數の參列を希望する

奉天の催し

【奉天】十日國民精神作興の大詔渙發滿十周年記念日當日奉天では畏き大詔の御精神に則り意義ある催しを行ふため奉天地方事務所が主體となり準備中であるが大體左の如く決定した

一、國旗掲揚式　午前八時奉天神社に於て擧行、詔書捧讀、國民歌合唱

二、國民精神作興講演會　午後七時より春日小學校講堂にて地方事務所、奉天教化聯合會、在鄕軍人會、青年同志會、聯合婦人會共同主催で開催

水道促進陳情 當局も同感

【普蘭店】普蘭店市街は地方產業其他の發展に伴ひ累年人口の增加をなしつゝあり、最近の調査によれば接續地を加へ二、三六〇戶八千餘名の居住者を有するにもかゝはらず適當の飲料水なく、水質不良なる井水を用ひ日常を辛うじて支へ居る狀態にして滿鐵にては給水塔を有するにも拘らず、硬水のため數年來機關車給水を中止せる事實あり、斯くの如きは鮫子河といふ立派なる水源池を近くに有する當地として住民の堪へ忍ぶ能はざる處となし、曩に日滿居住者聯合書面を以て關東廳に對し歎願をなしたるも之が促進運動のため日本人側代表居住民會長新谷健二、滿日支局長小出英吉、滿人側代表普蘭店會長李盛新、商務會長王心純の四氏は六日午前林田民政署長の東道にて關東廳に出頭し日下內務局長、清水土木課長等に面會し種々陳情をなす處あつたが當局にても既に其緊要性は知悉せる事にて、水の權威者清水課長において是又詳細なる調査を完了の上十三萬五千餘圓を計上し設計濟であるが、國費を以ては支辨し得ざる事情にあるので明年度地方費にて之が實現可能の模樣である

防空兵器獻納の協議會開く
岡本領事を會長とし

【安東】既報、安東日滿官民の防空協議會は六日午後二時から領事館で開催

岡本領事、金谷憲兵分隊長、益森守備隊長、關屋地方事務所長、八木採木公司理事長、瀨之口、中川商議正副會頭、中島地委副議長、大野鄕軍分會長、山下、來栖、吉岡各青年同志會幹事、伊藤木材商組合理事長、文朝鮮人會長、孫縣長、鎌田參事官、白警察廳長、黃內務局長、孫商務會長その他出席

岡本領事より挨拶を述べた後山下五郎氏を座長に推し、日滿市民の愛市愛國の至誠より出でた防空團體組織、兵器獻納に關する協議を進め關屋所長は市民の防空思想養成の見地から早急實現を力說し種々討議の結果

一、日滿合作して「安東防空協會」を組織すること

二、協會々長に岡本領事を副會長に關屋地方事務所長と孫縣長を顧問に金谷憲兵分隊長と益森守備隊長を推す

三、委員、幹事の推薦、獻納兵器資金募集方法等一切の細目事項は正副會長に一任すること

等を申合せたので近日中正副會長の間に必要の事項を協議決定し協會の成立を急ぐことになつた

匪首逮捕
鳳城縣警察が

【鳳凰城】高麗門西南方約二十支里の楊木溝附近に匪賊集結中との情報に依り鳳城縣警察隊第三中隊長赫福德は部下八十六名を率ゐ四日午後十一時之が討伐のため出動二隊に分れて楊木溝に進み五日午前三時頃同地に於て鐵雷及李振東の合流匪約五十を發見、之を包圍攻擊し交戰約一時間の後擊退したが匪首鐵雷は討伐隊の急追擊に退路を失ひ、楊木溝賊家西溝の自宅に逃走したところ討伐隊は更にこれを包圍、遂に妻林氏(三〇)と共に逮捕し槍一本を鹵獲同日夕刻意氣揚々當地に引揚げた

匪首鐵雷は本名劉振家、當年二十七歲、事變以來高麗門を中心に暴威を逞しうし昨年十一月二十三日及本年四月五日の二回に亘り高麗門を襲擊しその勢ひ全く侮り難きものあつたが遂に惡運盡きて今回逮捕さるゝに至つたが勇敢に奮戰して見事彼を逮捕した赫中隊長以下の殊勳は一般から激賞されてゐる

警務指導官 卅二名來吉

【吉林】吉林省に配屬された滿洲國入り警務指導官八十四名は六日午前十一時三十分着列車にて着吉したが、直に各關係機關歷訪の上警務廳に出頭し林警務科長、兒島顧問に會見一場の訓辭を受けた

今回配置された八十四名の警務指導官は吉林省三十二縣に配屬され軍の討匪工作に相次いで警察機關の改善知識の向上延いては人民の安居樂業を保護し滿洲國の樂しき建設に向つて重任遂行の第一歩を進めるわけである

凱旋勇士の歡迎 鞍山で着々準備

【鞍山】兩三日中凱旋の豫定である山城鎭駐屯當地〇〇隊將兵勇士の歡迎催しについては逐次の地方委員會にて大綱の決定を見たので時局委員會では七日午前九時より森所長、泉署長外歡迎各係長參集の上具體案を決定したが、當日は凱旋將兵一同〇〇名全部を午前午後の二回に分割招待盛大なる歡迎宴を張るとゝもに特に將兵慰安餘興として柳町藝妓、一樂園亭美妓連の手踊、オリオンダンスホール舞踊手連の華やかなるステーヂダンス及び昭和製鋼所ブラスバンドの軍歌吹奏等が演ぜられる外在鞍各カフェー女給連總出のサービスもあり、出動半歲久方振りになつかしの鞍山に歸營した勇士達を精一杯に慰め祝ふ筈であると

新署長着營

【營口】錦州警察署長より營口警察署長に更任の松木警視は七日午後一時二十分着列車にて來任驛には署員その他多數出迎へた

故津村氏の手當
民政署頭痛鉢卷
宙に迷ふ二千五百圓

去る十月關東廳から臺灣の學事視察を命ぜられ村上大連小學校長と共に出發同月十三日午後十一時半頃連絡船瑞穗丸から投身自殺を遂げた旅順水師營公學堂教諭津村富氏の身分決定に關し、所轄旅順民政署を始め關東廳にては之れが解決決定に就いて目下行惱みの狀態で、未だにその津村教諭に對する處分の發令が關報に掲げられず、關東廳始政以來初めての事故に出會し目下當局は出來る丈合法的の解決を爲すべく研究中である、卽ち津村教諭の投身自殺は確定的のもので當時船長の報告、葬儀終了により常識的には問題はないが以上だけを以て直に死亡と斷定し諸手續を執る事は不可能であつて、萬一失踪とすれば戶籍上抹消するには七年間を要し此間關東廳としても如何に取扱ふか又休職手續をしても甚だ不合理となり、第一に恩給の起算にも至大の關係を生じる譯で當面最も解決に迫られてゐる問題は二ケ月亘る俸給並に概算總計二千四百六十餘圓となる旅費、死亡手當、死亡賜金、退職金等が決定如何に依つてフイになる譯である

特別失踪手續にするか
飽田理事官談

なほ又關東廳秘書課飽田理事官は語る

この問題は目下研究中で未だ決定してゐませんが、民法の問題から云へば船長の投身證明書位では戶籍に死亡を記入する譯に行かぬ譯で、失踪屆の手續か何かせんと死亡といふ事は確定せん事になつてゐる、失踪屆けでも今回の樣に判然と投身したものと判つて居れば特別失踪手續と云つて普通七年の所を三年で戶籍の整理が出來る譯です、今度の津村教諭の問題も當方では未だ生存者として扱ひをして居るが後任補充問題其他で一時休職の形式をとるものと思はれる

關東廳の指令を待つて
民政署當局談

右につき直接官廳たる民政署當局者は語る

この問題については一寸研究を要しますので關東廳と折衝を重ねて居ります、何れにしても今迄ない事であり且又將來萬一の事があつた場合をも考へられますので、死に角關東廳の指揮を待つてゐる譯です

軍警慰問に素人演藝
白百合員が

【鷄冠山】あらゆる艱難と戰ひつゝ王道政治の阻害者たる橫暴なる匪賊の剿滅に身命を賭して三角地帶の山野を馳驅し、干戈を交ゆる事數十度武勳赫々良く我が鷄冠山高石部隊の威力を發揚して彼等をして二度と立ち能はざらしめた我が軍警の勞を慰すべく、銃後の勇士當地白百合會員は五日午後五時より社員俱樂部に於て演藝の夕を催し數日來晝夜兼行の大馬力で練習した奥さん御孃さん方の十八番續出し、藝者婦の應援出演や守備隊員の芝居等あり演藝頗る盛況なる高石守備隊長、神生警部補の銃後に於ける白百合會員の活躍の兵士、警官に及ぼす事の大なるを說き此の催しに對する感謝の辭があつたなほ守備隊員に粗菓の接待あつていやが上にも演藝氣分を滿喫し夜十二時盛況裡に終了した、素人演藝プログラム次の如し別紙プログラム

一、修養團ダンス白百合會員、二、手踊御所の庭郡山夫人、三、筑前琵琶中村大尉鈴木孃、四、合奏春雨濱田外三名、五、ハモニカ波止場の娘、カルメン橋本氏六、手踊木曾節磯節白百合會員七、筑前琵琶菊龍さん、八、出鱈目豆腐屋受難の卷佐藤氏、九合奏黑髮琴谷口夫人、同佐藤夫人、一〇、手踊喜撰菊水一同、一一、芝居大晦日の晚守備隊員一二、安來節其他白百合會員一三、合奏橋本氏瓦吹氏一四、筑前琵琶那須與市藤山夫人、一五、舞踊若人小山外二名一六、漫談井上氏、一七、合奏降りて行く深川佐藤外三名、一八、手踊米山甚句白百合會員、一九、筑前琵琶皇道普及藤山、鈴木、二〇、手踊サノサ節白百合會員、二一、芝居野狐三次守備隊員

社交團體が近く誕生

【吉林】事變前迄は深刻な不況に見舞はれて四苦八苦の窮狀を續けてゐた吉林の桃色界も、事變が生んだ戰景氣に破天荒の好況を迎へ吉林人をして最近の桃色界は吉林の桃色界か桃色界の吉林かとさへ噂されたが、何れにせよ知名士の亂行は日に增して一時は不良老人組などとの名目がついた一隊も橫行し市內の風紀は亂れ勝となつて居たが、最近に至つて漸く反省の日を迎へたもの〻如く滿鐵事務所の野中所長、森岡領事、三浦稅務廳長、奥特務機關長等の知名士は相互間の親睦並に知識の向上を計り來吉知名士との意見交換その他諸種の反省資料を網羅し二十餘名の一團を以て吉林社交團體なるものを組織するに決し經費の最少減度を以てこれを維持せんと目下各方面に交渉中で、さしも亂れたる吉林花柳界にも肅正の日が近づいて一般人に多大の興味が持たれて居る

全國圖書館週間講演會

【營口】營口圖書館は一日より七日まで全國圖書館週間として圖書の帶出を自由させし事は既報の通りなるが最終の七日午後七時より同館樓上において講演會を催し滿洲新報小川義和氏の讀書感言と題し又水產學校岩澤巖氏はアジアにおける復古運動と大同主義と題して講演、岩澤氏は福島縣の人大東文化學院出身の俊才なり

鞍山輸組業績

【鞍山】輸入組合十月中の業績を見るに貸付百件十萬三千六百八圓同回收百三件十萬四千八百十圓にして月末現在貸付高百九十九件、二十萬九千百六十四圓となつてゐるが、前月に較べ貸付口數は同數なるも金額は二萬二千餘圓の膨脹を見せ回收に於ては反對に口數五十口金額約五千圓を減じたが、月末現在では口數三件約一千圓の減を示し順調な業績を示した

英米煙草の營口進出

【營口】在奉天英米煙草會社は遼陽工場建設の計畫を樹て着々その準備を進めつゝあるが今回營口實來街行當り土壩外に先年煙草工場設置の筈にて建てられたる家屋全部その儘を應用して印刷工場を開始すべくして某英人來英頻に準備を進め居れり

發狂教員

【チチハル】チチハル市北區關家胡同二番地居住省立男子師範學校教員胡容光(二七)君は約一ケ月半前より精神に異狀を來し連日女子師範學校を訪問し教材、器具等を破壞しつゝあつたが、教職員が知人のためその儘放任してゐたところ最近その度を加へ狂狀激化の兆あるため、遂に警察廳に報告、同廳にて保護中である

高木家慶事

【遼陽】遼陽特產物貿易組合長高木儀三郎氏令息修治君は此の程國枝氏夫妻の媒妁で大槻莊之助氏四女房子孃と婚約整ひ去月十三日高木氏の鄕里大垣市大神宮神前に於て結婚の式を擧げ數日前新郎新婦相携へて歸遼せるを以て八日午後六時から友人知己取引先七十餘名を玉家に招待披露宴を催し引續き城內西海興において于公館城內糧棧組合長等を始め城內商、沿線取引先約二百五十名を數日に亘り招待披露宴を催すと

遼陽片々

▲渡邊關東軍獸醫部長は七日午後二時二十九分着列車で北方から來遼軍犬育成所を視察の上同日午後四時四十二分發列車で北行▲遼陽軍用犬協會支部設立に付ては此程來地事の本橋庶務係長が各方面に入會方努力中であつたが九日午後一時から警察署樓上で支部設立に關する協議會開催の旨發起人へ通知があつたと▲第十二回軍民懇談會が十日新京で開催に付遼陽から渡邊地方委員議長が出席すと▲滿洲紡績會社では廿五日午後三時から同社で第廿一回定時株主總會を開き八年度下半期の決算報告、利益金處分、取締役、監查役各一名の補缺選擧其の他の件を附議すと

痔疾の第三期……
痔瘻はナゼ怖しい
家庭治療は不可能か

秋冷は身も心も引きしめて健康へと導いてくれます。然しこの快適な秋冷も痔疾をもつ者には禁物で、慄然厳冬の危險を思はせる氣味悪い晩鐘の音に變りません殊に痔疾中で最も難治と言はれる痔瘻患者には悩みです。だが徒らに恐れる事なく寒さの募らぬ中最適な治療法を實行するのこそ、痔疾患者の取るべき唯一の正しい道であり賢明な策であります。

★痔瘻の怖しさ

痔瘻が怖しいと言ふ事は少くとも痔疾を病む者なら聞いてゐます然しこれを痛切に感ずるのは自分が體験して初めて知る事です。

これは痔瘻の苦痛が想像を許さない程烈しいものだからでもありますが、一面非常に不幸な事と申さねばなりません。もし痔瘻がかく程苦しい危險なものと豫め知る事が出來たら、誰でも痔疾の初期―痔瘻に移行しない中に充分手當するに違ひないからです。

★成因と其症狀

一體肛門内部―直腸にはいつも糞便が溜つてゐて排泄する時急に收縮するため自然と粘膜面にヒダが出來てるものです。その柔かい粘膜は便通の度に受ける摩擦や刺戟のために非常に傷つき易い狀態にありますが、便秘、下痢、冷え不攝生、身體内部の疾患などのために炎症を起したりヒダの底部が腐爛したりします。

偶々さういふ所へ有毒菌が附着すれば忽ち化膿して粘膜から外皮を犯して終に肛門部にアナ(瘻孔)を作つてしまひます。

かうなると瘻孔からは絶えず膿汁や血膿が流れ出し、肛門附近はたゞれて痔瘻に附きものの肛門腫爛まで併發するのです。

★痔瘻は難治か

痔瘻と言へば一般に結核性と信じる傾きがあります。然し痔瘻だからと言つて結核性とばかりは限りません。勿論結核性菌が侵入すれば結核性痔瘻となりますが、黴毒の場合は黴毒性痔瘻、淋菌の場合は淋毒性痔瘻となるのです。

痔瘻が凡て結核性だと信じられる様になつたのは非常に難治であるから起つた事であります。

然し只今では嘗て東京朝日紙上で谷泉博士も語られました樣に、藥物療法で痔疾も治ると説かれる樣になつたのです。つまり痔疾は手術に依るか又は藥物療法によるかであります。

★家庭の療法は

勿論痔瘻は手術に依るのが最も效果的と言はれます。だが家庭療法としては藥物に依るほかありません。そして現在痔瘻患者に賞用されるものに小松痔退膏があります。

要するに肛門部の炎症は充血鬱血が内部原因ですから、これを除く事が第一です。

小松痔退膏が痔瘻に良いとされるのは血行を促して充血鬱血を消散させる作用をもつからです。同時に殺菌、鎭痛、止血、收斂等の作用をもちますので、瘻孔部又は硬いシコリの部分に貼布しますと濃汁は次第に吸收され、腫れも痛みも除々に取れて次第に輕快に赴くものです。

たゞ痔瘻は痔疾中で最も難症ですから油斷なく手當する事で、殊に痔疾に禁物の寒さも加はる折柄小松痔退膏の使用を一時も忘れぬ事が賢明な策であります。

又姉妹藥小松痔退座藥を肛門や瘻孔部に挿入し、小松痔快丸を内服して便通を整へるのは極めて合理的な好結果を得るものです。

小松痔退膏は痔瘻、肛門腫爛の他、痔核、裂痔、痒痔、痔出血、脱肛の適應藥で、價二十錢五十錢一圓二圓、本舗は東京日本橋區本町玉置合名會社で全國有名藥店デパート藥品部に販賣。

快よい便通は痔疾治療の一歩
便秘は痔疾地獄の基

最近★ 健康美といふ事が言はれる樣になつて、皆樣が便通に大變注意する樣になりました。しかし中には一週間も便通がなくても「極めて朗かだ」なぞと言つてる方もあります。

かういふ常習便秘者は血色が悪かつたり何となく元氣がないのが普通です。

單に★ その程度なら仕合せですが、終ひには便通のたび非常に苦痛を伴つて便所へ行くのを極度に怖れる樣になつて、一層烈しい便秘を招くものです。

常習便秘者の悪しさは排便に長い時間を必要としますし當然無理を重ねます。突然肛門部に飛び上る程の痛みを覺えたり烈しい出血があつたりするのは皆こんな時です。つまり既に痔疾に罹つてゐたのが便秘のため増悪して突然激痛出血を伴つたのです。

便秘★ はこの樣に凡ての痔疾を悪化させるものです。ことに裂痔、痔出血などは黴菌が侵入し易い狀態になるので、もし化膿菌が侵入したら危險な痔瘻になる怖れが充分あるのです。

便秘が癒つたら痔疾は癒つたも同じだなどと言はれてゐます。痔疾患者にはそれ程便秘は禁物です。ですから少くとも一日一回の便通はあつて欲しいものです。それには當然藥物に依る他ありませんが只今の所小松痔快丸が最も賞用されてゐます。

之は★ 小松痔快丸が痔疾患者のため特に作られたもので、この便秘を快適に解消する上、同時に體内の痔毒をも排下する作用をもつからで、小松痔退膏、小松痔退座藥と一緒に用ひれば、非常に好結果が得られるからです。殊に難症の痔瘻の場合は、特に推賞されてをります。

小松痔快丸は裂痔・痒痔・痔出血・脱肛・痔瘻の便通に最適な内服藥で、價二十錢・五十錢・一圓・二圓

大多數の人が惱むのは疣痔
◇癒り易いが放任は危險◇

凡ての人が痔疾の素質をもつと言つた一專門醫があります。それ程痔疾は多いもので、中には自覺しないで既に痔疾に罹つてゐる者が決して少い數ではありません。

かうした人々は **秋と** なつてつい注意しないで地面やコンクリートに坐つてゐたり冷えたりするため突然肛門部に痛みや痒みを感ずる時があります。

然し左程の事もないので忘れてゐると冬になつて突然激痛を覺えたり肛門部が腫れて疣が出來たりして驚くやうになります。

肛門部が痛い痒いと感じた時は既に痔疾になつたもので、激痛や腫れや疣が出來たのは立派な疣痔―痔核になつた證據です。

痔疾 患者の八割迄は痔核だと長與博士も言はれた樣に、この痔核は非常に多いものです。肛門部が鬱血して腫脹し疣のやうな凸起が出來て次第に大きくなり、終ひに肛門の周圍全部が腫れ上がつてしまひます。

かうなると排便のたびに腫れた部分が脱出して仲々納まらず、無理をすると疣が破けて出血したり激痛を伴つたりして、終には歩く事さへ出來なくなります。つまり痔核から脱肛に移つたものです。

痔核 は痔疾の初期と言はれる位で、初期の輕い中に手當すれば簡單に癒つてしまひます。しかし時期を失ふと脱肛となつて歩く事もできず、咳をしても脱出して激痛を覺えたり、有毒菌が附着すると痔瘻の樣な難症に移行するなど、輕いからと言つて決して油斷のできるものではありません。

早期 の手當といふ事は特に痔疾の場合に必要です。

痛い、痒いと思つた時、例へば小松痔退座藥の樣な定評ある適藥でスグ手當すれば脱肛や痔瘻の樣な大事にならずに濟むものです。

ことに痔疾患者に一番禁物な寒さが來ます。今の中から、殺菌、鎭痛、止血作用を有つ小松痔退座藥を挿入して充分手當しておくのこそ、痔疾患者の取るべき道であり、又最も合理的な治療方法です

小松痔退座藥は痔核の他裂痔・痒痔・痔出血・脱肛・痔瘻の治療藥として推賞されるもので、價二十錢・五十錢・一圓・二圓

兒玉事件の"中篇"愈よ完結

事情は漸く急迫し 勝美を正式離婚

藤森家からの督促もあつて 引受人は大内辯護士

强制處分期間滿了を控へて勝美夫人が如何なる司法處分に附せられるかは社會注視の的となつてゐるが、この司法處分を目前にして勝美夫人と兒玉博士の間に突然離婚が正式に成立した、卽ち勝美夫人の實家たる松本の藤森家では勝美夫人が博士に與へた社會的且つ精神的打擊を考慮し、勝美夫人の處置については大連に居住する親戚滿鐵社員藤森千春氏を通じて博士の意向をたヾされてゐた、最初博士は離婚問題は靑柳事件が萬事解決してからとの意見を述べてゐたところ、最近松本の藤森家からの督促もあり、博士の立場としても離婚を決意することゝなつたので、滯連中の博士の實兄兒玉眞造氏と藤森千春氏との間に離婚問題は急轉して正式成立を見ることゝなり、五日午後博士側代理人たる大内辯護士は嶺前屯刑務支所に勝美夫人を訪ひ、直接面會の上離婚に關する兒玉、藤森兩家の事情をつぶさに述べ、更に六日午前中大内氏方原田事務員は書類を携へて刑務支所に赴き勝美夫人自身の手になる署名を求めたところ、總ての運命を潔よくあきらめてゐたもの、流石女心から署名する手はかすかに震へてゐたといふ、離婚狀には兒玉博士及び勝美夫人の署名と共に證人として博士側より安東博士、夫人側より市内見晴臺倉田喜久雄氏の署名捺印あり、これによつて勝美夫人は正式に兒玉家より離婚され、舊姓藤森勝美にたちかへることゝなつた、なほ勝美夫人の處置については、旣に强制處分も期日切迫してゐることとて松本の實家より一切を依賴されてゐる藤森千春氏は種々考慮中であつたが、過日大内辯護士を訪れて萬事を一任した、これによつて若し勝美夫人の釋放が可能となつた場合には大内辯護士の身柄引受によつて勝美夫人は出所するものと思はれるが、右につき當の大内辯護士は語る

藤森氏から色々お話しがあり、出來得る限りお力になりませうとはいつておいたが、何分勝美夫人に對する檢察當局の意向が未だ決定しないので何とも手の出しようがない、萬事は檢察局の意向を待つてからだ

ゆくところまでゆく 兒玉勝美夫人の正式離婚狀

勝美夫人と會見 齋藤牧師

勝美夫人が高野の靈山に逮捕され血まみれの不死鳥となつて歸連渉河口署に留置されて以來、常に宗教家としての立場より勝美夫人への差入れその他色々の場合斡旋の勞をとつてゐた市内常盤橋畔日本メソヂスト大連教會の牧師齋藤米松氏へあて、六日午後「紅樂臺にて兒玉勝美」と署名した葉書が突然訪れた、文面は

事件以來教會婦人會の方々によるお情けの差入れ物、有難くいたゞいてゐます、また過去一年間の先生御夫婦の御厚情を厚く御禮申します、いま私はどうにかしてもとの私に歸りたいと一生懸命に努めてゐます、婦人會の皆樣によろしく御傳へを御願ひ致します

との意味で滿たされてゐたので、齋藤牧師も勝美夫人の現在の心境を非常に喜んでゐたところ、六日の本紙朝刊によつて勝美夫人の司法處分も近づいたが身柄引受人が判然としないことを知つて大いに同情し、七日午後二時半兒玉博士を取調べ中の高井檢察局に訪れ、勝美夫人との面會の許可を得て午後三時半キク子夫人と共に嶺前屯刑務支所に勝美夫人を訪れたが、宗教家としての慰問との名目の下に會見五分間の面會に

牧師● 御身體はいかゞです

勝美● 有難う御座います、かういふ場所でお會ひしようとは思つてもゐませんでした、身體は幸ひ丈夫です

牧師● 今後の生活に對する御考へはついてゐますか

勝美● 今の私には全くどうしてよろしいのかわかりません

牧師● 今までのことよりも、今後の生活が大問題です、私はやはり宗教の力によつて生活に元氣と自信をおつけになるやうおすゝめします

勝美● 有難う御座います、一生懸命更生の道に進んでゆきます

牧師● 私達で出來ることなれば何んなりと御力になりますが……

勝美● 何れ御願ひせねばならぬと思ひます、今は……唯何か讀むものがほしいと思ひます

と簡單な會話を交し、牧師夫妻は勝美夫人と別れたが、牧師の語るところによれば勝美夫人は割合に元氣で極質素な身なりをしてゐたとのことである

兒玉博士は不起訴 中園、勝美は起訴

下田官長ら重要協議の結果 きのふ司法處分決定

情痴の世界に描き出された兒玉博士邸における怪殺人事件は全國的注目のうちに檢察當局の處分が待たれてゐたが、八日午後二時下田檢察官長は旅順より自動車で來連、直に大連地方法院に登廳、檢察官長室において高井檢察官と池内主席檢察官と會見し處分問題に關し重要協議を遂げた結果、午後四時三十分に至り左の如き罪名の下に正式處分決定を見、直に公判を請求された

殺人、殺人豫備、傷害及び死體遺棄
起訴 中園秀雄(三五)

殺人豫備、證據湮滅、死體遺棄
起訴 兒玉勝美(二九)

證據湮滅、死體遺棄
不起訴 兒玉誠(四〇)

死體遺棄幇助
不起訴 横山きみ(三九)

而して兒玉博士の不起訴は刑事政策上起訴を猶豫となつたものであり、中園の起訴罪名中の殺人豫備及び傷害とあるは靑柳殺害前佐藤三輪子及び靑柳貢の兩名を撲殺せんと企て勝美夫人と共謀しバツトまで用意してゐたといふ新事實に基くもので、更に傷害の點は姙娠七ケ月の勝美夫人の腹部を蹴り、これが原因で流産した事實を問はれたものである

下田官長談

處分決定後下田檢察官長は語る

犯罪があれば必ず檢擧し、起訴不起訴の處分を行ふことは申すまでもないが檢擧したもの必ず起訴はせぬ、刑事政策の上から不起訴が適當と認めた場合はこれを活用するのである、兒玉博士の場合は諸般の事情を考察しこの際起訴しないのが適當であると認めたからである

隱されたる强盜

兇器を閃かし旅館の主を脅し 金を强奪して逃走

深夜電報配達を裝うて押入り兇器をひらめかして旅館の主人を脅迫、十圓强奪して逃走したといふ奇怪極まる强盜事件が十日間も警察への屆出を怠つてゐたのを大連署で探知し極秘裡に活動を開始し目下覆面の男を嚴探中である——事件は去月二十七日午前二時二十分ごろ市内信濃町一九番地奈良屋旅館の表戶を「電報々々」と叫んで叩く者あり、目を醒ました主人大石金作氏が電報配達夫と思つてドアーを開けた刹那、三十四、五歳の和服姿の遊び人らしい日本人が飛込み、懷中から白鞘の短刀を拔いて玄關の板の間に突刺し「金を貸して異れ」と脅迫した、**件の怪漢は二十三日晝も一度同旅館を訪れ止宿中の池田某に面會に來たが不在のため、主人大石氏に對し『十圓立替へて置いてくれ』と强要したが『金はない』と手嚴しくはねつけられて歸つた男であり、短刀をふり廻し危險なため大石氏が十圓紙幣を與へると之を鷲摑みして逃走したものである、**この事實を七日午後二時ごろ密告によつて大連署で探知し春日刑事部長、黑岩强力係り等は直に奈良屋旅館に急行、關係者一同を取調べ極秘裡に活動した、右につき被害者大石金作氏は語る

電報々々といふ聲に起き出て見ると書間來て金の無心をいつた男であり、短刀を所持してゐて物騷だつたものですから十圓投げつけてやるとコソ〳〵逃げ出しました、私はこの男とは面識ありませんが、お客樣の池田さんと知つてゐるやうな口振りでした、何ッ相手が短刀を持つてゐようとも手向つて來れば頭を打ち割つてやるつもりでしたから大して脅迫感にも襲はれずにゐたものですからつい警察にも屆け出なかつたところけふ三時ごろ刑事さんが調べに來られて驚いたやうな次第です

苦き戀を味はひ 消え入る寂笑

留置された渡邊祐 三原山行までした眞田と蘭子

(寫眞)ダンスホール・ベロケの踊子北村蘭子こと加藤みつ(二三)を仲に挾んで桃色葛藤を演じ血の雨を降らせようとした蘭子の情夫眞田七三郎(二九)は殺人豫備罪で七日午後二時から大連署司法係中島部長の取調を受け、眞田から

殺害 されようとした渡邊祐(三四)は蘭子を不法監禁した廉で同日午後三時に留置處分となり庄司刑事部長の取調を受けた、二人の男が戀の前に命まで投げ出してかゝつた戀愛鬪爭の眞劍さを係官の前にぶちまけた、眞田の陳述によると

眞田はボクシングの批評家で本年二月拳鬪選手を連れて臺灣に渡つた際、渡邊もダンス普及のため問題の蘭子外數名を連れて臺灣になり、こゝで初めて友情關係が結ばれた、本年四月渡邊と蘭子が東京銀座六丁目で愛の巢を營んでゐる時屢々眞田も遊びにゆき、遂に眞田と蘭子との間に

戀愛 關係が生じ眞田は蘭子と情死すべく八月十五日二人で家出、三原山まで來たが蘭子がそれと氣づいて噴火口へ近づかなかつたので目的を達せず、大連まで落ち延びた

更に渡邊殺害に關しては二日ナニワホテルで渡邊と會見した際、蘭子の氣持ちは自分がキヤツチしてゐるので渡邊に女を讓ることに話を定め、渡邊から外套と現金二十圓を貰ひ、奉天高女學校八木校長への添書を渡邊から貰つて就職のため奉天へ發つたが八木校長からは剛もホロロの挨拶をされて三日朝歸連、再び渡邊と會見した時、小指を切つて渡邊に渡しこれを以て歸國せよ、然らざれば俺と決鬪せよと云つたが渡邊は

態度 を曖昧にしてゐるので遂に殺害して自殺を決意し六日夜ベロケの前で渡邊と會見中蘭子の知らせで警官に取り押へられた

と拔身の短刀を持つて身構へしてゐたといふ當時の狀況を係官に身ぶりで說明してゐた、一方渡邊の祖父は嘗て元老院議官を勤めた高官であり父は北濱事件で有名な岩下淸周と義兄弟で實家は相當の資産家であつたが

身を 持ち崩し蘭子を慕うて後を追つて來た經緯を述べ「女の現在の心境は眞田に戀を感じてゐることは事實です」と戀愛敗殘者らしく淋しく笑つてゐた【留置された渡邊祐】

猛烈な肉薄戰後 縣城を奪回す

警察隊、江省軍の活動

【チチハル八日發國通】旣報肇東縣城における脫獄犯人四十名の暴動に關し七日午後七時當局への報告によれば、暴徒四十名は一晝夜に亘り頑强に抵抗したる爲警察隊は江省軍と共同作戰の下に猛烈果敢に賊團に肉薄し九名を射殺、二十三名を捕虜とし八名を逃がしたが無事縣城を奪回した、警察隊の損害は戰死三、負傷五名に達したるを見ても如何に猛烈な肉薄戰なりしかを知るに足る、尙その他の狀況は不明である

慰安歡迎會

滿日婦人團 彌生高女の

凱歌故山へ歸る途次、大連に征衣をやすめてゐる第〇〇團の將士を慰むべき滿日婦人團と彌生高女の共同主催にかゝる慰安歡迎會の第二日は七日午後六時より開かれた

(寫眞)招かれた凱旋將士は佐藤喜太郎少佐以下約五百名で堂を埋め▲童謠小野京子、小澤京子、島根照子、草川マリア、鈴木イク子▲舞踊荒川淸子▲ダンス(計)排行)彌生高女生▲ハーモニカ佐藤時太郎▲勝民踊福田捨夫、山下忠夫(歌)などプログラムの進行につれて拍手を送り、盛會裡に八時半散會した(寫眞は慰安歡迎會)

早大側態度 決定は延期

早慶戰騷ぎ

【東京八日發國通】リーグ當局より勸告を手交された早大野球部は八日午後一時から部長寺澤氏と應援團代表片山、津田、花輪、富田四氏と會見協議したが、體育會長及び各部長の意見を徵した上でなければ決定出來ないのだから、こゝとして一兩日靜觀して異れと申出で應援團も之を諒とし態度決定を一兩日延期した、なほ慶大側は八日午後零時半牧體育會長小林鐵部長井上マネージヤー會合協議を遂げ次いで一時半より應援團幹部と會見協議の結果大體當局の勸告に滿足の意を示してゐるが學生の意思を尊重する意味から應援團の意向を重視して居り且つ野球部としても一、二選手の適當な處置を積極的に考へずリーグの見解とは別個な自由なものとし居り十一日の回答は注視さる

神兵隊事件の新登場者

山口豫備中佐

【東京八日發國通】神兵隊事件の天野辯護士、安田中佐、前田虎雄等の取調べにより海軍豫備中佐山口三郎(五〇)も密接な關係ある事判明七日中野署に留置され八日午前より東京檢事局にて佐野檢事の取調べを受けてゐるが今夕殺人豫備罪にて强制處分に附せられ市ケ谷に送られる筈

奉天の大詔 渙發記念

【奉天電話】十一月十日は國民精神作興の大詔が渙發されて十周年に當るので奉天では地方事務所、警察署、在鄕軍人、敎化聯合會、奉天婦人團、滿洲靑年同志會、奉天各新聞記者參加の下に當日を精神の作興デーとして午前八時より奉天神社において詔書渙發十周年記念式を擧行することになつた午後よりは春日小學校において同志の講演會を行ふ

安樂椅子

北滿梧桐河ゴールド・ラツシュを視察して最近歸つて來た岡本滿鐵地方部長、班長滿鐵社員の話——

「數百本のボーリングをして發見した砂金中で一番大きかつたのは一瓦强あつた、其時の鍾員が金子さんといふ姓の者だつたのでみんな緣起をかついで大喜びだつた、來年のゴールド・ラツシュには金に緣故のある名の者を澤山つれて行くよ」

「蛇は名物だと聞いてゐたがくひどい、蠅にはペール、蚊には手袋をつけてゐるので擬らなかつたが、班員中二名が便をしてゐる時に股間の一物をいれてれ、赤く大きく腫れてしまつたには驚いたね、笑ひ事ぢやなかつたよ」……と云ひながら、ハ、、、、、

青空ホテル (35)

近江帆三
吉郡二郎畫

晴後雨(三)

「どうもダンスの出來ないのが玉に瑕だ」
と逸見さんは、若い者の踊つてゐるのを見ながら述懷した。以前からダンスに對しては大いに食指が動いてゐるのだが、基礎的の知識がないから、こればかりは飛入りするわけにもいかない。
「二三度ホールへいらつしやればすぐですよ」
と小泉がおだてた。
「さうかなあ」
「課長さんなどは下地があるんですから、わけないですよ」
「下地つて、ハダカダンスのかい?」
「さうでもありませんが、身のこなしがねえ」
「さうかなあ。これで、若い頃は徹夜で夜を明かしたこともあるんだよ」
「ダンスだつて、やりかけたら徹夜ぐらゐ平氣ですよ」
「ホールへ行けば素人にでも教へてくれるかなあ」
「それア商賣ですからね、嚙んで含めるやうに、痒いところへ手の届くやうに……」
「諄々として俺ますか。提灯も持つれ」
「いや本當です」
「づぶの素人もゐるか知ら」
「ゐますとも。ホールつてところは、玄人によく、素人によく、それこそ老若男女を問はずですよ」
「さうかな、實は僕はこつそり習ひたいんだよ」
と逸見さんは狡いこともないふ。知らないやうな顏をして知つてゐるやうといふのである。
しかし、よく〳〵ダンスを習ひたくなつたのか、會が終つてみなが歸り支度をしてゐると、
「ちよつと附き合ひたまへ」
と逸見さんは小泉の足を止めた。
そして二人は誰よりも先に外に出て自動車に飛び乘つた。
「どこがいゝ?」
「どこだつていゝんですよ」
「君の馴染はどこだ」
「馴染は恐れ入りましたね」と、小泉は苦笑して「滿洲ですよ」
「ぢや、そこへ出かけよう」

しかし、ホールへいつてみると逸見さんはその空氣に壓倒されてちよつと手の附けやうもなかつた。
「どうです?」
と、一くさり踊つて來た小泉がすゝめても、
「まあ、もう暫く――」
といつて羞みながら煙草を吹かしてゐた。
「うまいのを一つ探して來ませう」
「なあに、さう急がなくてもいゝ」
「案外小膽ですね」
「うむ、少し色氣が出て來た」
と逸見さんはちよつと顏を赧らめた。
サキソホンが鳴り出した。
小泉は立上つて、
「こんど、いゝのを紹介しますから。元氣をお出しなさいよ」
といひ殘してまた踊りに出た。
逸見さんは、小泉の馴れた動作を羨ましさうに眺めながら、よし、こんどは一つ踊つてやるぞと腹を極めた。大體脚の運びもわかつたやうである。
暫くすると踊りも止んで、みなはパラ〳〵に分れてしまつた。
「いゝのを見付けましたよ。いま僕と踊つてゐたのはなか〳〵うまいですよ。よく話しときましたから、安心しておやりなさい。なあに、足の二度や三度は踏んづけたつて何ともありません、痛いのは向ふ持ちですからね」
と小泉は頻にすゝめるのである

柳壇

音　編輯局選

音静か坊やインクで手を洗ひ　柳樹屯 山崎かほる
ベルの音飛び出て見れば御用聞き　遼陽 天滿千代子
チンドンヤ子供の叩く音で起き
手を取つたとこで銃音夢醒し　大連 河東美津雄
啞と凄い喧嘩の音ばかり
たゞ二人丘で聞いてる波の音　遼陽 後藤 芳子
手枕に夢路なつかし雨の音
人間苦しばし忘れて三味の音　大連 黑澤 節
飛行機に騷ぐ子供の下駄の音
凛乎たり凱旋兵のラッパの音
凱旋兵を迎へて
感謝せよ我等勇士の靴の音　本溪湖 柳村生
見玉夫人の末路
ジャズの音に醉ふたマダムの身の末路

風鈴の音も淋しく秋は暮れ　大連 池田 一郎
飛行機の音にみんな口をあけ
ジャズの音高野山まで落ち延びる　奉天 長嶺 默溪
失業者音沙汰なしを今に悔む
駈落は落葉の音におびえて居　旅順 桃井 隆
靴音を給仕それ〴〵聞き分ける
音づれをせぬは小遣のある證據
態のよい購曳ひをする音樂會　大連 外山 角照
一人者さゝやく音へ寢付かれず
鐘の音考へ直す留置場　神戸 西田夢仙子
繫船のハンマーの音に沖は晴れ
元氣な鑿父が打出す牌の音
音立てゝ砂塵に消えたオートバイ
澄み切つた月に渚は更けた音
夜汽車行く高架の響きよく聞え　山海關 松尾小女郎
音色をば變へて酒亂の座がひらけ
音羽屋と島田膽援する棧敷
音曲の派手へ歌姫啞に見え　同 田中 幸夫
怪談のその夜鼠へおびへ立ち　大連 豐田 廣國
銃の音絶えて呑氣な流行唄
哀調のレコード好きが病みつゞけ　新京 清目 助外
虫の音に忘れし故鄉思ひ出し
打つ波の音にも秋は淋しまれ　大連 上河邊紫浪
凄い音立て發電所今日も無事
音のする方へあはてた雀とび
聽音機逃さぬものと廻つてる　本溪湖 郡司島里柳
匪賊等は爆音丈けで逃げ廻り
豆腐屋の喇叭の音に醒める夢
喧嘩する音へ父かと聞く隣り　大石橋 常見 岳陽
プロペラの音に仕事が手に付かず
試驗場テニスの音が氣にかゝり　新京 吉田 作治
花嫁は鼠の音へ寢付かれず
始業の鐘に喧嘩は止めになり　甘井子 田中美津嶺
凱旋日足取り輕くラッパの音
日曜日起きれば皮肉雨の音

秋晴れへ坊やの高い靴の音　大連 尾道九十八
珠數の音の前に不倫が悔ひて泣き
ステッキの音に妾は耳を立て
爆竹の音太平の夜が白み　本溪湖 中村 湖風
雷へ思はず新妻すがりつき
本溪湖事件の思ひ出
銃の音又匪賊かと立ち上り　大連 桃陵きくを
逆襲の音に露營の夢は覺め
見送りのドラ無情に鳴りひゞき
物音にふつと起つた胸さはぎ　大連 藤村 忠夫
ベルの音そつと鳴れよと朝歸り
朝寢坊茶碗の音に目を覺し
轡虫なく音に歩哨銃を向け　遼陽 岸本 薇笑
音がしたやうだと留守居淋しがり
狐鼠泥に蹴つた馬穴のでかい音
プロペラの音に居るだけ口をあけ　大連 袴田 泰三
うたゝねの一寸の音へ眼を覺し
冬近く山にこだます銃の音
投資へ生活線の音をたて　山海關 上倉 都一
夜が更けて待てば時計の刻む音
音沙汰もない不幸の子を案ず　大連 赤井 一村
凱旋兵たゞ勇しく喇叭の音
お留守番餘計淋しい雨の音
叱られて下女皿鉢の音をさせ　蘇家屯 山下 春逸
足の音だまつて取つた菓子は逃げ
新妻は風の音にも主を案じ

○佳吟(賞)
盲人の音のする方へ手を擴げ　山海關警察隊 上倉都一

選者吟
風音も知らず疲れの手が動き
水道の音へ節約父叱り
音もなく臨檢へあく大金庫
嬉しさを見せて子供の下駄の音

滿日柳壇課題

▽題「年末」「姉」「足袋」
▽締 十一月十五日着便まで
▽句 各題五句(住所氏名明記)
▽賞 佳吟薄賞(各題必ず別記)
▽宛 本社編輯局川柳係のこと

滿日俳壇 募集規定

次回課題「秋の夕」「明治節」「薄」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲地名、雅號、氏名各紙に記載▲締切十一月十日▲封筒に「滿日俳句」と朱記▲投句先、東京市牛込區若松町八二島田青峰宛